

参考資料 目次

「地域における日本語教育指針(仮称)」策定のための実態調査結果

1 調査概要.....	1
2 市町村調査結果.....	2
3 国際交流協会調査結果.....	10
4 日本語教室調査結果.....	19
5 日本語教育機関調査結果.....	34
6 日本語教師養成機関調査結果.....	43
7 企業調査結果.....	48
8 外国人ニーズ調査結果.....	58

1 調査概要

■調査の趣旨

当地域の日本語教育の一層の向上を図るため、当地域における日本語教育の実態や外国人のニーズを的確に把握し、「地域における日本語教育指針(仮称)」策定のための基礎資料とする。

■調査方法

①日本語教育等の実態調査

郵送によるアンケート調査

②外国人ニーズ調査

ヒアリングによる街頭アンケート調査

■調査の対象者・期間・調査数等

①日本語教育等の実態調査

対 象 者	調査期間	調査数	回答数	回収率(%)
市町村	H25.9.27～10.16	54	52	96.3
国際交流協会	H25.9.27～10.16	34	28	82.4
日本語教室(成人向け)	H25.9.7 ～ 9.27	98	70	71.4
日本語教育機関	H25.10.21～11.15	20	9	45.0
日本語教師養成機関	H25.10.21～11.15	20	10	50.0
企業	H25.9.27～10.16	20	10	50.0
合 計		246	179	72.8

②外国人ニーズ調査

・対 象 者:県内在住外国人 350 人

※3 か月未満滞在者、学齢期(16 歳未満)の子ども、学生は除く

※詳細は、調査結果P58 参照

・調査期間:平成 25 年 9 月 1 日から平成 25 年 9 月 28 日まで

【記号・符号・用語の説明】

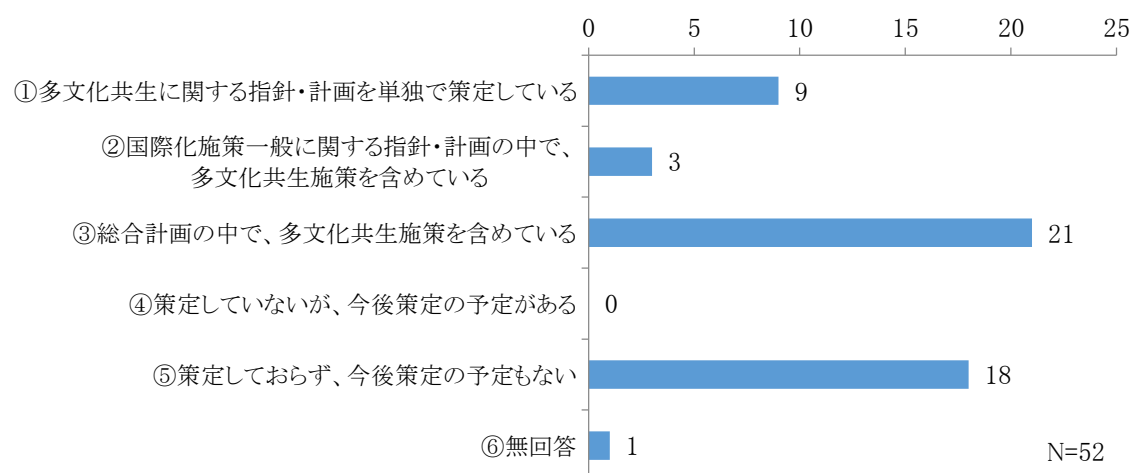
- ・N(Number of Cases の略)は比例算出の基数であり、100%が何人の回答者に相当するかを示す。
- ・回答が 1 つの質問であっても、少数第 2 位を四捨五入して割合を求めているため、合計が 100%にならないことがある。

2 市町村調査結果

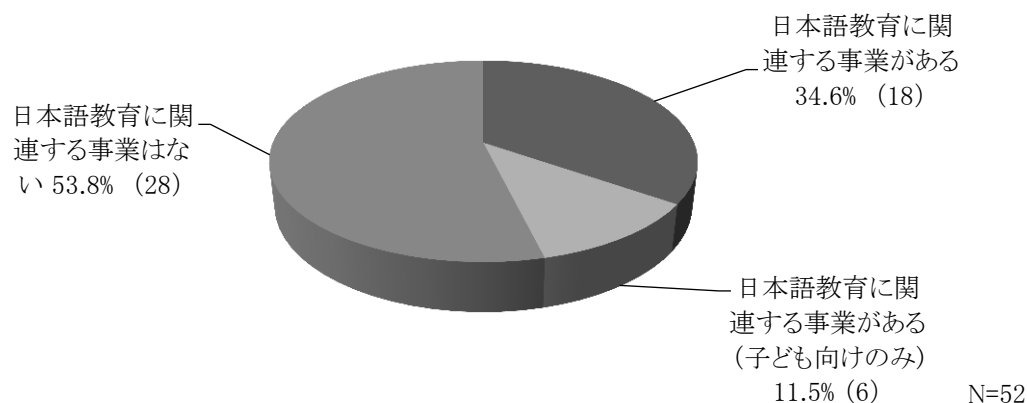
- 調査対象 県内全市町村
- 調査期間 平成 25 年 9 月 27 日から平成 25 年 10 月 16 日まで
- 回収率 96.3% (回答 52 件／送付 54 件)

■貴市町村における日本語教育施策について

問1 貴市町村には多文化共生施策等がありますか。



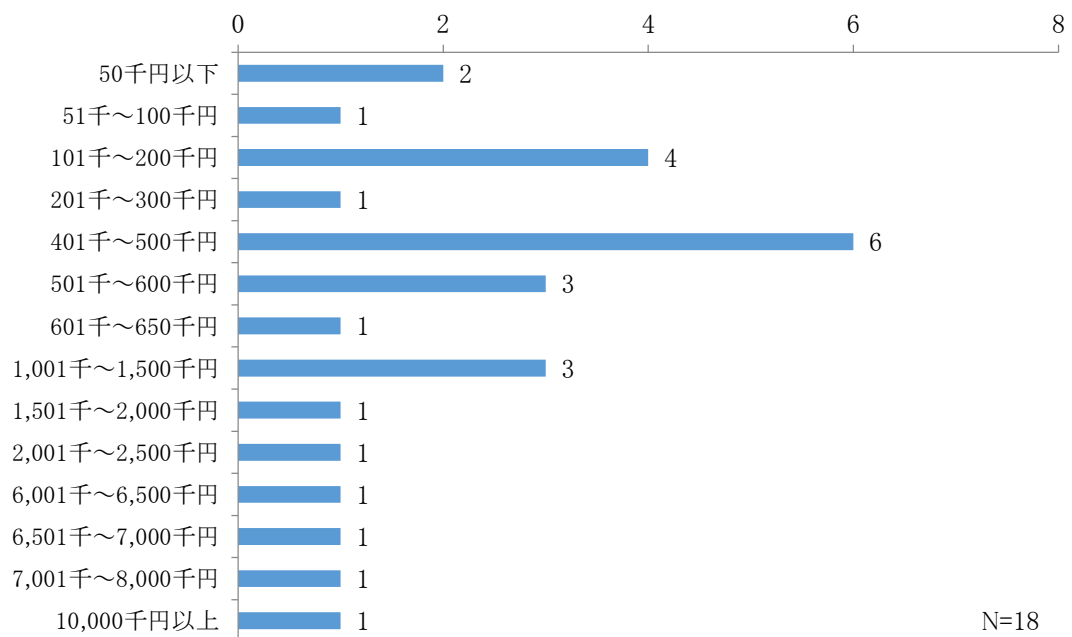
問2 貴市町村で実施している日本語教育に関連する事業にはどのようなものがありますか。



◆事業内容まとめ（成人向け事業のみ抜粋） ※複数回答あり、自由記述

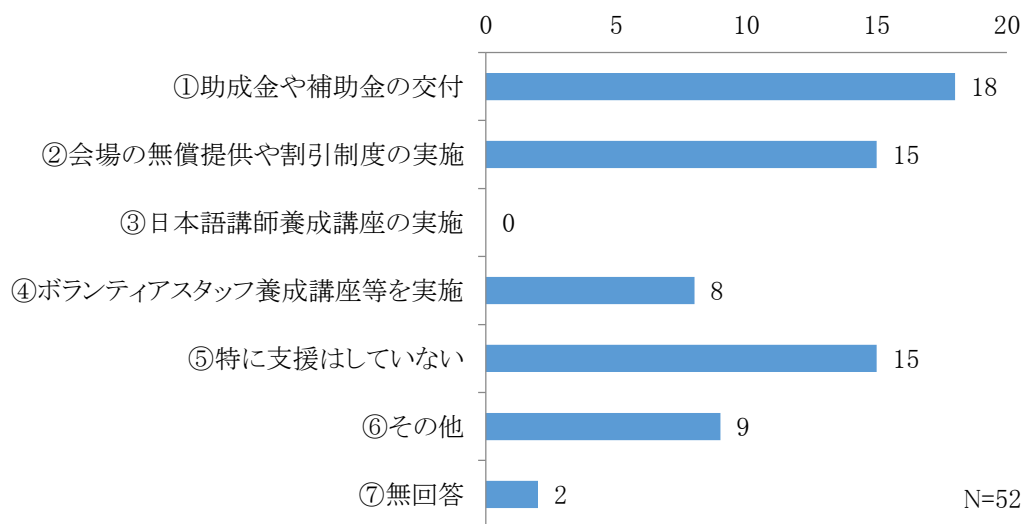
日本語教室の開催	15 件
国際交流協会が実施する日本語教育関連事業への補助金の交付	4 件
日本語ボランティア研修、シンポジウムの開催	1 件
日本語学習支援システムの運営・普及	1 件

◆平成 25 年度予算額（成人向け事業1件あたりの予算額）



問3 市町村内で運営・実施されている日本語教室への支援にはどのようなものがありますか。

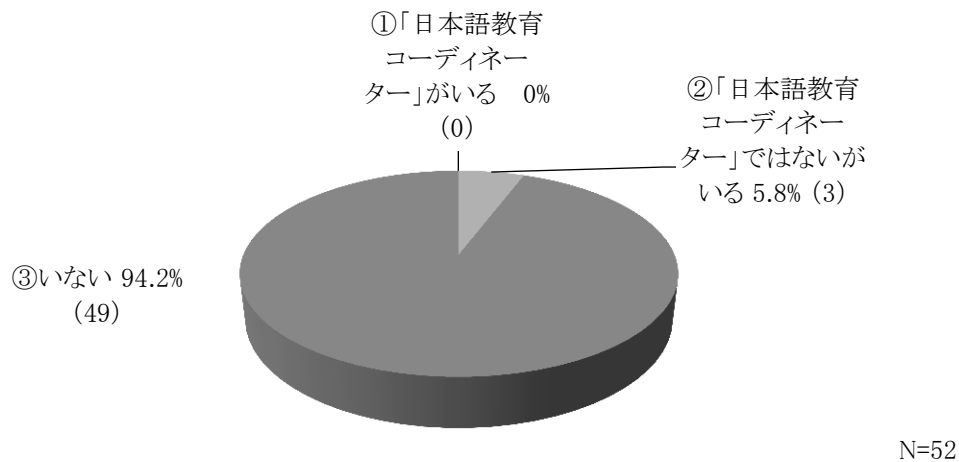
※あてはまるもの全てに○



⑥その他

事業委託をしている。	4 件
国際交流協会へ補助金を交付している。	3 件
直接運営・実施している。	2 件

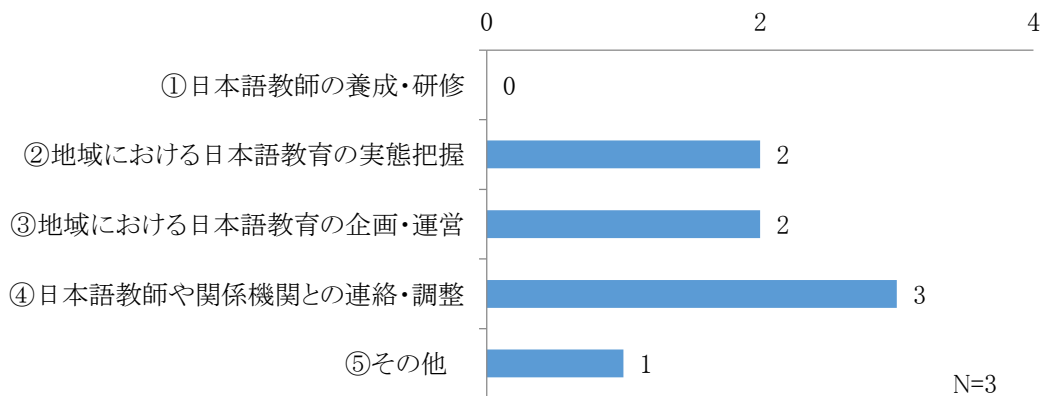
問4 貴市町村には専門の「日本語教育コーディネーター※」もしくは、そのような業務を担当されている方はいますか。



※日本語教育コーディネーター：

「日本語教育コーディネーター」等の名称を持ち、日本語教師の養成・研修、地域における日本語教育の実態把握、地域における日本語教育の企画・運営、日本語教師や関係機関との連絡・調整等の業務を担当している人のこと(文化庁定義)。

②「日本語教育コーディネーター」ではないがいる：内容 ※複数回答



⑤その他

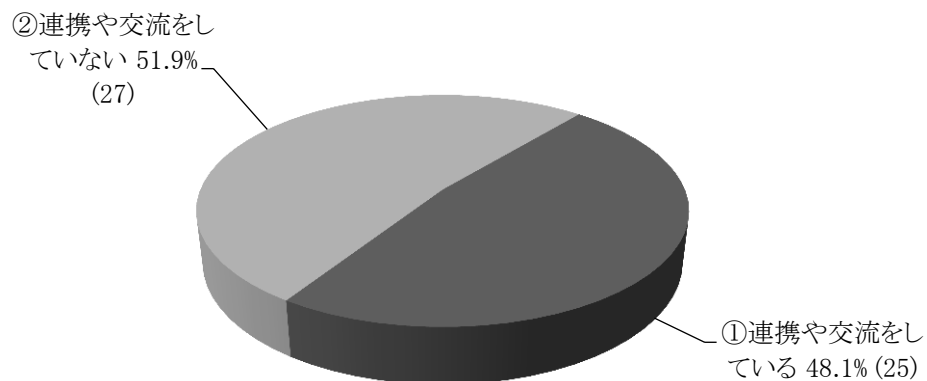
日本語ボランティアの養成・研修	1 件
-----------------	-----

問5 貴市町村における日本語教育(特に大人向け)の問題点にはどのようなものがあると認識されていますか。

※自由記述 (同様コメントのまとめ)

項 目	意 見
日本語教室や スタッフ等	ボランティアスタッフの熱意や能力にばらつきがある。
	日本語指導者やボランティアスタッフの確保が困難。
	日本語指導者の能力向上
	日本語教育を専門的に修めた人の不在。
	中・上級者クラスのボランティア講師のスキルに差があること。
	外国人学習者のニーズを把握できていない。あるいは開催場所や授業内容が在住外国人のニーズに沿ったものではない(ニーズの多様化に対応できていない)。
	日本語教室開催の情報を十分に届けることができていない。
	学習者の日本語レベルが違い、統一的な指導内容では対応しきれない。
	日本語が全く話せない外国人に対応できる日本語教室がない。
学習者	仕事の関係などから日本語学習の時間確保が困難。
	多様化する学習者のニーズに応えるための社会資源(教室の開催時間や学習の内容)が不足している。
	学習者の継続的学習意欲の確保。
	外国人参加者の減少、非定着(長続きしない)。
	外国人研修生が増加し、在住外国人の学習者が減少。
会場・場所	会場確保の問題、キャンセル待ち状態の参加希望者が存在する問題。
	距離の問題などから、日本語教室に参加するのが難しい状況。
企業の理解・協力	就労している外国人市民のために、雇用をしている企業の理解と協力を得ることが必要。
その他	外国人に日本語教育を受けてほしいと思う日本人側と、外国人の日本語能力向上の意識の格差。

問6 日本語教育に関して、他の団体(県、交流協会、企業、大学、NPO、日本語教室等)との連携や交流を行っていますか。



N=52

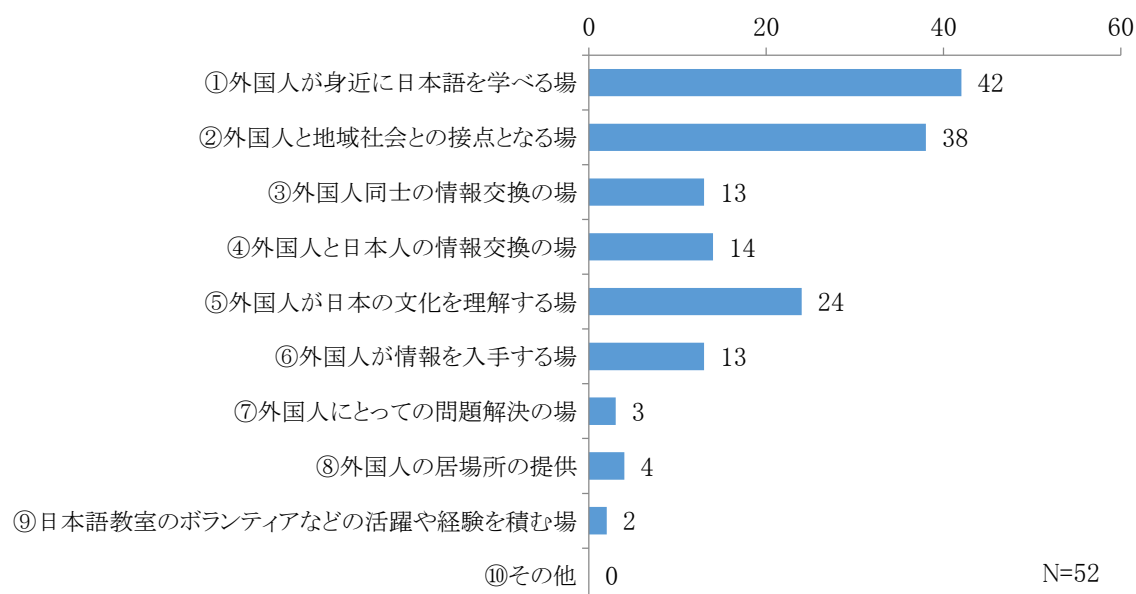
① 連携や交流をしている: 交流団体と交流内容

交流団体名のまとめ ※複数回答あり		交流内容のまとめ ※複数回答あり	
国際交流協会	19 件	情報交換・共有	9 件
NPO・ボランティア団体等	8 件	募集・告知	5 件
日本語教室	8 件	合同研修、会議・セミナー、シンポジウム	4 件
大学・教育機関	3 件	事業の委託	3 件
東海日本語ネットワーク	2 件	施設・教材の提供	3 件
企業	1 件	講師の派遣	2 件
		手伝い、人的支援	2 件
		教室の運営、実施	2 件
		外国人の紹介(教室の紹介等)	1 件
		運営補助、資金助成	1 件

■各主体の役割、地域における日本語教育指針への期待について

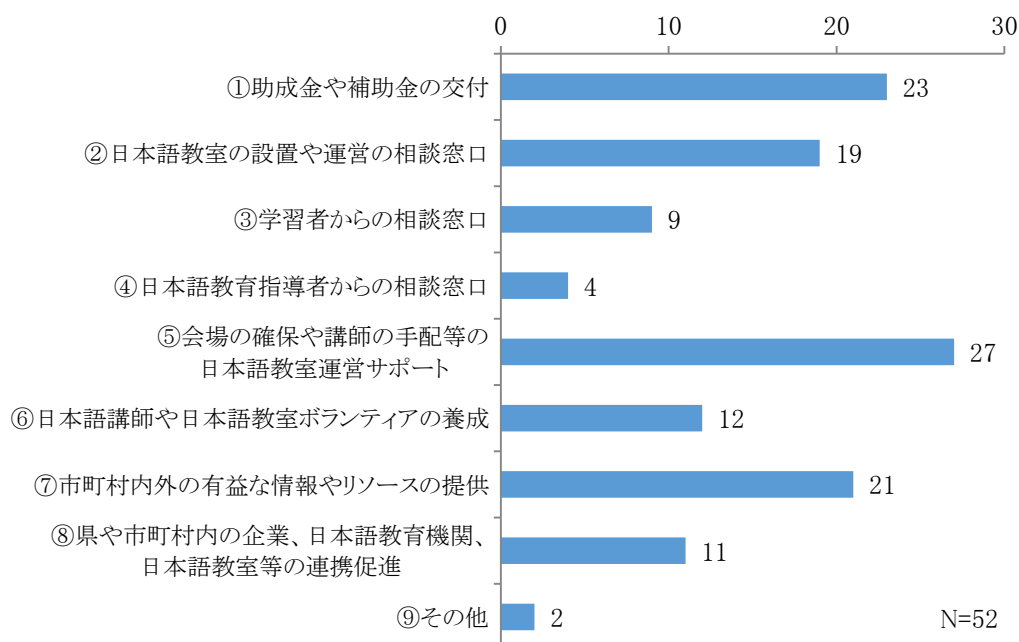
問7 「地域の日本語教室」の役割にはどのようなものがあるとお考えですか。

※重要だと思われるもの3つまで○



問8 地域の日本語教育における市町村の役割にはどのようなものがあると思われますか。

※重要だと思われるもの3つまで○

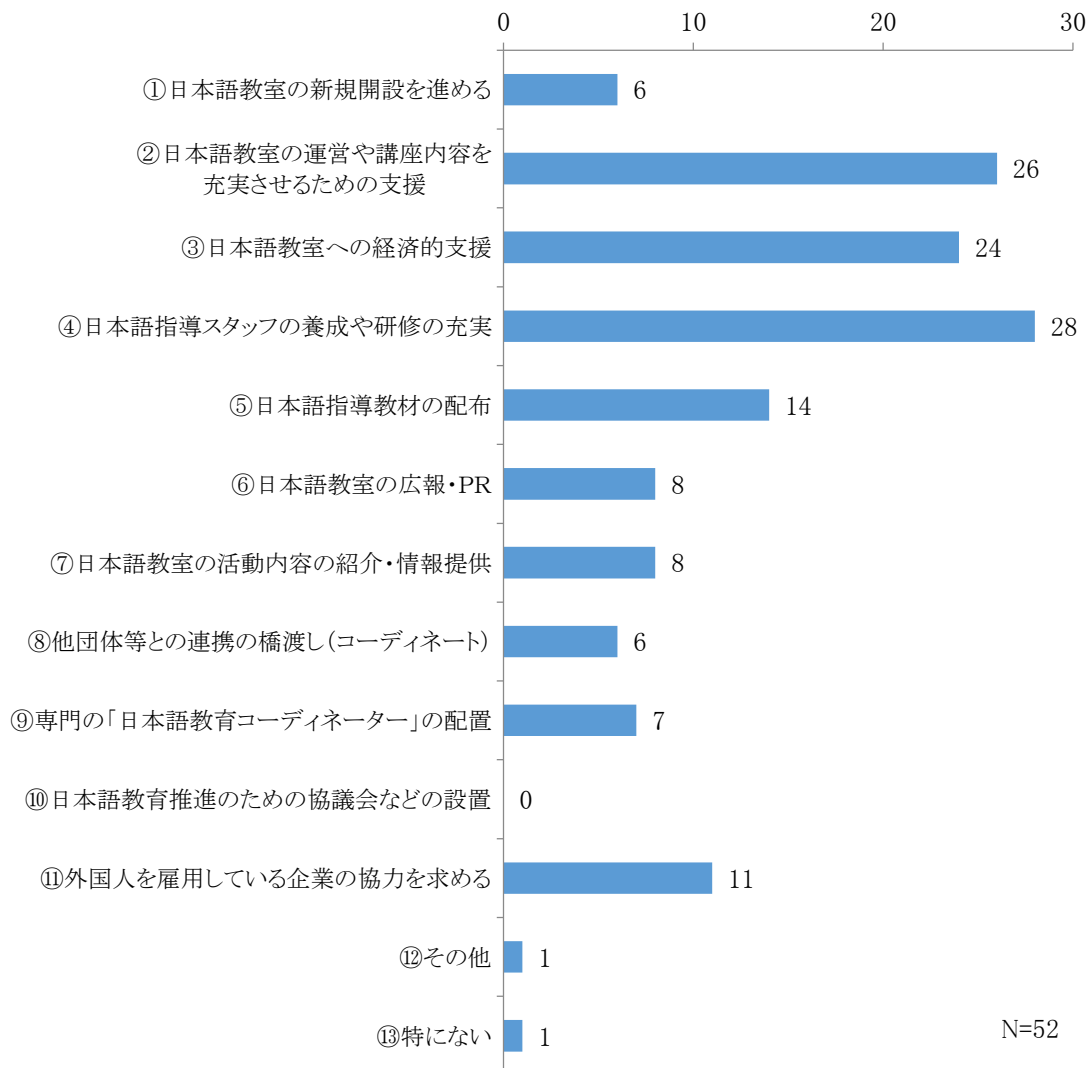


⑨その他

国際交流協会への補助を通して、日本語教育の推進を図る。	1 件
わからない	1 件

問9 今後、地域の日本語教室について、県(愛知県国際交流協会を含む)はどのような施策を実施するべきだと思いますか。

※主なものに3つまで○

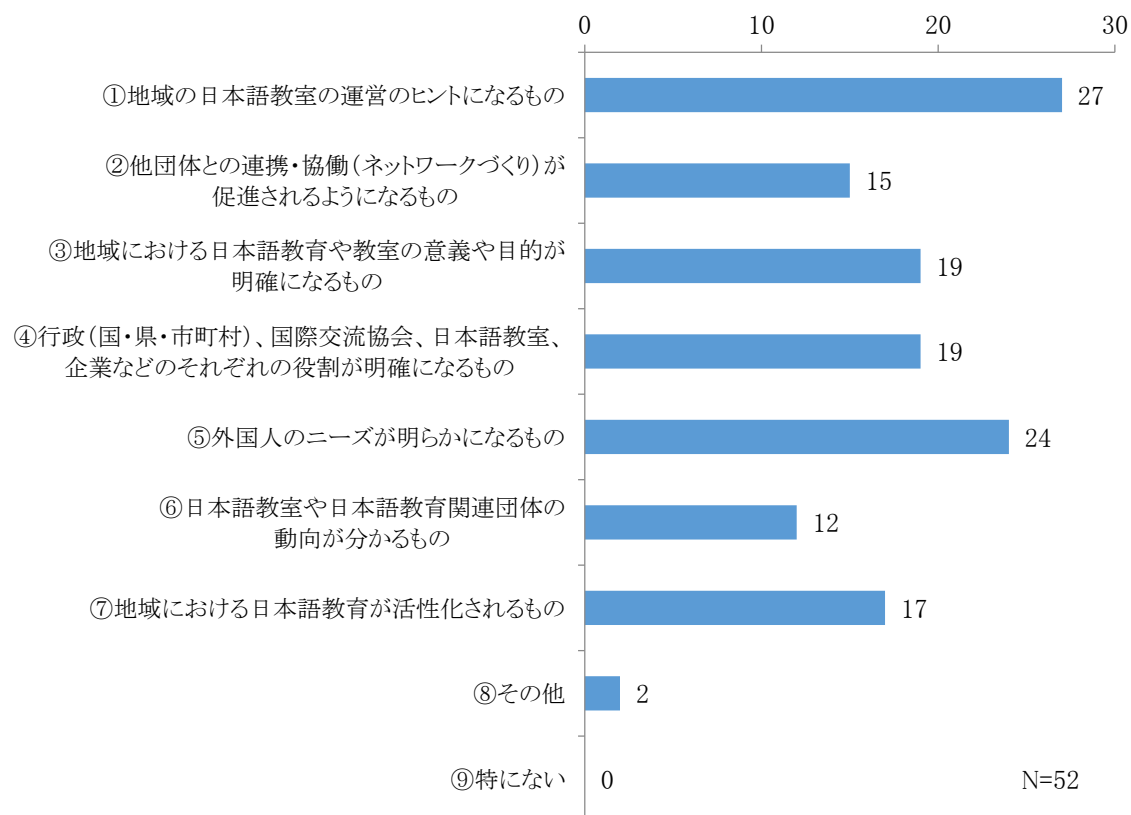


⑫その他

外国人が日本語教室を受講したくなるようなしくみ	1 件
-------------------------	-----

問10 地域における日本語教育指針(仮称)の策定に期待することを教えてください。

※主なものに3つまで○



⑧その他

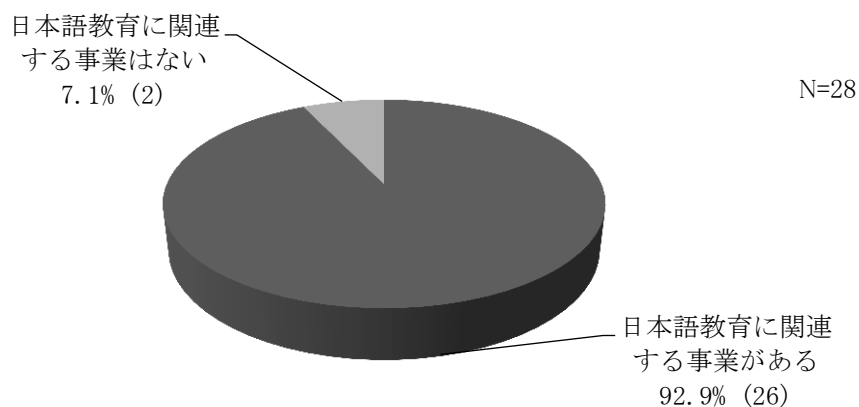
企業の協力と責任	1 件
わからない	1 件

3 国際交流協会調査結果

- 調査対象 県内市町国際交流協会
- 調査期間 平成 25 年 9 月 27 日から平成 25 年 10 月 16 日まで
- 回収率 82.4% (回答 28 件／送付 34 件)

■貴協会における日本語教育施策について

問1 貴協会で実施している日本語教育に関連する事業にはどのようなものがありますか。

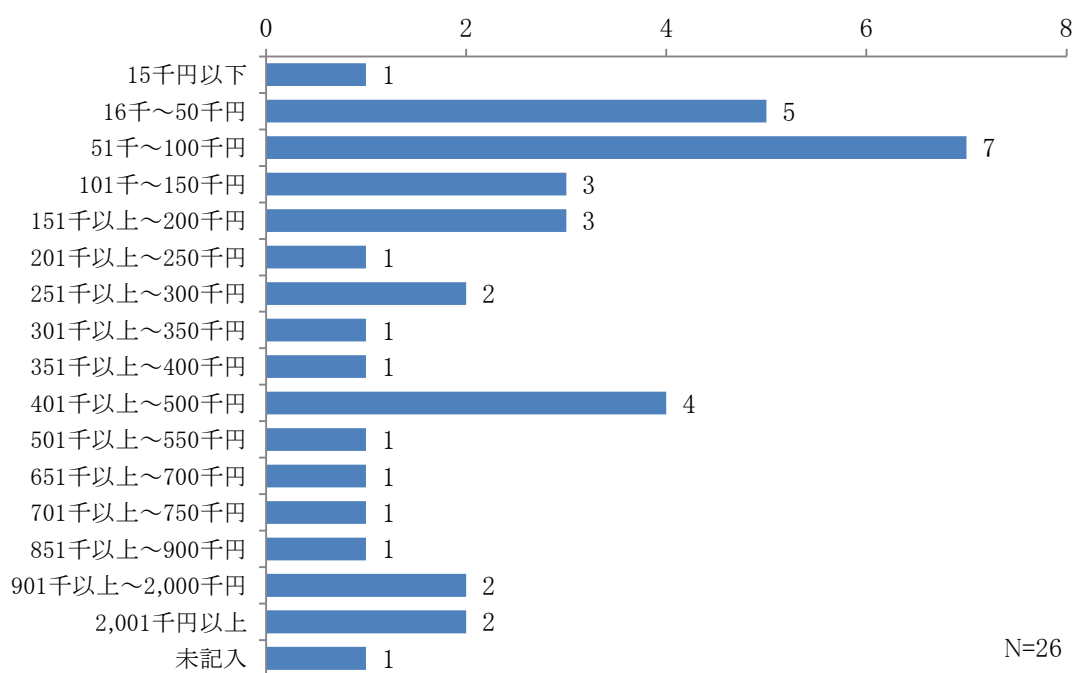


◆事業内容

※複数回答あり、自由記述

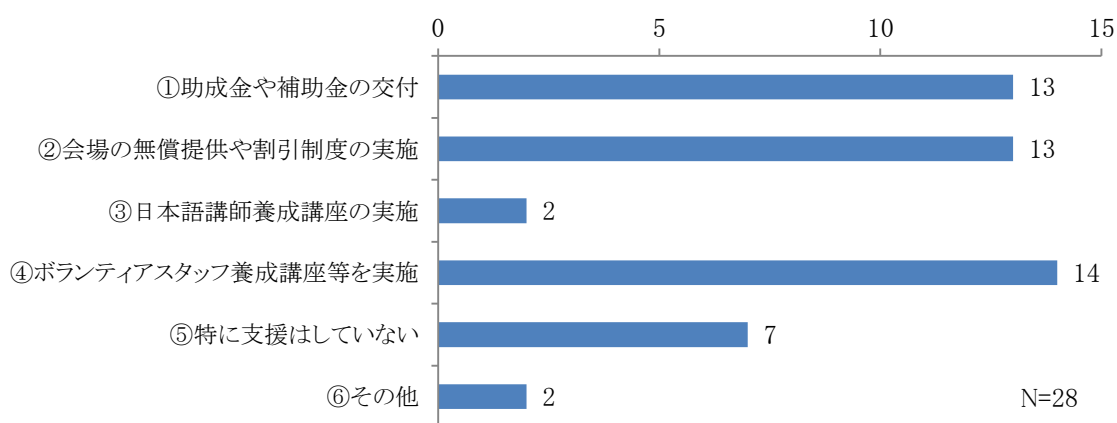
日本語教室の開催	26 件
日本語ボランティア養成講座、ボランティア研修の開催	8 件
市内の日本語ボランティア団体が参加するネットワーク会議の開催	1 件
日本語スピーチコンテストの開催	1 件
日本語教室へ講師を派遣	1 件
日本語ボランティアへの補助金の交付	1 件

◆平成 25 年度予算額(事業1件あたりの予算額)



問2 「地域の日本語教室」への国際交流協会としての支援にはどのようなものがありますか。

※あてはまるもの全てに○

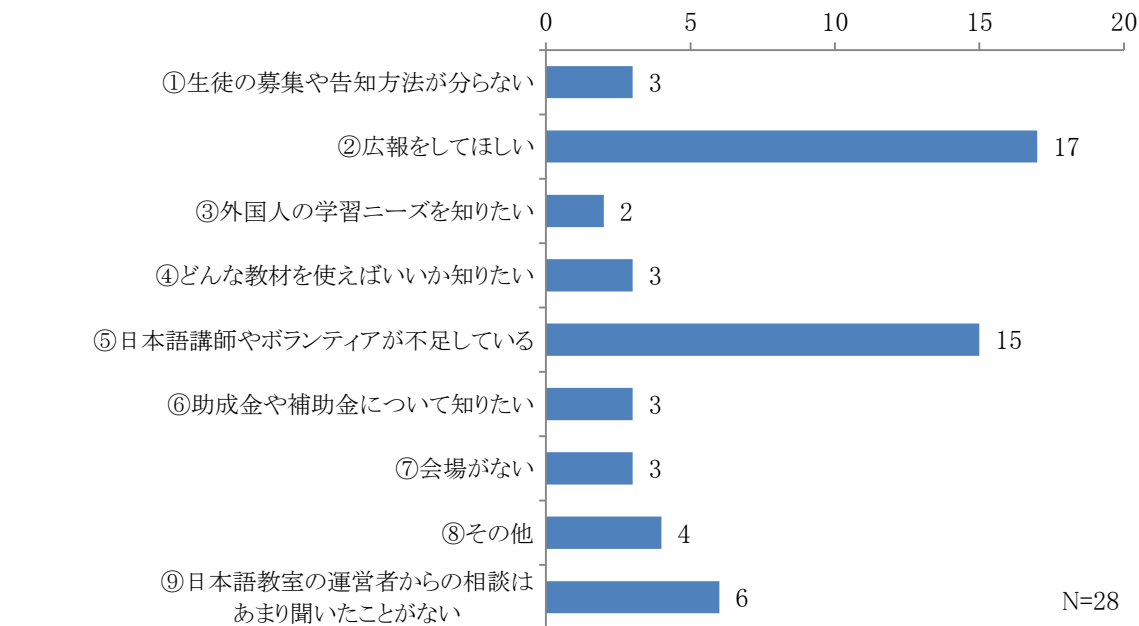


⑥その他

教材の貸し出し制度	1 件
協会ホームページやチラシ、窓口での PR	1 件

問3 日本語教室の運営者からの相談にはどのようなものがありますか。

※多いもの3つまでに○

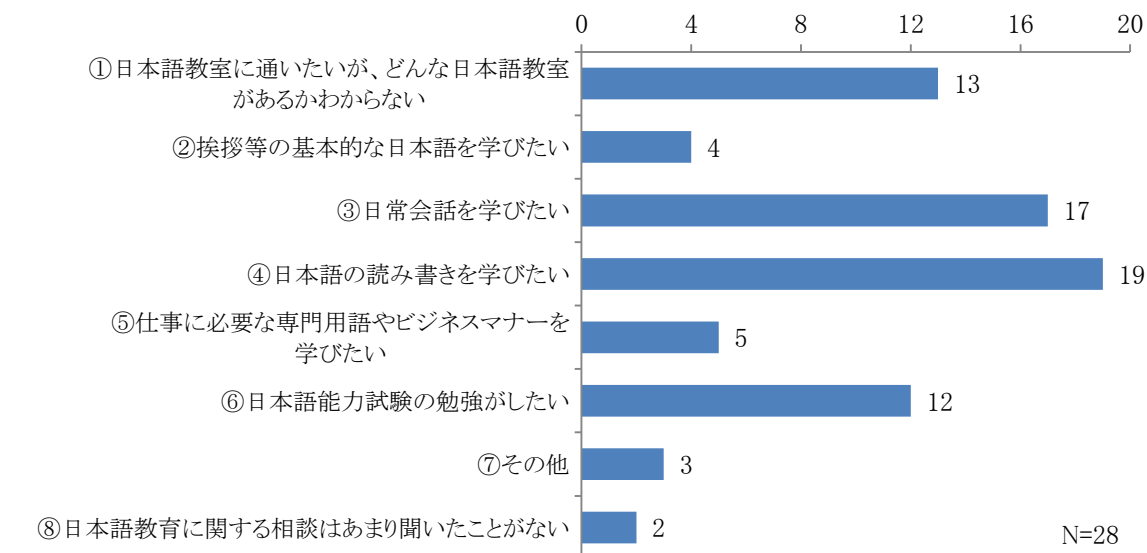


⑧その他

協会の運営の日本語教室のため、相談はない。	2 件
魅力ある日本語教室にするにはどうしたらよいか。	1 件
受講者が長続きしない。	1 件

問4 大人の外国人住民からの日本語教育に関する相談にはどのようなものがありますか。

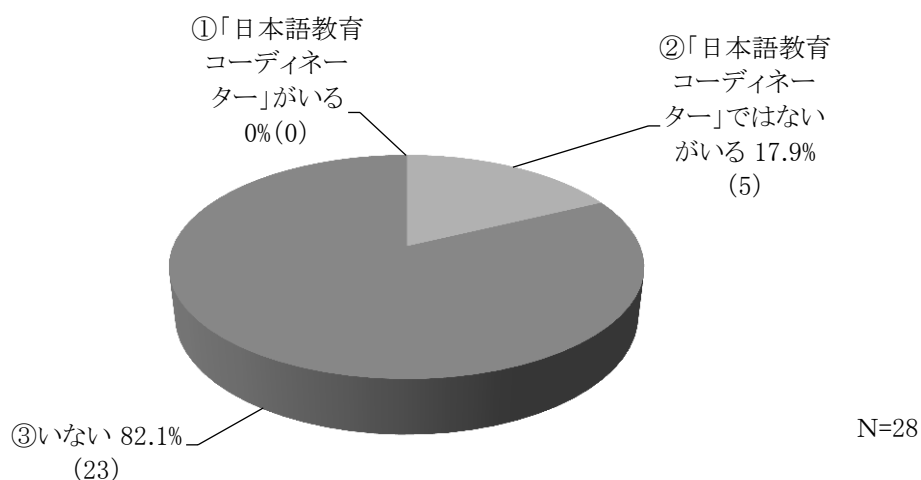
※多いもの3つまでに○



⑦その他

全日制の日本語学校の紹介	1 件
漢字を教えてほしい。	1 件

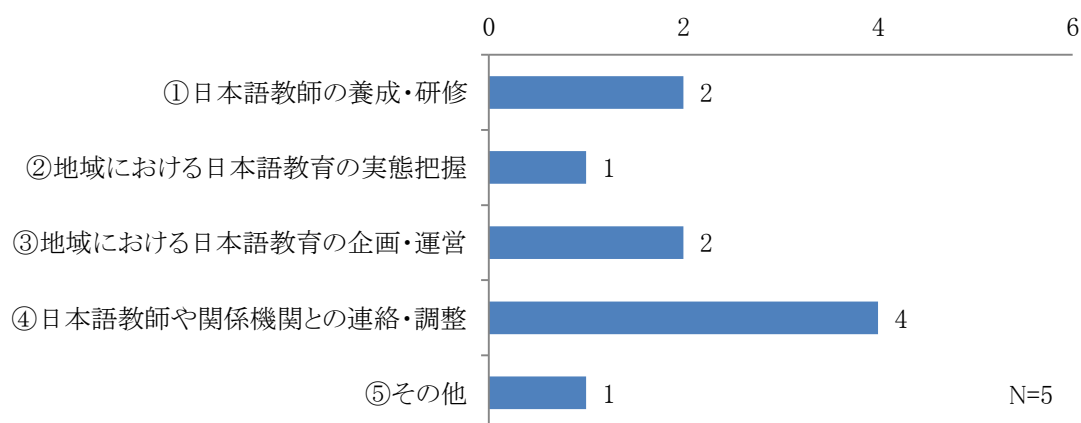
問5 貴協会には専門の「日本語教育コーディネーター※」もしくは、そのような業務を担当されている方はいますか。



※日本語教育コーディネーター：

「日本語教育コーディネーター」等の名称を持ち、日本語教師の養成・研修、地域における日本語教育の実態把握、地域における日本語教育の企画・運営、日本語教師や関係機関との連絡・調整等の業務を担当している人のこと(文化庁定義)。

②「日本語教育コーディネーター」ではないがいる：内容 ※複数回答



⑤その他

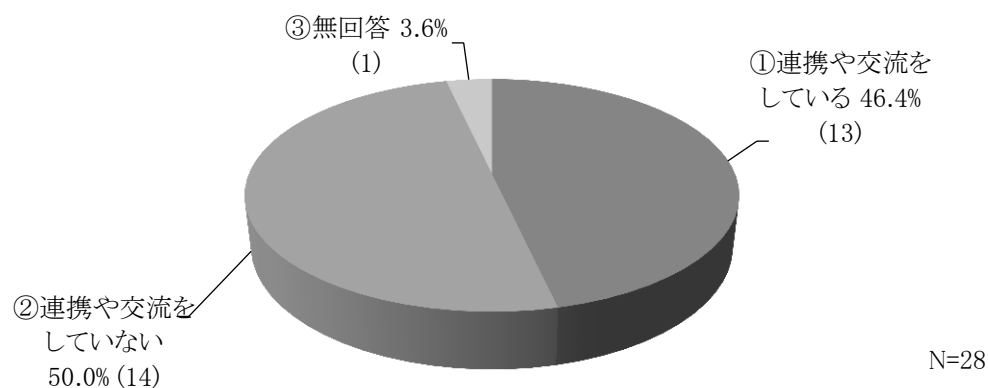
日本語教室に関わる運営・調整、他機関との連絡調整	1 件
--------------------------	-----

問6 地域における日本語教育(特に成人向け)にはどのような問題点があると認識されていますか。

※自由記述（同様コメントのまとめ）

項 目	意 見
日本語教室 やスタッフ等	学習者のニーズがさまざま、ボランティアでは対応しきれない。
	講師や運営をボランティアに頼る部分が多く、ボランティアの力量によって指導の質の差が出る。
	日本語指導者やボランティアスタッフの確保が困難(人材不足)。
	開催日、時間、場所や授業内容が外国人のニーズにあっていない。
	学習者の日本語レベルがまちまちで、それぞれのニーズも異なるため、どのような形態の日本語教育が必要かを把握するのが難しい。
	学習者、ボランティアそれぞれに人数の変動があり、マッチングさせるのが難しい。
	日本語教室開催の情報を日本語学習が必要な人に届けることができていない。
	地域活動に参加できていない。
学習者	仕事の関係などから日本語学習の時間確保が困難。
	学習者の継続的学習意欲の確保
	外国人参加者の減少、非定着(長続きしない)。
場所	交通に不便
教材	学びたい人に合った教材がない。
	教材が高くて買えない人がいる。
教授内容	会話に偏っていて、特に書くことへの配慮が欠けている。
企業の理解・協力	研修生など雇用している企業が積極的に教室に通うように指導しない。

問7 日本語教育に関して、他の団体(県、市町村、企業、大学、NPO、日本語教室等)との連携や交流を行っていますか。



① 連携や交流をしている:交流団体と交流内容

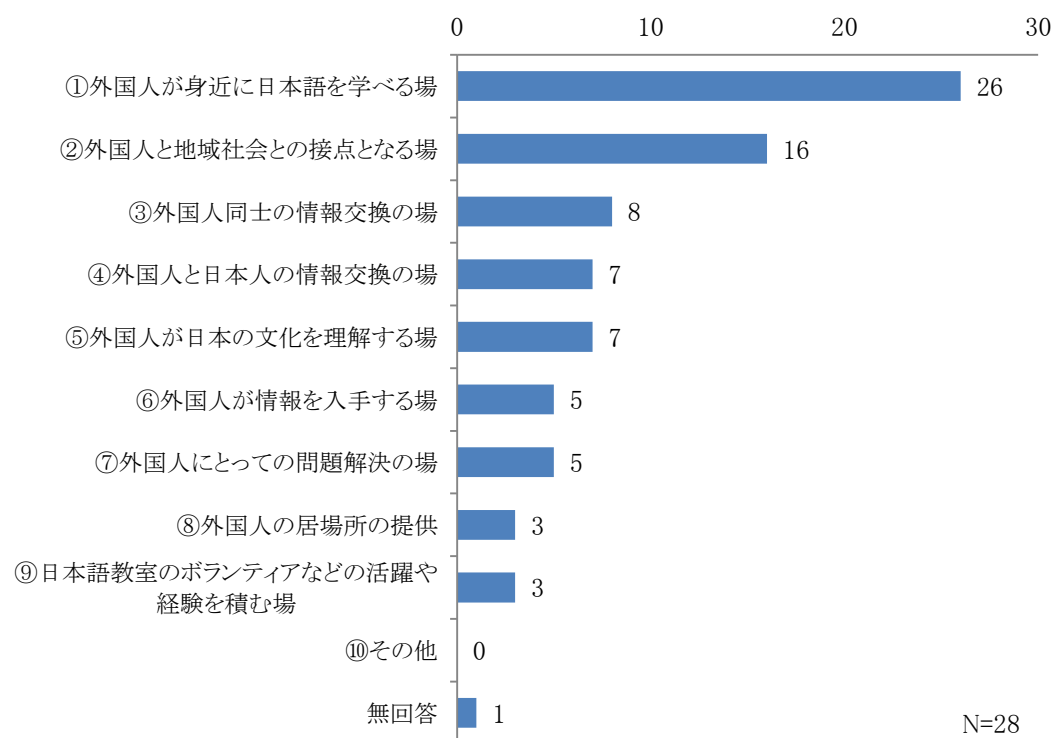
交流団体のまとめ ※複数回答あり	
国際交流協会	4 件
日本語教室	4 件
東海日本語ネットワーク	3 件
市町村	2 件
愛知県	1 件
愛知県国際交流協会	1 件
NPO団体	1 件
商工会	1 件
とよた日本語学習支援システム	1 件

交流内容のまとめ ※複数回答あり	
情報交換・共有	6 件
合同研修・会議・セミナー・シンポジウム	5 件
運営担当、講師の派遣	5 件
募集・告知	3 件
事業の委託	1 件
外国人の紹介	1 件
教材の提供	1 件

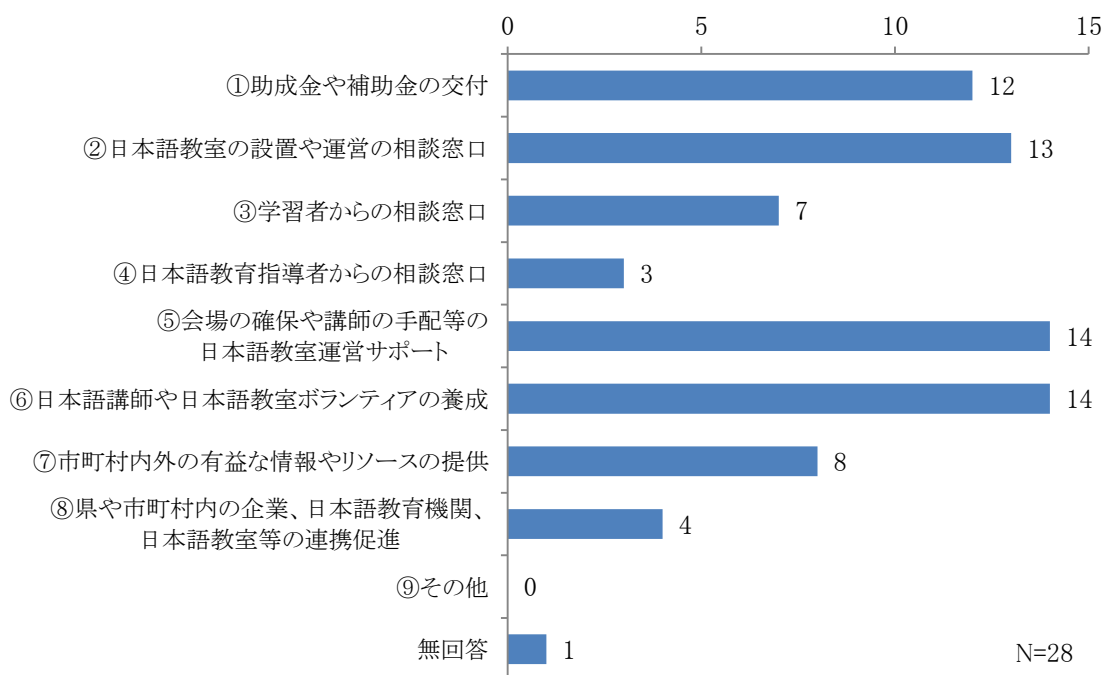
■各主体の役割、地域における日本語教育指針への期待について

問8 「地域の日本語教室」の役割にはどのようなものがあるとお考えですか。

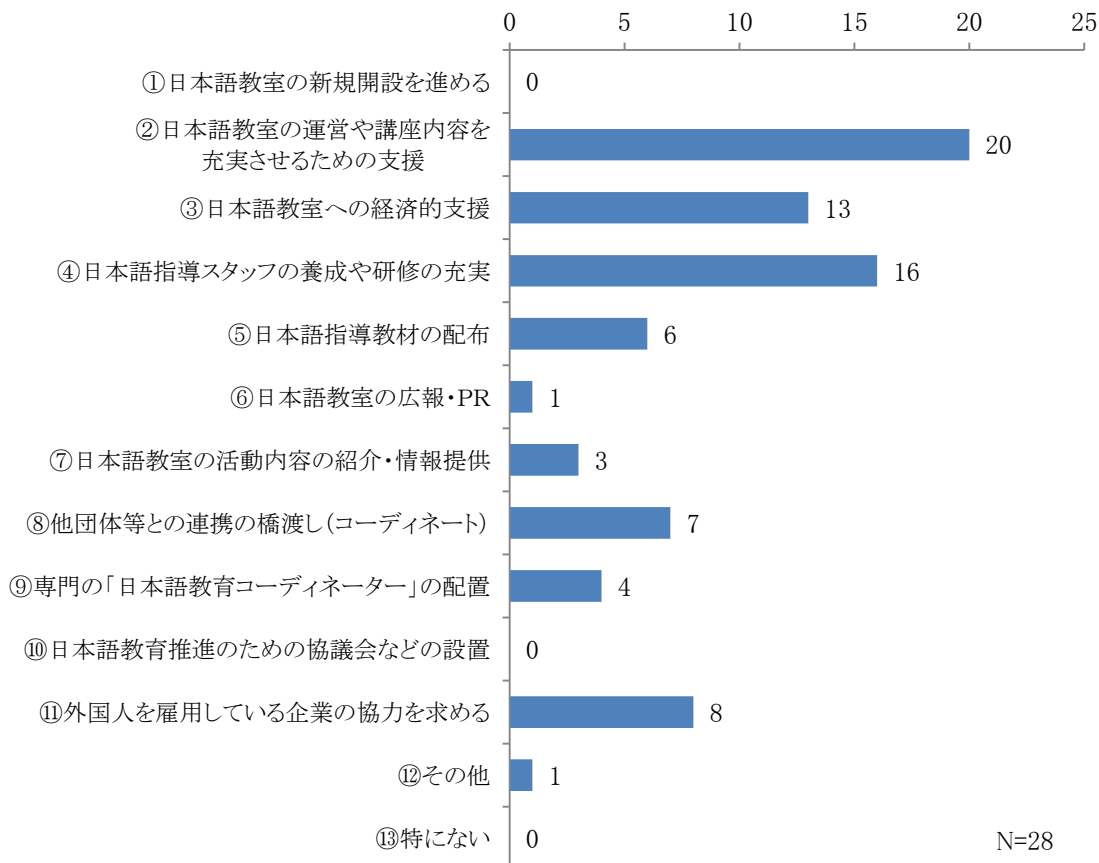
※重要だと思われるもの3つまで○



問9 地域の日本語教育における国際交流協会の役割にはどのようなものがあると思われますか。 ※重要だと思われるもの3つまで○



問10 今後、地域の日本語教室について、県(愛知県国際交流協会を含む)はどのような施策を実施すべきでしょうか。 ※主なものに3つまで○

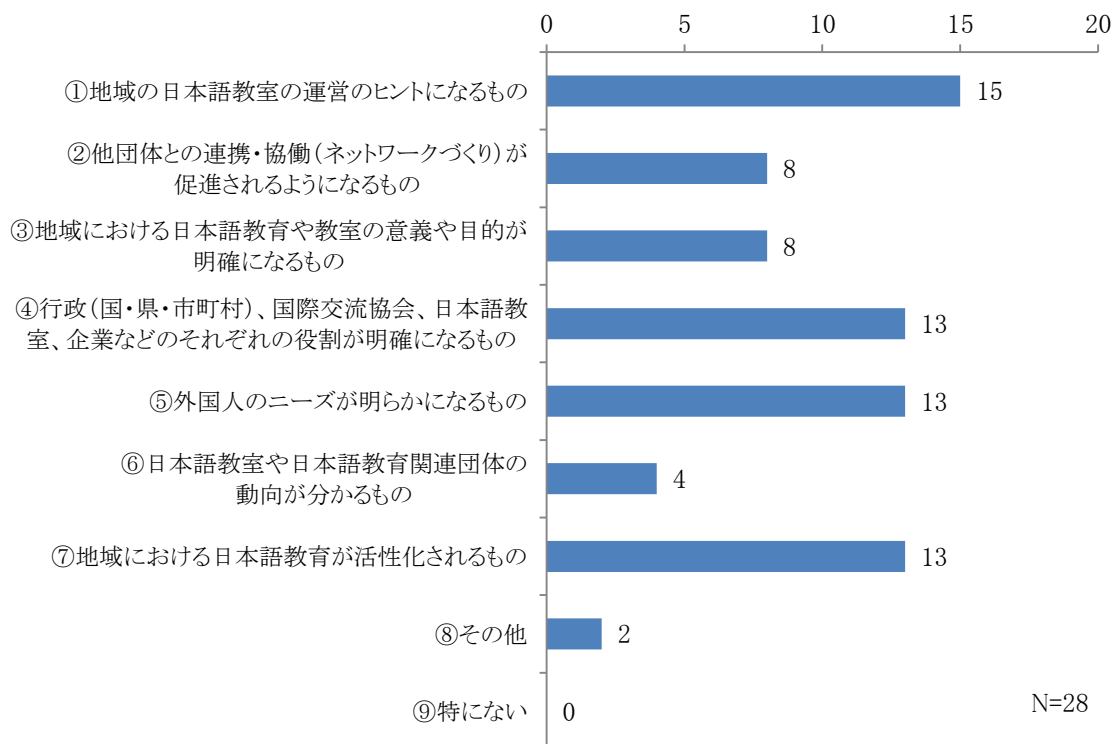


⑫その他

日本語指導者の資質の標準化	1 件
---------------	-----

問11 地域における日本語教育指針の策定に期待することを教えてください。

※主なものに3つまで○



⑧その他

地域における多文化共生の拠点としての日本語教室のあり方	1 件
企業の日本語教室運営等に係る資金援助	1 件

個別インタビューから 一特長ある取組をしている協会を紹介します。

◆公益財団法人名古屋国際センター

名古屋国際センター（N I C）では、日本語ボランティア育成・支援事業として、当地域における日本語ボランティアとの連携と情報交換を図る日本語ボランティアシンポジウムや日本語ボランティア研修を東海日本語ネットワーク（T N N）とともに開催しています。

また、登録ボランティアグループの「N I C 日本語の会」及び「子ども日本語教室」では、日本語を母語としない外国人などを対象に、ボランティアと一緒に日常生活で必要となる基礎的な言葉や日本の習慣、文化などを学習し、さまざまな国・地域出身の学習者との交流を行っています。さらに、平成 26（2014）年度からは、市役所の窓口職員等を対象に研修を行うなど、「やさしい日本語」普及啓発事業を実施します。

◆公益財団法人豊橋市国際交流協会

豊橋市国際交流協会では、日本語教室の運営をベースに市内の外国人支援をしている N P O 団体や日本語教室と外国人への日本語学習支援についての情報交換を積極的に行うなど、緊密な連携がとれる関係づくりを目指しています。また、日本語指導ボランティアの養成及び登録ボランティアには講座の無料受講や日本語教材の閲覧や貸し出しを行っています。

今後は、日本語教室の成功事例、問題解決方法などの情報を閲覧できるようなシステムを作り、地域で活動しているボランティアとも情報共有ができればと考えています。

◆東海市国際交流協会

東海市国際交流協会では、日本語を勉強する時間や意欲があるにもかかわらず、子どもと一緒に参加できる教室がないというニーズに応えるため、「子どもと一緒に日本語教室」を開催しています。

テキストを中心にしつつも、学習者が学校や保育園のことで疑問に思ったことについても勉強することで、日本語を覚えるだけではなく、同年代の日本人のママ友を作って、地域社会にもっと参加できるようになってほしいとの思いです。

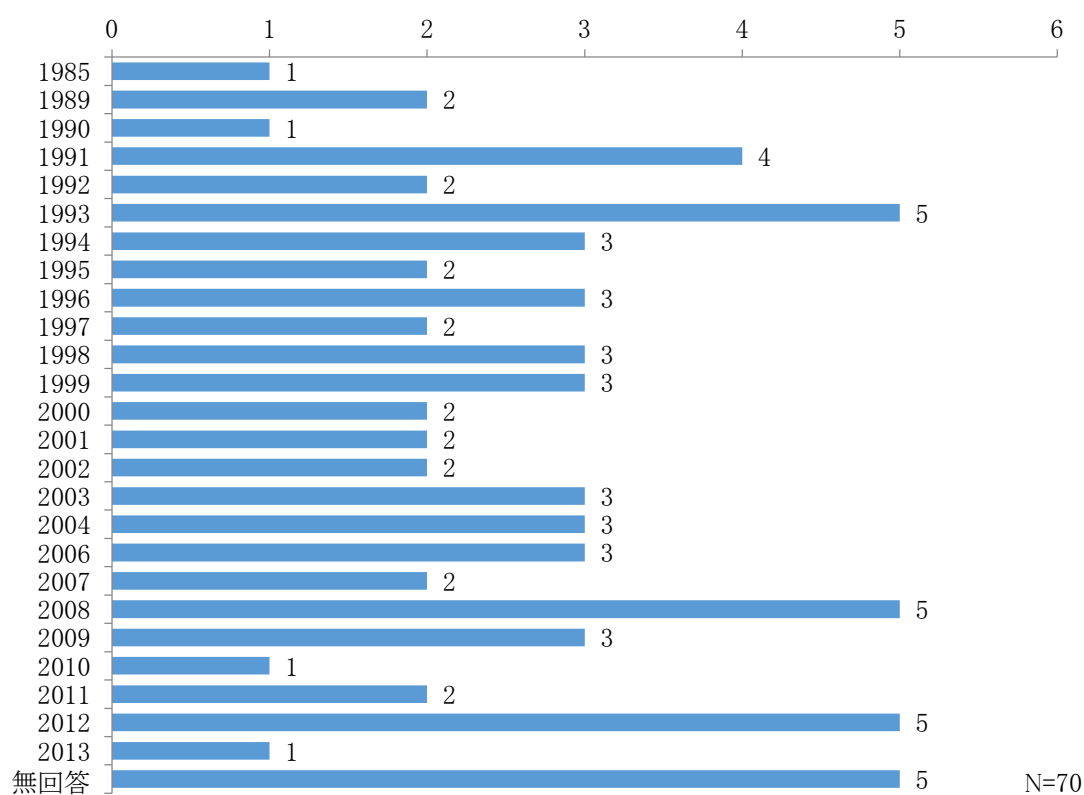
また、東海日本語ネットワークから講師を招いてボランティア養成講座を開催しており、ボランティアが日本語教育の専門講師に直接質問をしたりアドバイスをもらえる貴重な機会としています。

4 日本語教室調査結果

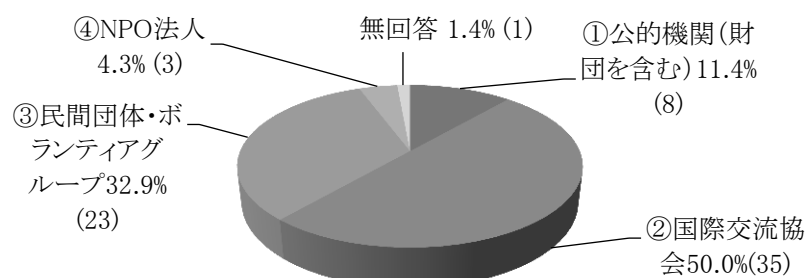
- 調査対象 県内成人向け日本語教室
※(公財)愛知県国際交流協会作成「外国人のための日本語教室一覧
(平成 23 年 11 月)」から全抽出
- 調査期間 平成 25 年 9 月 7 日から平成 25 年 9 月 27 日まで
- 回収率 71.4% (回答 70 件 / 送付 98 件)

■教室の概要について

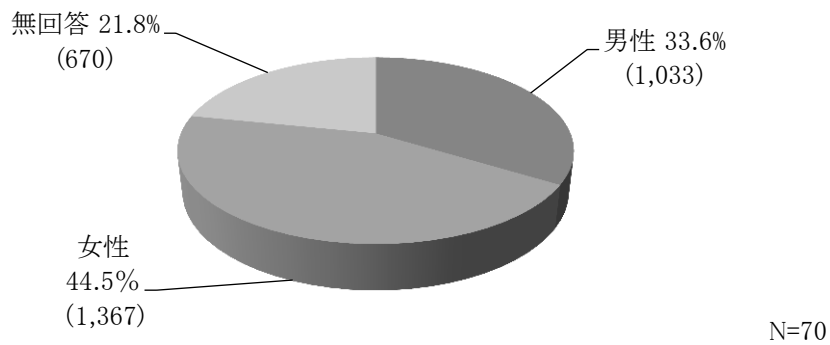
問 1 教室の設立時期



問2 主催団体



問3 学習者数

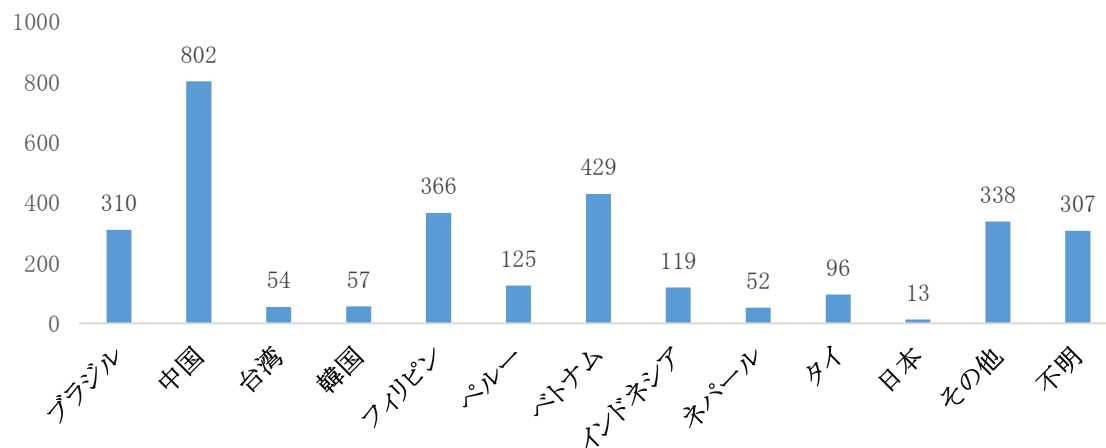


問4 学習者の国籍別・年齢別人数

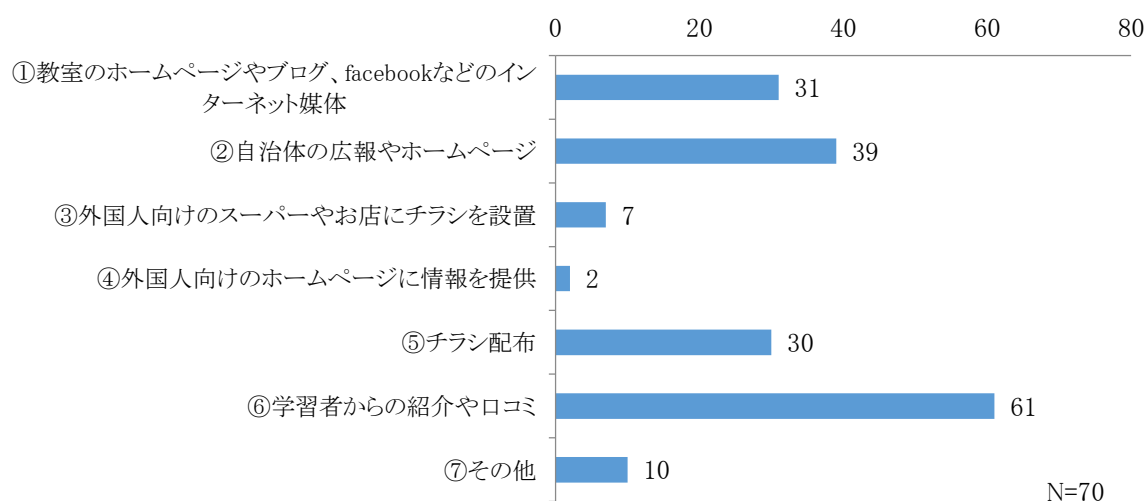
※平成 25 年 9 月 1 日現在

国籍	合計	16 歳未満	16～19	20～39	40～59	60 歳以上	不明
総数	3,068	84	105	982	270	15	1,612
ブラジル	310	16	15	82	63	5	129
中国	802	16	17	313	72	8	376
台湾	54	0	2	29	7	0	16
韓国	57	1	0	27	7	0	22
フィリピン	366	35	34	84	38	1	174
ペルー	125	6	3	38	23	1	54
ベトナム	429	0	16	190	5	0	218
インドネシア	119	0	7	42	10	0	60
ネパール	52	1	1	20	2	0	28
タイ	96	0	3	44	12	0	37
日本	13	1	2	2	1	0	7
その他	338	8	5	111	30	0	184
不明	307	0	0	0	0	0	307

※前問の学習者数の合計と異なるのは、参加者や登録者数の違いや、アンケート記入者の集計方法の違いなどによる。



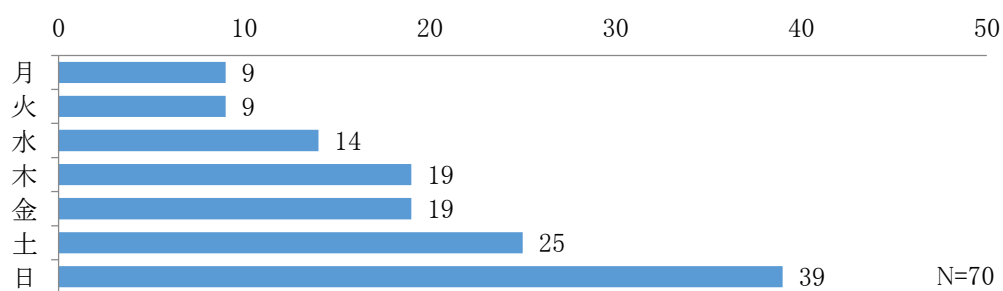
問5 学習者の募集方法を教えてください。 ※あてはまる全てに○



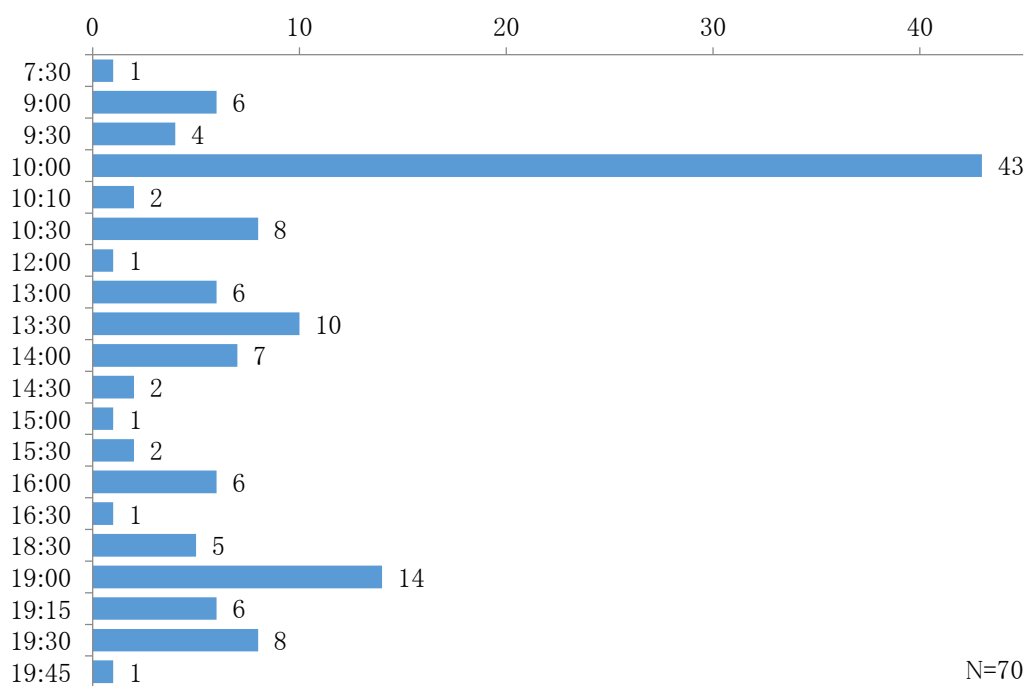
問6 教室実施日時・時間帯

※複数回答あり ※特定日や希望者に応じての開催などイレギュラーなものは含まない。

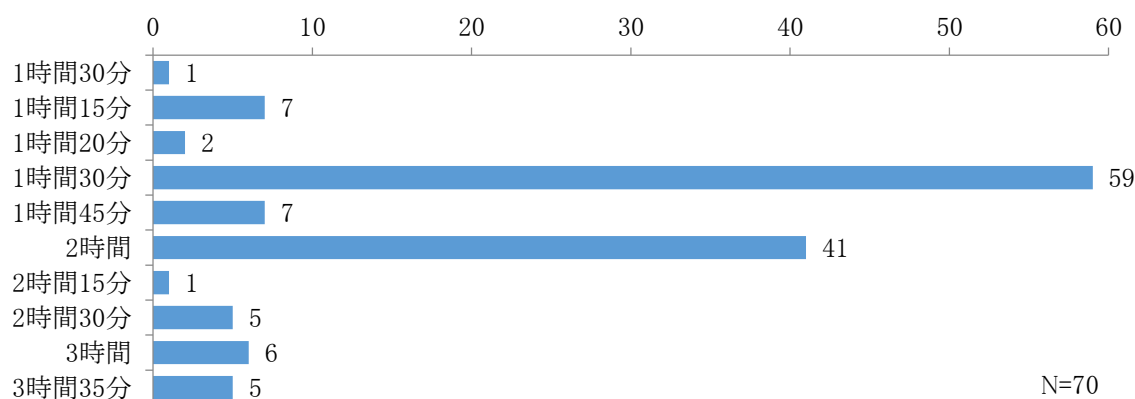
◆開催曜日



◆開始時間



◆開催時間



■地域の日本語教室について

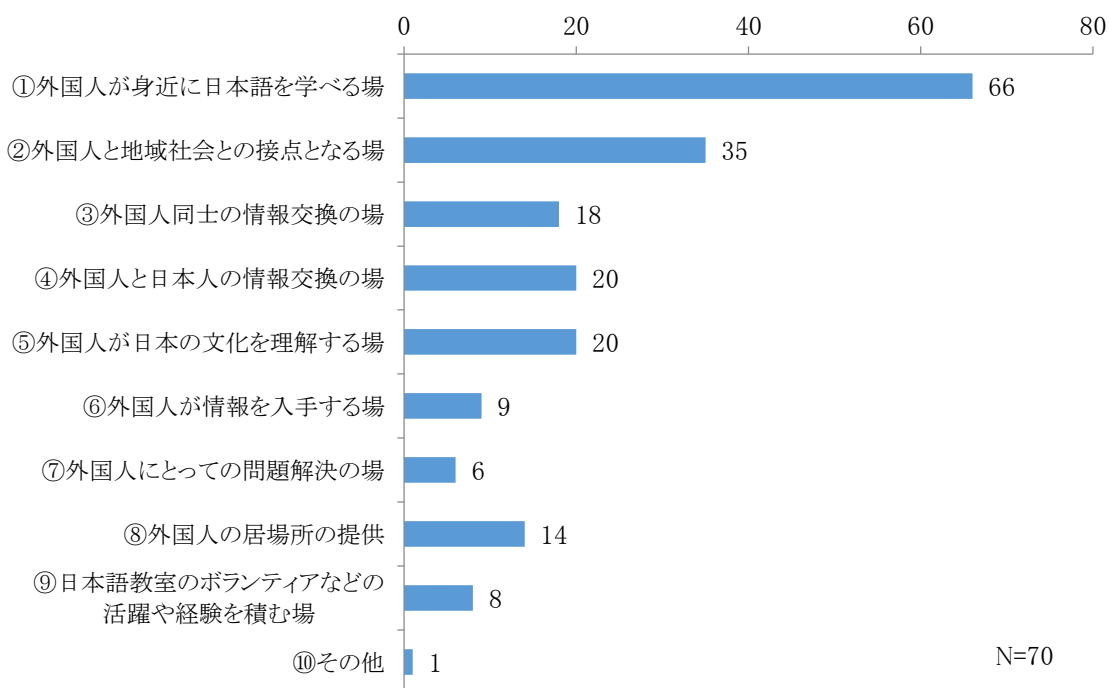
問7 貴日本語教室が掲げる目的(理念・方針)について教えてください。

※自由記述 (同様コメントのまとめ)

項 目	意 見
日本語学習支援	日本語学習の機会の提供
	日常生活に必要な日本語(文字、漢字)、生活に困らないレベルの日本語を習得する。
	就労などのステップアップにつながる日本語を身につける。
	学習者の要望にそった学習を行い、目標に近づける。
	教えるという姿勢ではなく、学習者と共に学びあう。
日本語能力試験	日本語能力試験合格のサポート
コミュニケーション	地域に溶け込み、充実した、安全・安心な生活を送るために日本語によるコミュニケーション能力を向上させる。
	外国人と日本人とのコミュニケーションによる相互理解
地域社会との交流	外国人住民の地域社会との関わりをつくる。
	外国人住民同士の交流をはかる。
情報提供	学習者に生活情報を提供する。
日本文化の理解	日本文化の紹介、日本文化体験の機会の提供。
相談窓口、生活支援	子どもや子育て支援の面からも、積極的に相談できる窓口として支援する。
	学習者の生活支援
	日本人と結婚し、日本語の中に加わろうとしない人の支援。
居場所	日本語に自信のない外国人がホッとできる居場所づくり。
ボランティア	ボランティア同士が連携し能力向上を目指し、よりわかりやすい授業を展開する。
	地域の日本語教室で活動する、または地域で教室を立ち上げるボランティアの育成をする。
多文化共生	日本語学習支援を通して多文化の共生を図る。
	地域在住の外国人との共生を目指して、いろいろな国の人々と触れ合う。
	在住外国人及び地域住民の円滑な交流を推進し共に楽しく安心して暮らせる社会実現を目指す。
	ボランティア活動を通して外国人との交流を図り、多文化共生を実現することを目的とする。
その他	期內タームを設けず、いつも新規の学習者が入れる教室。
	外国人もボランティアも楽しめるような教室。
	来日した外国の方が日本を好きになるよう心を尽くしていく。
	何かの役に立つように。

問8 地域の日本語教室に求められている役割とはどのようなものだと思いますか。

※お考えに近いと思われるもの3つまで○



⑩その他

外国人が日本の文化を理解する場と日本人も外国人の文化を学び、異文化による習慣の違いなどを理解し、それらを尊敬し謙虚に行動する。

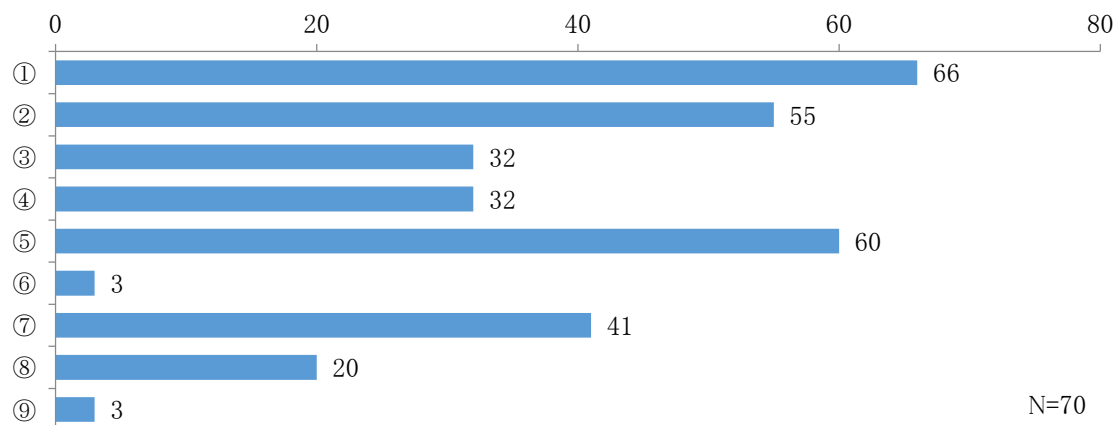
1 件

■活動内容と学習者の日本語の上達度合いの判断について

問9 教室の活動内容を教えてください。

〈設問内容〉※最も重視している順に5つまで番号を付けてください。

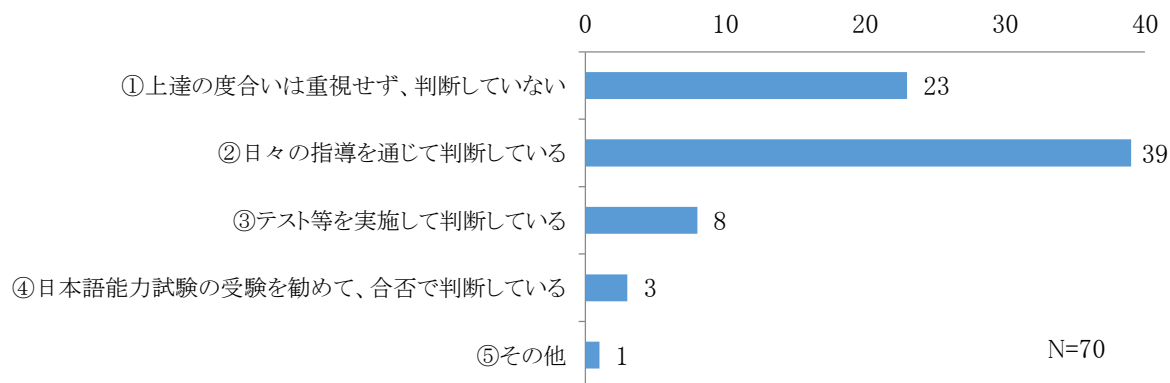
①日本語の日常会話中心	⑥ビジネスマナーや就職に必要な日本語
②日本語の読み書き中心(文字、文章、作文)	⑦日本人と外国人の交流や多文化共生
③日本語の文法中心	⑧日本の文化を教える
④日本語能力試験対策(N1・N2・N3・N4・N5)	⑨その他
⑤生活に必要な日本語	



⑨その他

学習者個々の要求に応える事を旨としているため、上記の項目は記入できない。	1 件
習字(筆)	1 件
個別のニーズに対応する。	1 件
全てにかかわっていて順位は難しい。	1 件

問10 日々の学習において、学習者の日本語の上達度合いをどのように判断していますか。



⑤その他

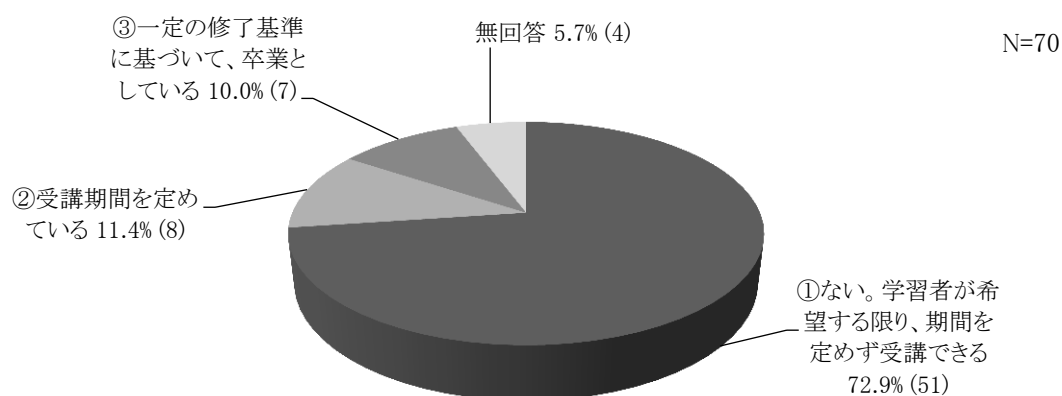
成果報告会の実施	1 件
----------	-----

問11 上達の度合いを判断した後、どのような対応をしていますか。

※自由記述（同様コメントのまとめ）

レベルに応じて上のクラスを勧める、進級や編入をさせる。	17 件
個人に合ったレベルに合わせ教材や教え方の変更をする。	9 件
日本語能力試験を勧める、受験させる。	4 件
指導者の判断で宿題や授業内容を考える。	2 件
個別指導等必要に応じて実施する。	2 件
能力判断テスト後にクラスを決める、もしくはクラス編成をする。	2 件
上達したとほめる。お祝いをする。	2 件
復習をする。わかるまで教える。	2 件
教室活動を見直す。	1 件
クラス全員が上達していれば教材のレベルを上げる。	1 件
学習者が自身で判断している。	1 件
レベル別修了証の発行	1 件
会話ができるようになったら、読み書きにすすむ。	1 件

問12 教室には、修了(卒業)の基準がありますか。



③一定の修了基準に基づいて、卒業としている

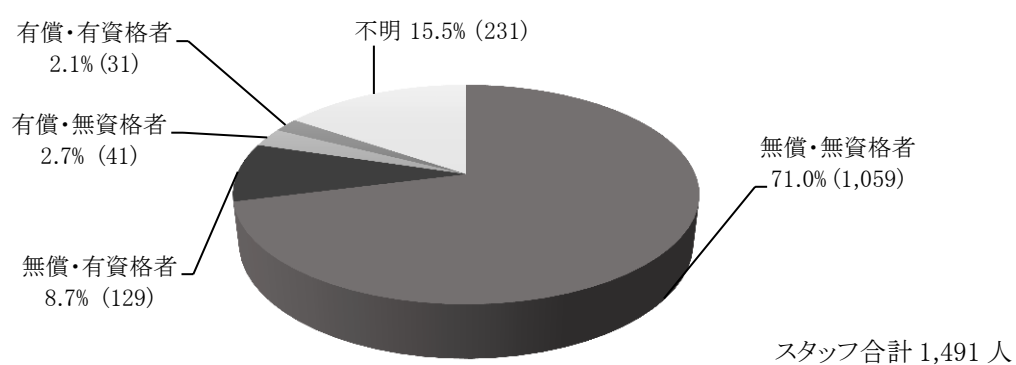
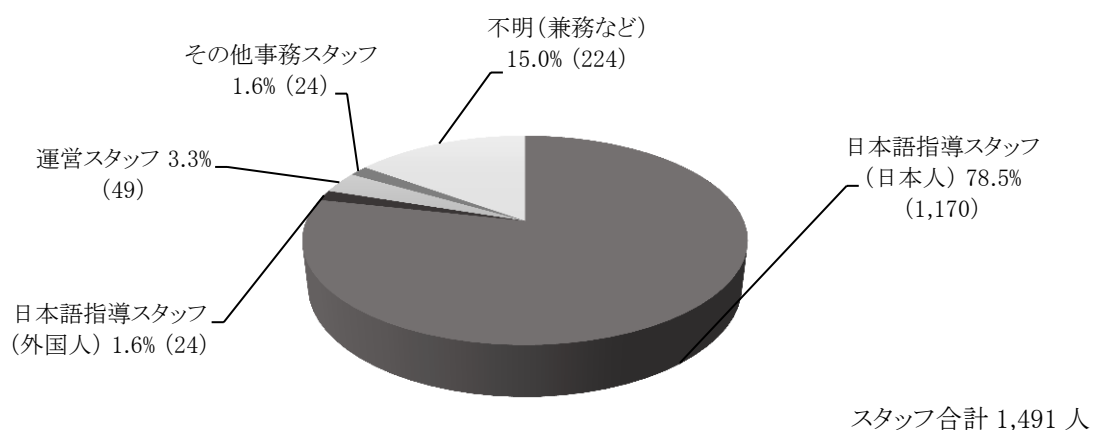
※自由記述（同様コメントのまとめ）

出席率および学習上達度で判断する。	2 件
教室回数全10回の内7回以上出席した人は一律卒業。	1 件
使用しているテキスト範囲のレベルのみ受付け、その範囲であれば何度でも受講できる。	1 件
日本語能力検定 1 級合格	1 件
日常会話ができる。読み書きができる。	1 件
毎回、最初の講座の日にレベルチェックのテストを実施し、厳密にクラス分けをしている。自分にあったレベルであれば何度でも受講できる。	1 件

■教室の実施体制と日本語指導スタッフのスキルアップ等について

問13 教室で活動されている日本語指導スタッフ・運営スタッフの人数を教えてください。

	総数	無償・ 無資格者	無償・ 有資格者	有償・ 無資格者	有償・ 有資格者	不明 (資格等)
総数	1,491	1,059	129	41	31	231
日本語指導スタッフ (日本人)	1,170	865	118	26	26	135
日本語指導スタッフ (外国人)	24	11	4	7	1	1
運営スタッフ	49	40	3	4	2	0
その他事務スタッフ	24	17	1	4	2	0
不明(兼務など)	224	126	3	0	0	95



◆その他事務スタッフの役割をお書きください

※複数回答あり（同様コメントのまとめ）

(学習者、ボランティアなどの) 受付、登録、名簿管理、送迎などの業務	5 件
教室の運営サポート(教材の購入、イベント企画、行事の準備、委員会の参加等)	5 件
授業料徴収、会計	2 件
HP、出版物などの広報活動、運営管理	1 件
託児ボランティア	1 件

※「有資格者」とは、以下のいずれかを満たした方を指します。

- 1 大学で日本語教育を主専攻または副専攻して修了した人
- 2 日本語教育能力検定試験に合格した人
- 3 日本語教師養成講座 420 時間を修了した人

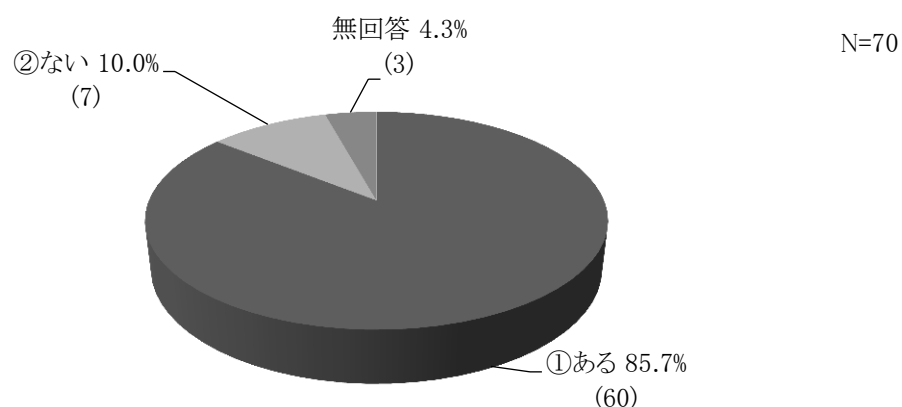
問14 日本語指導スタッフのスキルアップのために、教室として行っていることがあれば教えてください。

※自由記述（同様コメントのまとめ）

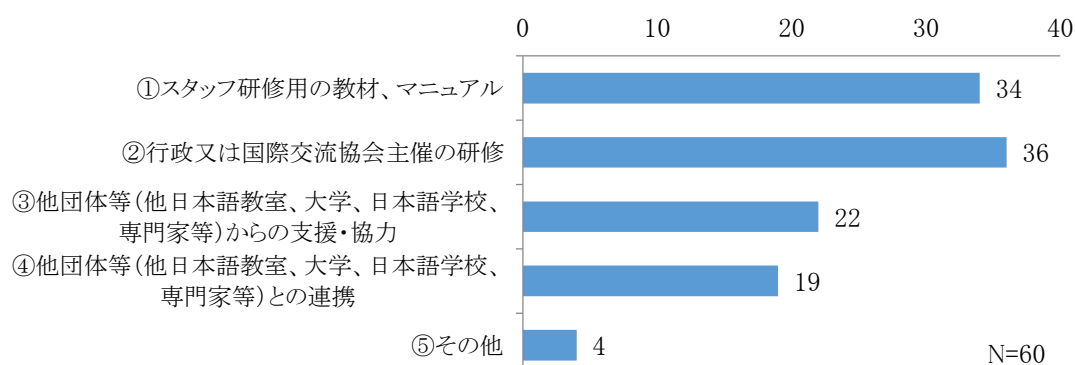
スタッフ間で勉強会、意見交換、予習などを定期的に行う。	14 件
教室で会議や研修会を開催する。	7 件
講師向けセミナー・講座、行事に参加する。	6 件
外部講師を招いて講習会を実施する。	6 件
教室終了後に反省会やミーティングをする。	5 件
行政や国際交流協会等主催の研修に参加する。	3 件
日本語ボランティア養成講座を開催する。	2 件
指導員にまかせている。	2 件
教材の研究、指導方法の確認、模擬授業を行う。	2 件
有資格者の意見を取り入れる。	1 件
特に行っていない。	3 件

問15 日本語指導スタッフのスキルアップのためにあると望ましいと思うものはありますか。

※思うもの全てに○



① ある:内容

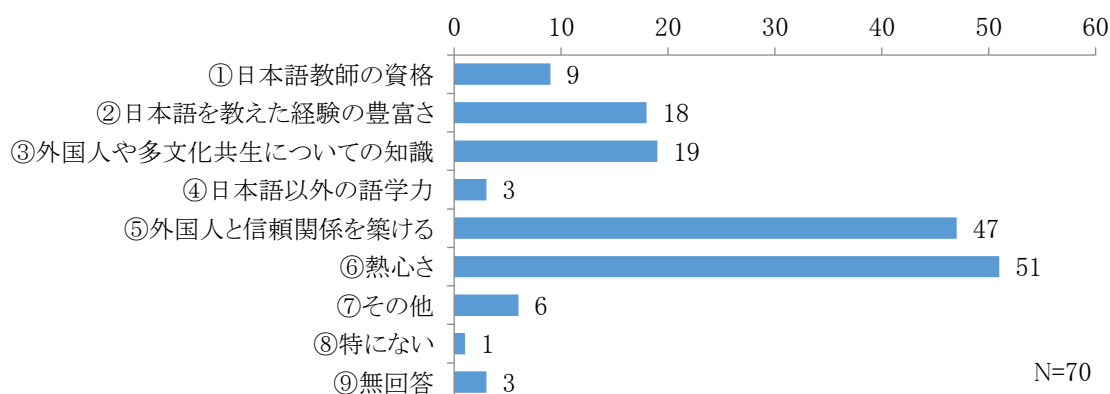


⑤その他

地域の状況や人材について知る。	1 件
講師を招いて勉強会を行う。	1 件
経験者及び指導者同士の教え合い	1 件
ライセンスを持つ専門講師にお願いしているので、講師らのスキルアップを考えたことがない。	1 件

問16 日本語指導スタッフに求める能力や姿勢などについて教えてください。

※主なものに3つまで○



⑦その他

毎回(毎週)参加できること	2 件
社会経験や日本文化の知識	1 件
継続的にボランティア活動に参加する姿勢	1 件
資格より教える姿勢	1 件
明るさ、向上心、忍耐力、教室に対する協力性	1 件

問17 日本語指導で困っていることはありますか。

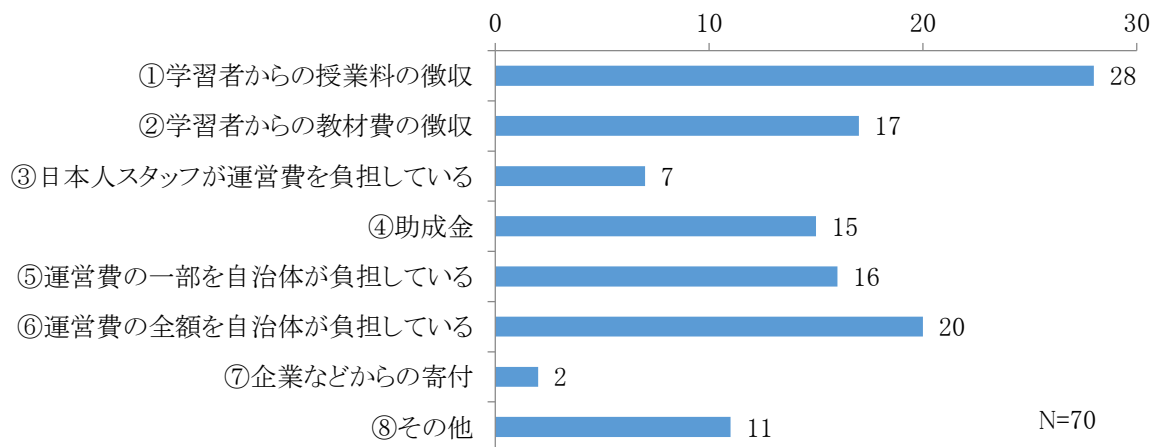
※自由記述（同様コメントのまとめ）

日本語指導の専門家がいないので、文法等の正式な教え方ができない、学習者の日本語能力の見極めが難しい等の指導方法、技術の問題。	10 件
講師・ボランティアスタッフの不足。スタッフの確保、固定化が難しい、若い人の参加が少ない。	10 件
学習者が定着しない、出席率にムラがある。	6 件
学習者のレベルの多様化	5 件
十分な教室が確保できない。	4 件
教材の不足(自主教材作成の問題、不足などの問題)	2 件
スタッフ全員で話し合う機会が十分とは言えない等講師同士の交流と協働	2 件

■教室の運営について

問18 運営費をどのように調達していますか。

※あてはまる全てに○

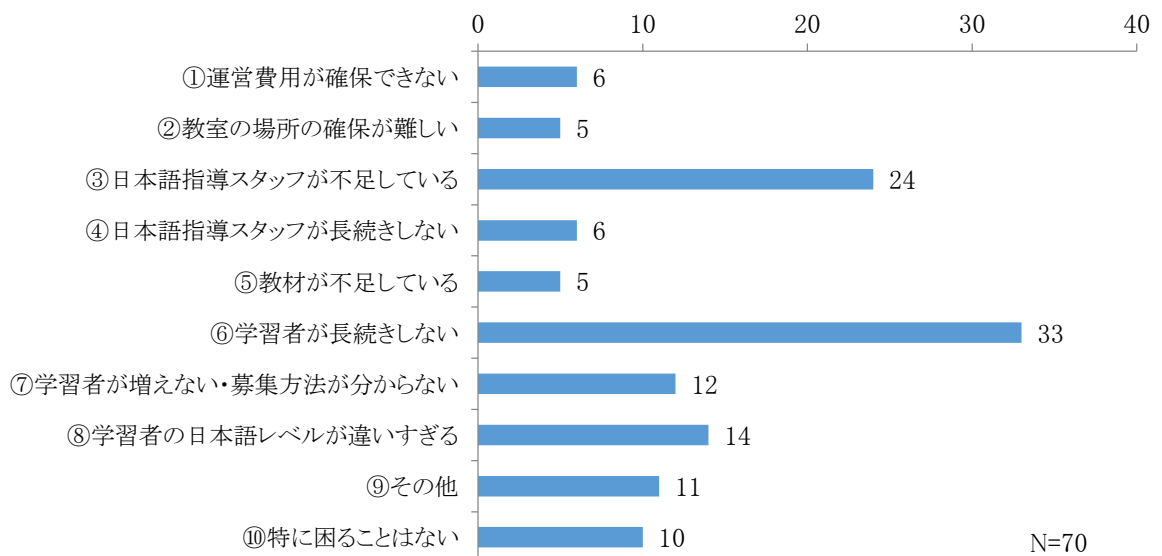


⑧その他(同様コメントのまとめ)

運営費の全額(もしくは一部)を国際交流協会が負担	4 件
スタッフボランティア、教材費は支援団体、事務費は財団	1 件
学習者から入会金、イベント代等として徴収	3 件
開催場所の利用費用を自治体で負担	1 件
交流会等はスタッフ、学習者同額負担	1 件
ボランティア会員が運営費の一部を負担	1 件

問19 教室の運営で、困っていることはありますか。

※主なものに3つまで○

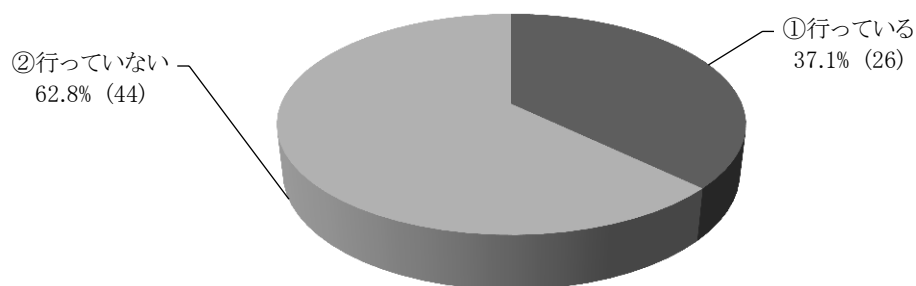


⑨その他（同様コメントのまとめ）

新規スタッフが入ってこない、スタッフが毎回参加しない等	4 件
ボランティアスタッフのレベル(責任感などの意識)に差がある。	3 件
日本語指導の専門家(経験者)がいない、資料・機材の置き場所がない。	1 件
若い方のボランティア継承が難しい。	1 件
代表希望者がいない。	1 件
地域に対してどのくらい還元できているのか不明。	1 件

■他団体との連携や今後について

問20 他の団体や日本語教室との連携や交流を行っていますか。



N=70

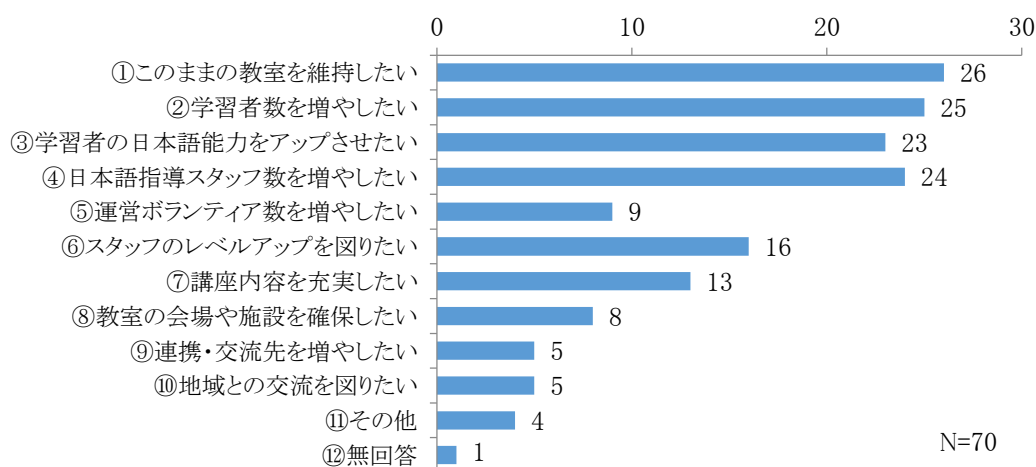
①連携や交流を行っている: 交流団体と交流内容

交流団体名のまとめ ※複数回答あり	
東海日本語ネットワーク	10 件
愛知県や国際交流協会	8 件
国際交流団体、NPO 団体、 多文化共生団体、日本語教室	6 件
大学 (愛知教育大学、愛知淑徳大学)	3 件
とよた日本語学習支援システム	1 件

交流内容のまとめ ※複数回答あり	
情報取得、提供、交換	17 件
合同研修、合同会議	6 件
教材、教室のシェア、教材の提供	5 件
講師や通訳の派遣、講習会の開催	5 件
学習者の情報提供、交流会、 レクリエーション	4 件
人材交流	3 件
イベント、事業、シンポジウムの共催	3 件
印刷物の作成や募集告知など運営 協力	2 件

問21 今後、教室をどのようにしていきたいとお考えですか。

※主なものに3つまで○



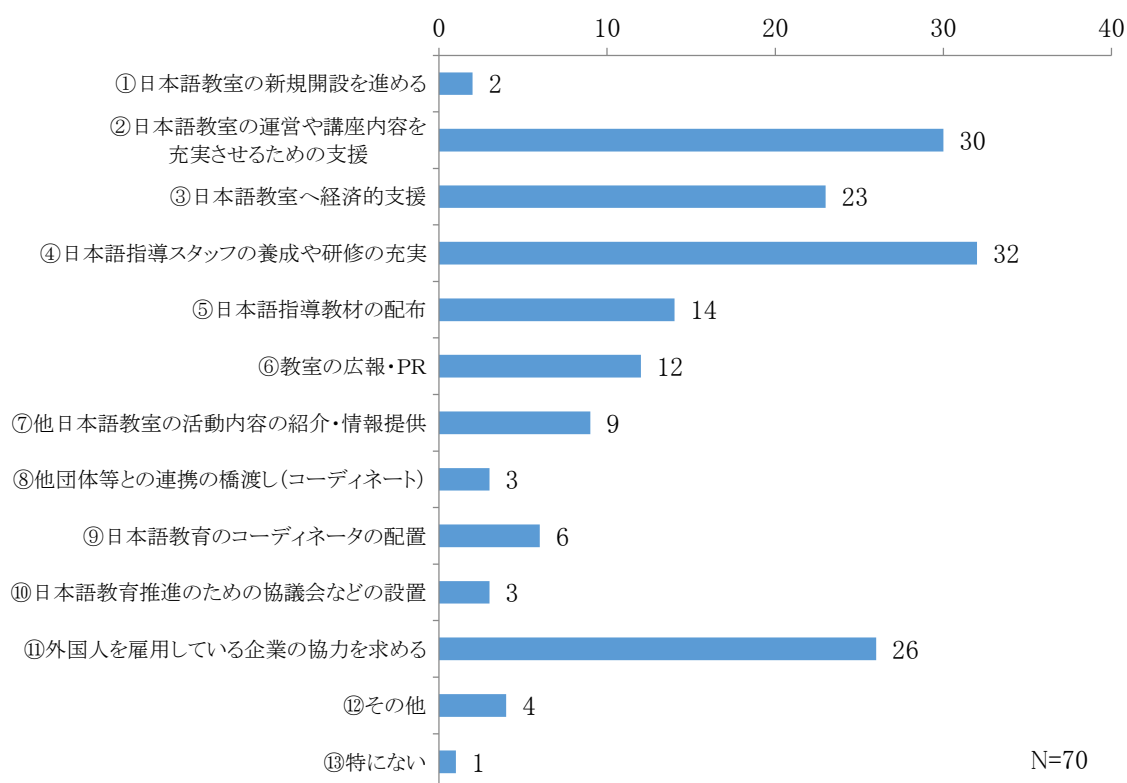
⑪その他

本年度終了時実績に基づいて判断する。	1 件
学習者の出席率を高めたい。	1 件
ボランティアのミーティングルーム(事務所)を確保したい。	1 件
ボランティアの継承	1 件

■ 県がすべきことや地域における日本語教育指針への期待について

問22 今後、地域の日本語教室について、県はどのような施策を実施するべきでしょうか。

※主なものに3つまで○

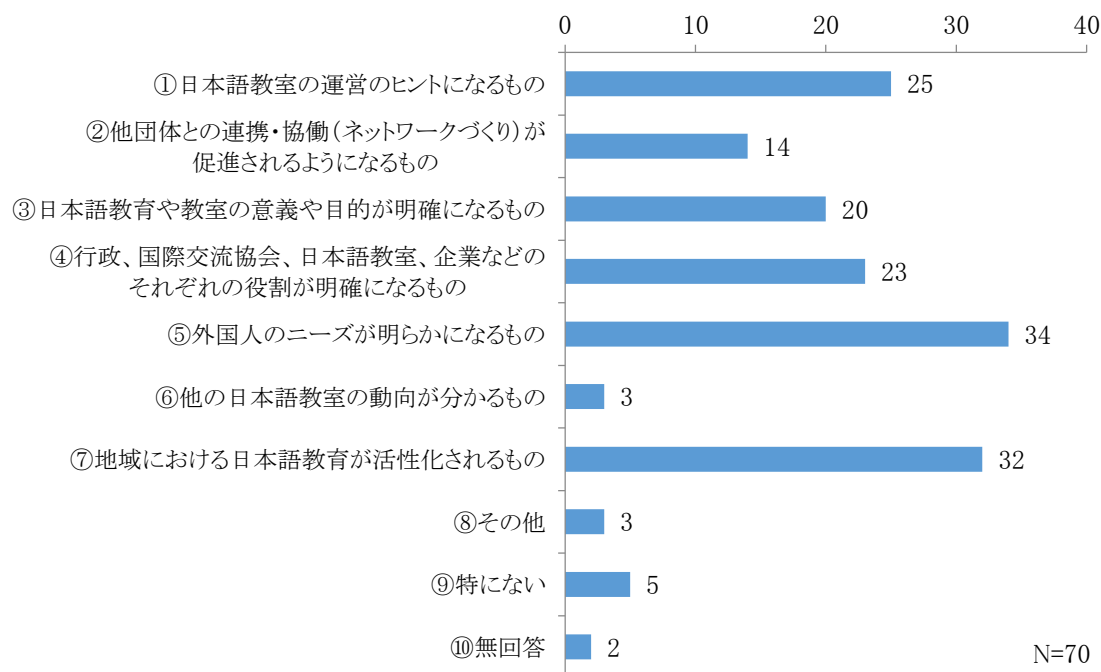


⑫その他

場所の提供	1 件
日本語学習者への補助金(奨学金)	1 件
学習者への助成金。企業主に日本語学習への理解を促す。	1 件
制度やしきみづくり	1 件
初期指導教室を設け学習機会を保障する(集中的に学習できるところ)。	1 件

問23 地域における日本語教育指針の策定に期待することを教えてください。

※主なものに3つまで○



⑧その他

個々レベルが違うので、多くの地域の人々の理解と協力が必要。	1 件
外国人が日本語を必要と思わせる方策 (日本語がわからなくても生活できてしまう。日本語を必要と思わない。)	1 件
日本語能力が社会的(就労)に評価されるしくみ	1 件

個別インタビューから 一特長ある取組をしている教室を紹介します。

◆ことばの会（名古屋市）～学習者のニーズにあったクラスを開催～

ことばの会では、初級、中級、上級だけではなく、漢字のクラス、作文のクラスなど学習者の要望にあったクラスをおよそ 20 クラス開催しています。

スタッフはボランティアですが、最初に 6 か月の試用期間を設け、この仕事に携わるために必要な知識や日本語を教える際に気を付けることなどを学びます。また、月に一度、勉強会を行い、会の目標や全員で共有しておくべき情報などを確認します。

教室運営で大事なことは、学習者のニーズを聞いてそれに応え、楽しいと思える教室をすることです。まずは、「先生、生徒」の関係ではなく「仲間」として関係づくりをしていくこと、学習者から信頼されることが重要だと考えています。

◆シェイクハズ（犬山市）～関係機関と積極的に連携を構築～

シェイクハズでは、地域の方にも授業に参加していただき、外国人と日本人がふれあうことのできる日本語教室を「楽田ふれあいセンター」（犬山市）で開催しています。

また、地区コミュニティ推進協議会、他の N P O 団体・日本語教室、行政、国際交流協会、小中学校などとも積極的に連携をしており、現在は、文化庁の事業で、尾北地域の日本語教室の連携を構築するネットワーク会議を開催し、学習者としての外国人の情報を共有しやすい関係づくりを目指しています。

◆トルシーダ（豊田市）～外国人の安定した就労を目指して～

トルシーダでは、豊田市ものづくり産業振興課の委託で「中級日本語講座」を開催しています。地域他団体の日本語教室と、レベル設定や内容が重複しないよう「中級」としましたが、実際には、初級から上級まで様々なレベルの学習者がいます。講座の目的は「安定した就労」。今後、日本語能力試験のレベル認定等、日本語能力が就労において評価されるようなシステムづくりがされれば、外国人の日本語に対する興味が増し、学習意欲につながるのではないかと考えています。

◆フロンティアとよはし（豊橋市）～日本語能力試験に特化した教室～

フロンティアとよはしでは、日本語能力試験対策に特化した日本語教室を開催し、学習者がスキルアップすると同時に、精神的・経済的自立ができるように応援しています。教室の特徴としては、日本語指導スタッフが全て外国人であることです。自身も勉強して日本語能力試験 N1、N2 を取得した経験により、試験でつまづきやすい点がわかり、また、母語での指導ができることが利点です。

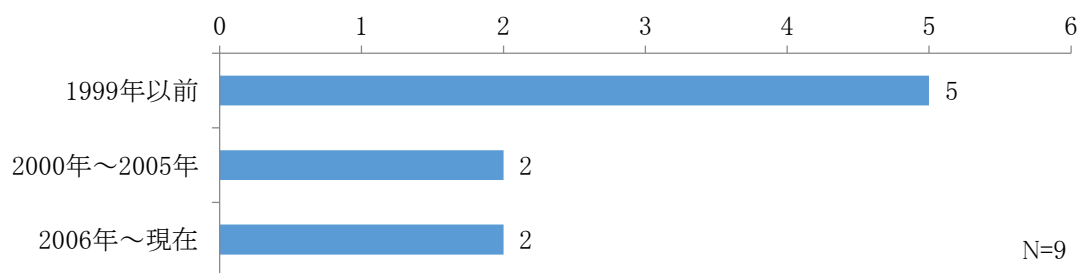
教室は「外国人にとっての問題解決の場」でもあるとし、日頃から学習者のバックグラウンドの理解に努め、学習者に問題が生じた場合は、必要な支援をしています。

5 日本語教育機関調査結果

- 調査対象 県内日本語教育機関(日本語学校)
- 調査期間 平成 25 年 10 月 21 日から平成 25 年 11 月 15 日まで
- 回収率 45.0% (回答 9 件／送付 20 件)

■貴機関(日本語学校)の概要について

問1 設立時期



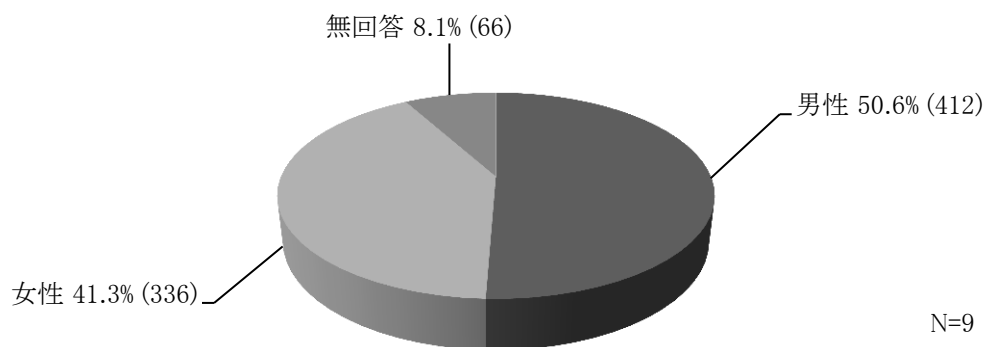
問2 講座の対象者

※多い順番に回答

	1 番目	2 番目	3 番目	4 番目
留学生	9			
定住者・永住者		6	3	
短期滞在者		2	4	
技能実修生				2
その他		1		

※9機関全てが、1番目に多いのは「留学生」と回答。

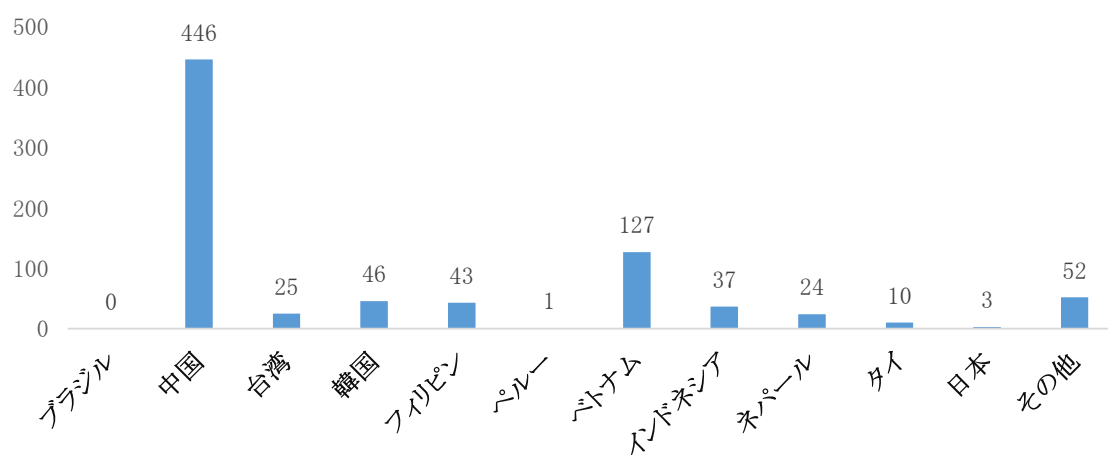
問3 学習者数 (全講座合計)



問4 学習者の国籍別・年齢別人数（全講座合計）

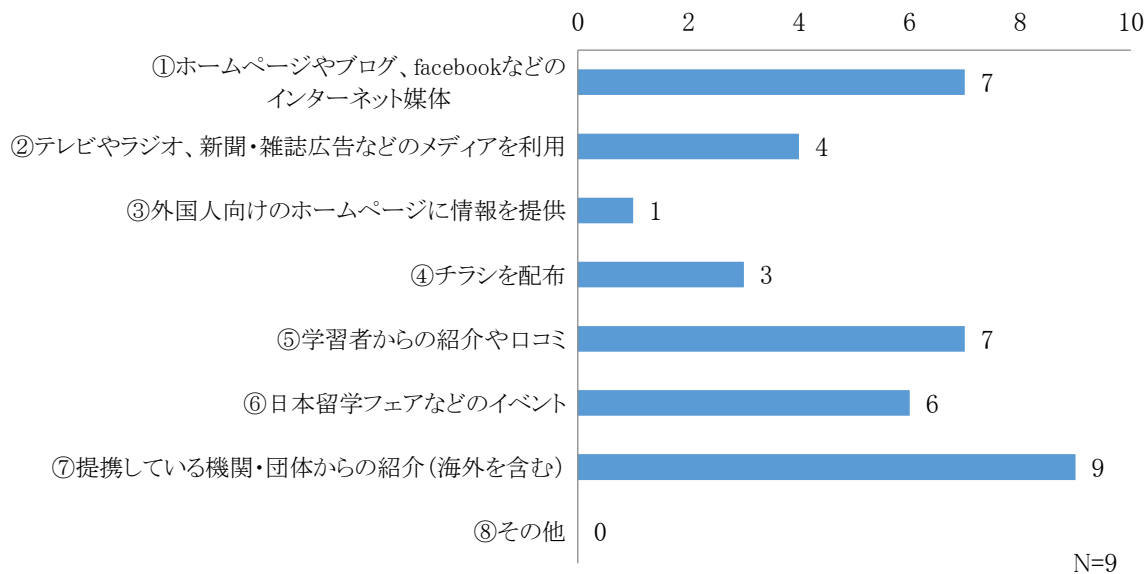
※平成 25 年 9 月 1 日現在

	合計	20 歳未満	20～39 歳	40～59 歳	60 歳以上	年齢不明
総数	814	119	625	4	0	66
ブラジル	0	0	0	0	0	0
中国	446	84	333	0	0	29
台湾	25	0	11	1	0	13
韓国	46	1	28	1	0	16
フィリピン	43	0	41	0	0	2
ペルー	1	0	1	0	0	0
ベトナム	127	30	96	0	0	1
インドネシア	37	0	37	0	0	0
ネパール	24	0	23	0	0	1
タイ	10	0	10	0	0	0
日本	3	2	1	0	0	0
その他	52	2	44	2	0	4



問5 学習者の募集方法を教えてください。

※あてはまる全てに○



■貴機関の目的等について

問6 貴機関が掲げる日本語教育の目的(理念・方針)について教えてください。

※自由記述

「学習意欲の高い学生に最高水準の教育を提供する」が当校の教育方針。
外国人に対する質の高い日本語教育を行い、学生が将来より豊かな人生を送る一助となることが目的。
外国人に日本語、日本文化を習得させ、日本と母国の発展に寄与する人材を育成する。
確実な日本語能力を身に付け、留学試験での高得点の獲得、日本語能力試験の合格を目指す。そして的確な進路指導を行う。
国籍、性別、年齢を超えてコミュニケーション能力を上げ、世界的視野で考え行動できる人材を育成し、地域社会と国際社会に貢献する。
大学、大学院、専門学校等で日本人と共に学ぶために必要な日本語能力の醸成。日本語能力試験、日本留学試験において高得点があげられるように配慮した授業構成を実施。
日本の大学・専門学校への進学を目指す外国人を対象とし、社会生活をする上で必要な能力、また、大学専門学校における学習、研究の基礎として役立つアカデミックジャパニーズの能力を身につけさせることを目的としている。
日本語を世界の若者に普及させること。
本校の日本語学科は、日本の専門学校や大学への「進学」が目的である。日本語能力試験 N1 や N2 等、日本での進学に適う日本語能力を身につけることが目標である。

問7 貴機関の特色(強み)を教えてください。

※自由記述

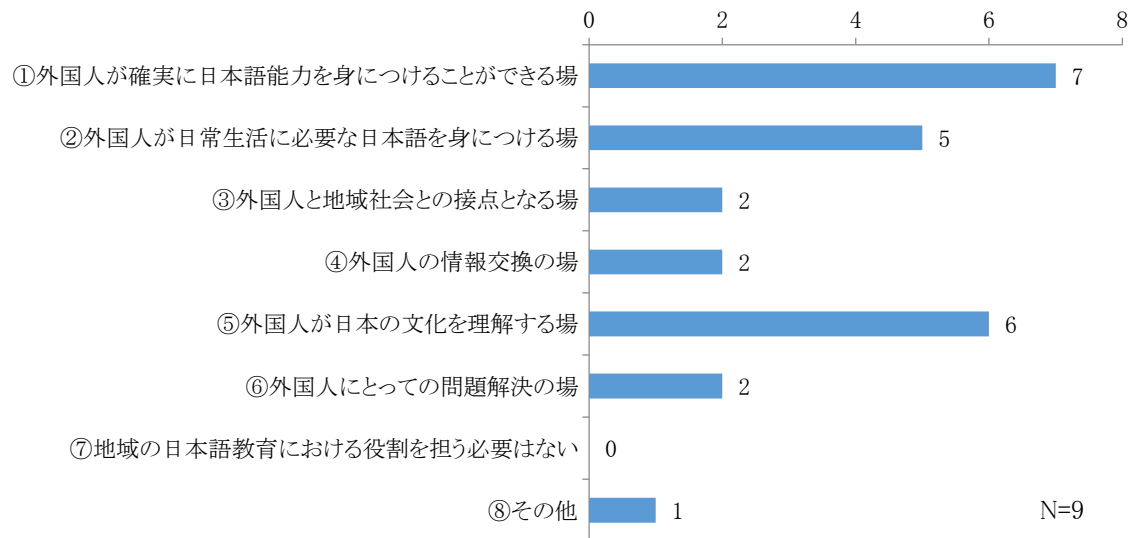
進学率が高い。また進学先のレベルが高い。日本語能力試験の合格率が高い。
教育内容が充実している(日本語能力を伸ばす指導)。学費が安い。
留学試験、能力試験の得点率が高い。生活指導、人材育成に重点を置いたアットホームな学校。
進学率が高い。出席率が良好(毎月85%以上の出席率を求めている)。細かな学習、進学指導。
多国籍。学習、生活、進路に対するきめ細かな指導。校外活動を多用した実践的授業。
日本人学生と同一キャンパスで学び、キャンパス内での交流もある。グループ各校への優待入学。専門学校の特性を活かした選択科目の設置。K塾講師による日本語能力試験対策講座の実施。
進学率が高い。クラス担任制のきめ細かな指導体制
きめ細かな指導体制
本校は、T大学グループの一員である。大学には、日本語別科、大学学部、更には大学院博士課程までも擁している。日本語学科卒業後もグループ校へ進学するなど、一貫した教育が実施できることである。

問8 貴機関において、外国人への日本語教育(特に成人向け)にはどのような問題点があると認識されていますか。 ※自由記述

学生の出身国(例えば漢字圏かどうか)により、学習スタートのレベル、進度に差がある。様々な国籍の学生対象に効率の良いクラス運営はとてもむずかしい。
定住者、永住者の子供への教育についての関心が低い。また、知識に乏しい。
日本語を実際に使う、日本人との交流、日本地域社会との交流の機会が少ない。
目的意識の低下。学習時間の低下。レベルに差がありすぎる。非漢字圏の学生の漢字に対する苦手意識。
問題点ではなく課題となるが、学習目的や学習者の背景の多様化にいかに対応するかという点。
モチベーションの維持が大変。ニーズがどんどん幅広くなっている。
ベトナム学生の受け入れが始まったが、対応がまだ十分でない。
漢字圏と非漢字圏との差が大きい。
出席不良学生への指導

問9 地域の日本語教育における日本語教育機関(大学、日本語学校等)の役割にはどのようなものがあるとお考えですか。

※重要と思われるもの3つまで○



⑧その他

言葉を習い、情報交換を得ることにとどまらず、その知識と情報を生活の中で適切に使えるようにすることが大切。生活のルールや日本的常識を理解し、地域住民とのトラブルが発生しないようにすることが、本人達の快適な生活につながると考える。	1 件
---	-----

■実施体制と日本語教師のスキルアップ等について

問10 貴機関で活動されている日本語教師、運営・事務スタッフの人数を教えてください。

	合計	無償 無資格者	無償 有資格者	有償 無資格者	有償 有資格者
総数	198	0	0	30	168
日本語教師(日本人)	154	0	0	1	153
日本語教師(外国人)	9	0	0	9	0
運営・事務局スタッフ	35	0	0	20	15

※一部兼任者あり

※「有資格者」とは、以下のいずれかを満たした方を指します。

- 1 大学で日本語教育を主専攻または副専攻して修了した人
- 2 日本語教育能力検定試験に合格した人
- 3 日本語教師養成講座 420 時間を修了した人

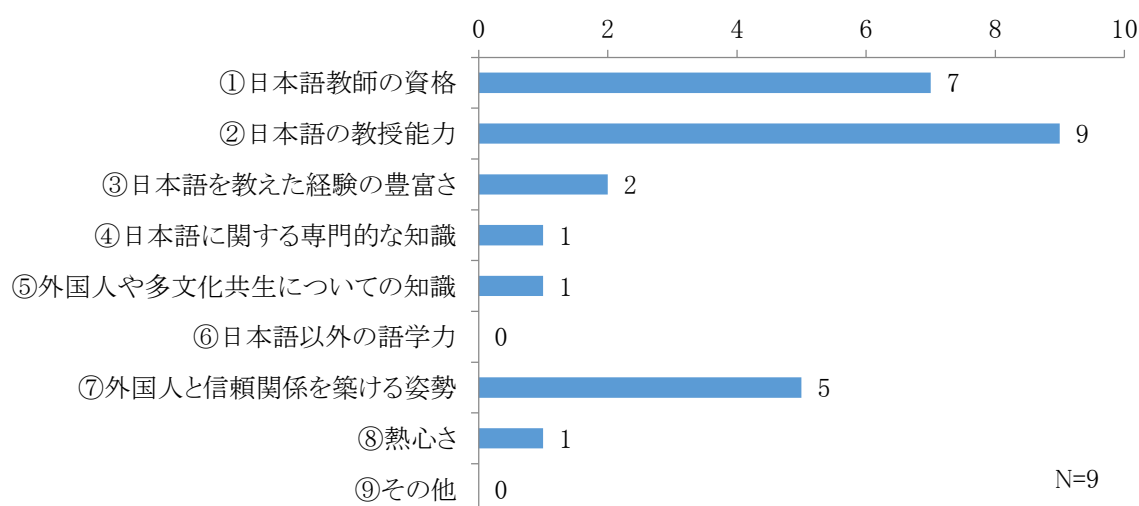
問11 日本語教師のスキルアップのために、貴機関として行っていることがあれば教えてください。

※自由記述（同様コメントのまとめ）

学校内での講師会、人材教育指導の実施。	4 件
講師が学会、研修会、勉強会などに参加。	3 件
授業見学、オブザーバーによる授業力指導の実施。	2 件
講義報告書の公開、定期教務会議	1 件
日本語教師養成講座(420 時間)を実施している。	1 件

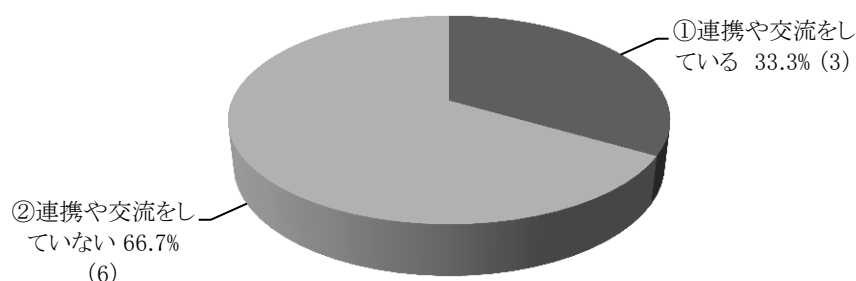
問12 日本語教師に求める能力や姿勢などについて教えてください。

※主なものに3つまで○



■他団体との連携や今後について

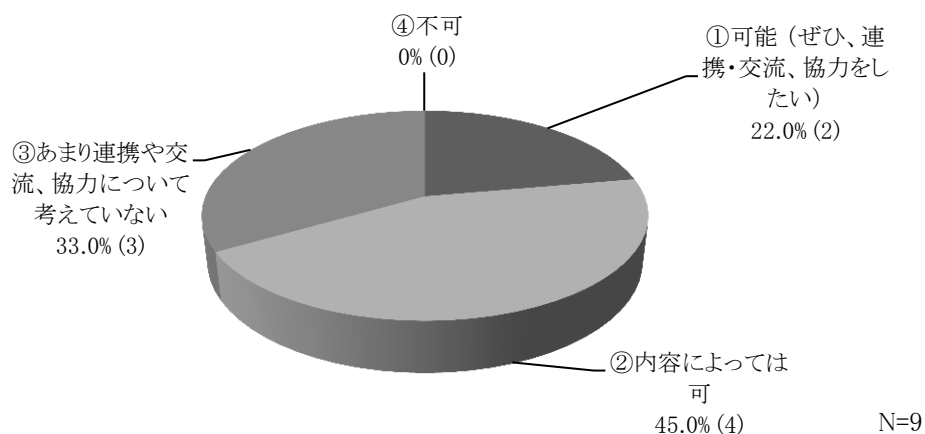
問13 日本語教育に関して、他の団体(県、市町村、企業、大学、NPO、日本語教室等)との連携や交流を行っていますか。



① 連携や交流をしている: 交流団体と交流内容

交流団体名	交流内容
警察署	入学時のオリエンテーションで日本の交通ルール等を指導してもらっている。
大学	合同での「研修会」実施や教員の交流等
無回答	研修受託、講師派遣

問14 今後、地域の日本語教室等、他団体から連携や交流、もしくは何らかの協力の依頼があった場合、応じることは可能ですか。

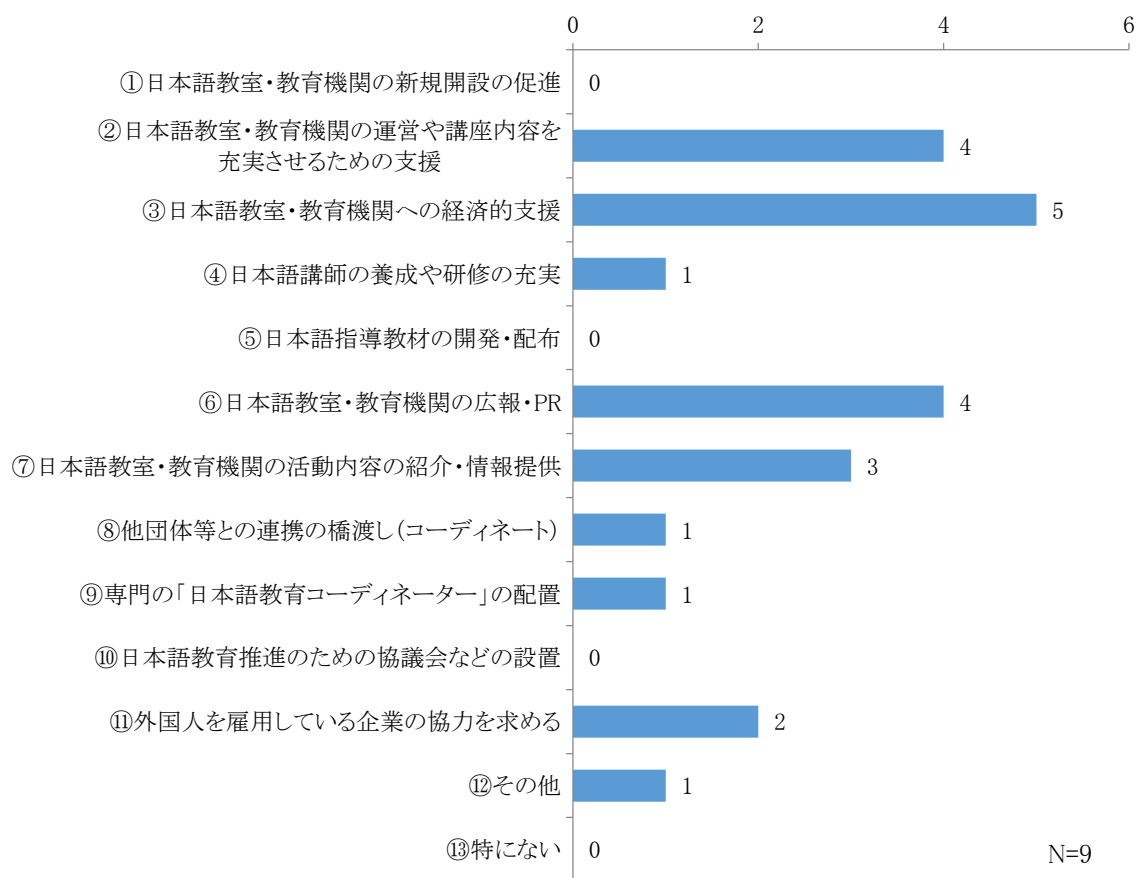


①可能、②内容によっては可: 応じることのできる内容

情報交換	3 件
日本語教育	1 件

■ 県がすべきことや地域における日本語教育指針への期待について

問15 今後、地域の日本語教育に対して、県はどのような施策を実施するべきだと思われるか。※主なものに3つまで○

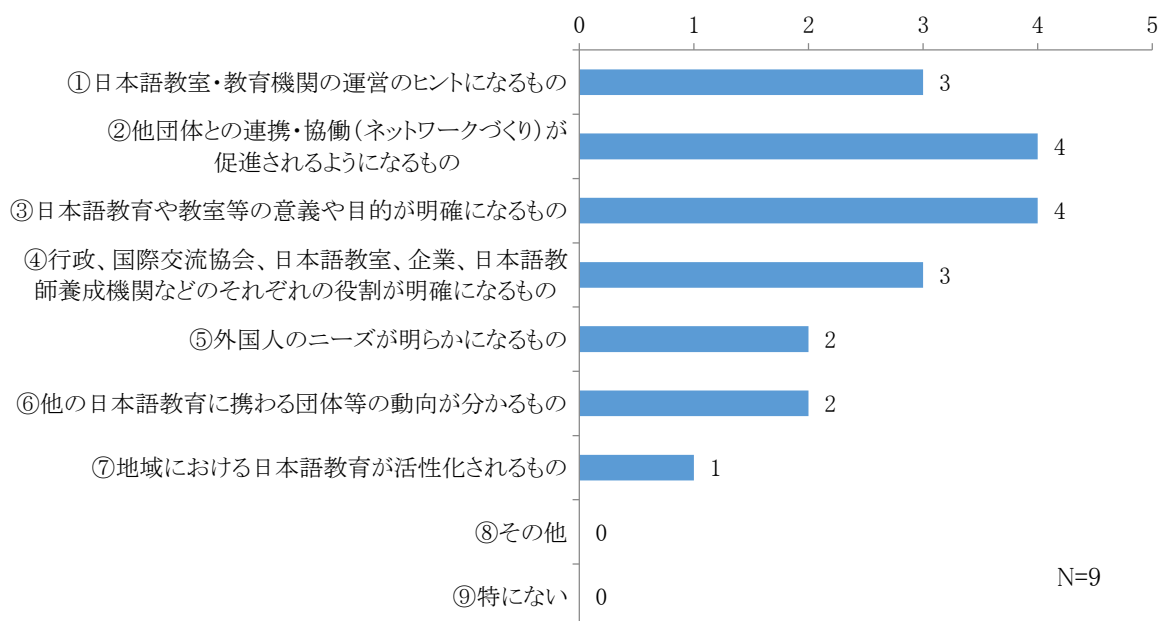


⑫その他

各種学校としての認可を検討して頂きたい。	1 件
----------------------	-----

問16 地域における日本語教育指針の策定に期待することを教えてください。

※主なものに3つまで○



個別インタビューから ー他団体との積極的な連携を希望しています。

◆名古屋国際外語学院

平成 21 (2011) 年に創立した名古屋国際外語学院では、留学生向けと定住者向けのクラスを開設しています。日本語のみならず、書初めや七夕などの体験を通して、日本の文化・慣習なども同時に学びます。学習者の日本での滞在が有意義なものとなってほしいとの思いから、今後は、小中学校や自治会などの地域コミュニティとつながる課外授業ができればと考えています。また、他日本語教育機関や地域の日本語教室と連携するという考えについて肯定的であり、将来的には、情報交換や教材開発、日本語指導法等の勉強会の実施など、横のつながりを重視したいとしています。

◆愛知国際学院

愛知国際学院では、中国人を中心に 200 名以上の学習者が日本の大学・大学院・専門学校への進学をめざし、大学・大学院・専門学校における学習、研究に必要なアカデミックジャパニーズの能力、また、社会生活をする上で必要な能力(日本の文化や習慣、マナーなど)を身につけるために学んでいます。入学当初には母語通訳を交えて徹底したオリエンテーションを実施し、日本での社会生活に必要な知識や習慣、生活ルールなどを学びます。

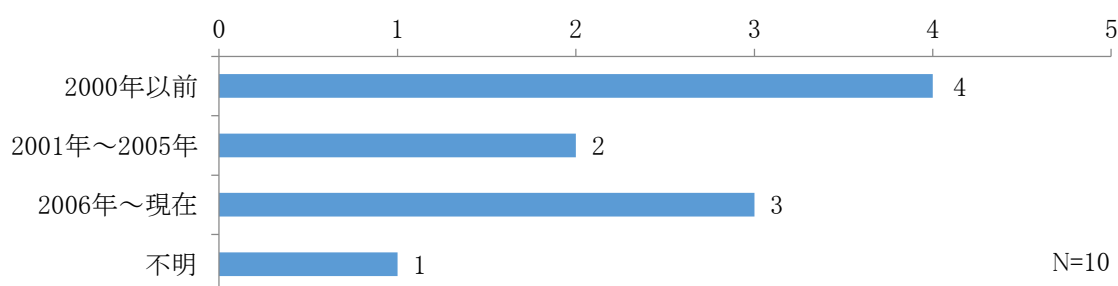
日本留学試験に対応したオリジナル教材の開発にも取り組んでいるため、教材作成や日本語指導法の勉強会の実施などで、地域の日本語教室とも連携を取り、情報交換や人材交流などができるのではないかと考えています。

6 日本語教師養成機関調査結果

- 調査対象 県内日本語教師養成機関
※日本語教師養成講座を開設している大学、日本語学校
- 調査期間 平成 25 年 10 月 21 日から平成 25 年 11 月 15 日まで
- 回収率 50.0%（回答 10 件／送付 20 件）

■貴機関(大学)の日本語教師養成講座の概要について

問1 講座開設時期



問2 講座の内容

※自由記述

コミュニケーションを核として、人文学部人文学科の科目として、「社会・文化・地域に関わる領域」「教育に関わる領域」「言語に関わる領域」の3領域に、「社会・文化・地域」「言語と社会」「言語と心理」「言語と教育」「言語一般」の5区分を設けている。
ひと通りの知識のある方を対象に、教壇実習を中心とした指導をする短期集中講座。1回あたり2名まで。
日本語教師となるために必要な理論と技術を学ぶ。420時間通信講座を修了すること。日本語教育振興協会の定める教師の基準を満たすことができるので、国内外で日本語教師として活躍できる資格を得ることができる。理論はおよそ10時間内、技術(実践実習)はおよそ110時間で文化庁指針に基づいたカリキュラムである。
文化庁「日本語教員養成において必要とされる教育内容」に準拠した420時間の講座を実施。
文化庁指針の「420時間カリキュラム」をベースに、最近の日本語教育能力検定試験対策も盛り込んだカリキュラムを実施。教育実習では、外国人生徒を相手に実習を行い、迅速かつ的確な判断力、実践力を養い、すぐに現場に立てるスキルを身につける。他にも模擬授業やケーススタディ、ワークショップを豊富に実施。ノウハウを覚えるのではなく、自ら考え行動できる教師を育てる。
「社会・文化・地域」「言語と社会」「言語と心理」「言語と教育」「言語」の区分からなる講座と「日本語教育実習」
6ヶ月で420時間を習得。基礎からしっかり学び検定試験に備える。420時間を超える充実したカリキュラム。日本語の基礎・理論から、実践へと体系的に学ぶ。
「日本語文化学講座」「日本語教育学講座」「応用言語学講座」「比較日本文化学講座」「現代日本語学講座」「日本語教育方法論講座」

問3 受講者の年齢別人数

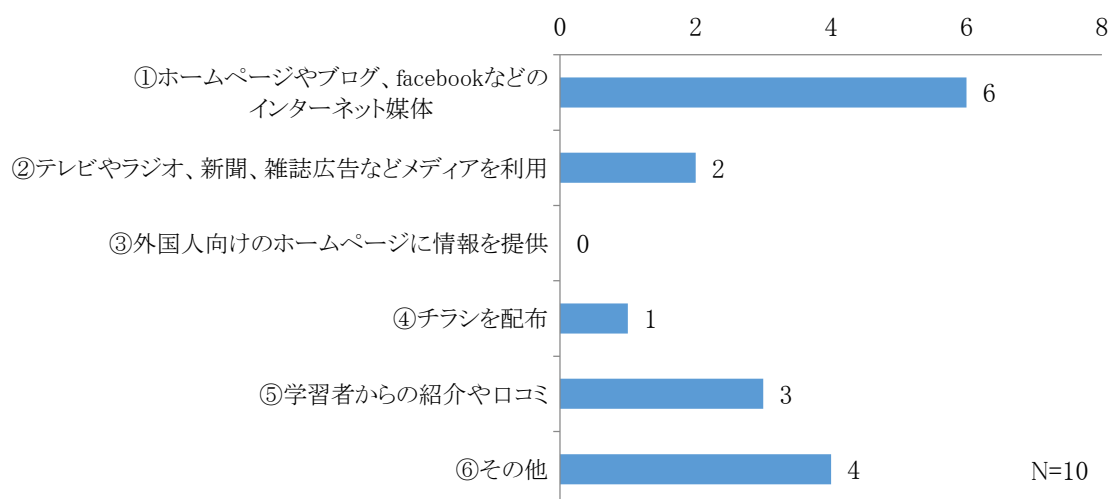
※平成 25 年 10 月 1 日現在

	合計	19 歳以下	20～39 歳	40～59 歳	60 歳以上	年齢不明
総数	748	2	159	32	15	540
男性	70		18	4	10	38
(外国人)	0					
女性	342	2	137	25	5	173
(外国人)	7		4	3		
無回答	200					200
(外国人)	129					129

※上記の集計人数は 5 機関のみ

問4 受講者の募集方法を教えてください。

※あてはまる全てに○



⑥その他

学生への配布資料(授業のため、希望する学生のみ受講可能)	1 件
学校で発行のインフォメーションガイド	1 件
大学シラバス、オリエンテーション、学内掲示後に説明会実施	1 件
オープンキャンパス、留学フェア	1 件

■貴機関(大学)の日本語教師養成講座の目的等について

問5 貴機関(大学)が掲げる日本語教師養成の目的(理念・方針)について教えてください。

※自由記述

420 時間において基礎から学び日本語教育能力検定試験に備える実力を養成していく。
グローバルな視点を持つ、日本語教師を養成することを通して、日本の多文化共生社会化の推進に寄与する。
わかりやすく楽しい授業を通して、日本語教師と外国人学習者が信頼関係を結び、日本語教育の向上を目指す。
一般的な養成講座のみでは習得が難しいとされる教室内でのパフォーマンス力や学生への対応の仕方などを身に付け、即戦力となる講師を育成する。
国の内外を問わず活躍できる教師の育成。「日本語を教えること」にとどまらず、それを通して国際交流に貢献できる人材の育成。
国内外で活躍できる日本語教師。地域のボランティア日本語教育でリーダーとなれる人。
国内外の教育機関において、日本語を教授する人材の育成。
日本言語文化専攻は、日本文化、日本語教育、日本語学の研鑽を基礎とし、実践的語学力を身につけ、国際的な広い視野と深い洞察力を備えた日本文化学の専門家及び指導的日本語教育者の養成を目指すものである。

問6 貴機関(大学)が養成しようとしている日本語教師とはどのような教師ですか。

※自由記述

外国人に対して、オープンなマインドで接し、日本語および日本文化を教授しつつ、外国人の言語や文化にも関心を持つ教師。
教授するに必要な知識を身に付け、学習者のニーズを分析できる教師。
自律的に学んでいける、学習者の多様性に適応できる(適応しようとする努力を惜しまない)教師。
就職において求められる日本語教育能力検定試験合格はもちろん、修了後すぐに教壇に立っても十分に指導できる能力を持つ教師。
知識偏重ではない、様々な意味でコミュニケーション能力のある教師。
日本や日本語に関する知識を持ち、教育の技能を身につけた日本語教師。
日本語を教えることにとどまらず、日本の文化や風習等も外国人に知ってもらい、一人でも多くの外国人に日本語をより知ってもらえるよう、日々自分自身も勉強を続けていく教師。
日本語学校の教師の求人の応募資格を満たす教師。
言語教育学、言語学、日本文化学に基盤を置いた日本語教育。日本語研究の人材を養成する。国内外の日本語教員のリカレントを行い、より高度な教授能力を養う。授業や研究指導を日本語で行うことにより、高度な日本語運用能力を持つ知日外国人を育成する。

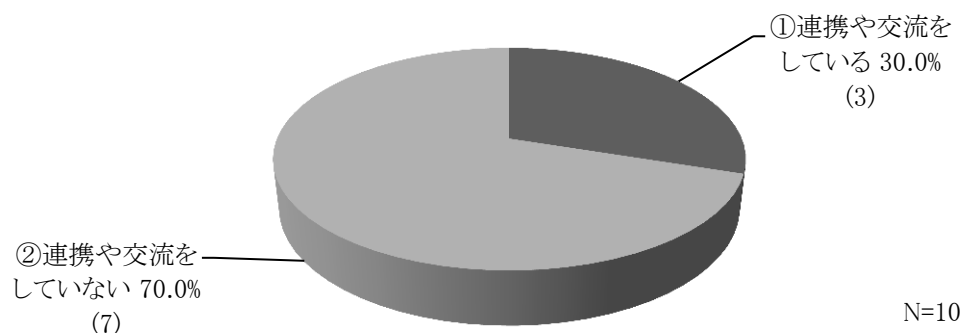
問7 地域の日本語教育における日本語教師養成機関に求められている役割とはどのようなものだと思いますか。

※自由記述

実践的な日本語教師の養成
外国人の来日の経緯を知り、多文化共生社会の担い手となる役割。
大学の日本語教育学部よりも年齢、履歴等において、幅広い人材を対象として日本語(教育)に対する興味・関心に応えること。
就職において求められる日本語教育能力検定試験合格はもちろん、修了後すぐに教壇に立っても十分に指導できる能力を持つこと。
学習者に本当に必要なことを適切に伝えられる教師の育成。ただし、そのように育った教師がプロとして安心して働ける場を確保するためには、各種団体と日本語教育機関との住み分けなど、環境の設備が必要。
愛知県では全国でも外国人在住者の多い県の一つであり幼児から大人まで幅広い年齢層の学習者の教育が様々な形で行われている。この様な多様なニーズに対応できる人材を育てること。
教える対象が留学生のみにとどまらず、日本に住む外国人や企業出向中の外国人も多い。そのため教える内容を対象者に合わせて変えていく必要があり、様々な日本語教育を提供できる教師を育てていくこと。
本専攻ではリーダー的役割を果たす日本語の教育・研究者の養成、高度な日本語運用能力を持つ知日外国人を養成し、国内外の産業界、学术界、教育界に多数の人材を送り出している。世界で活躍する知日外国人を養成している点で、日本の国際交流にも大きな役割を果たしている。

■他団体との連携や今後について

問8 日本語教育に関して、他の団体(県、国際交流協会、企業、大学、NPO、日本語教室等)との連携や交流を行っていますか。



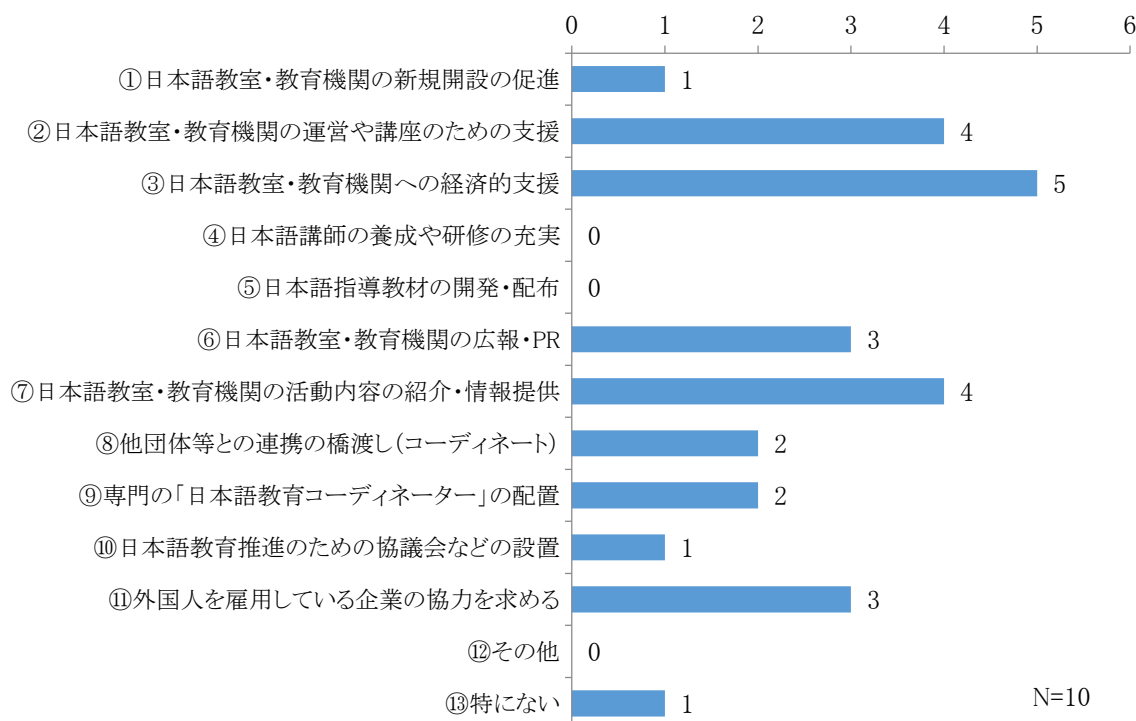
①連携や交流をしている: 交流団体と交流内容

団体名	交流内容
海外の日本語学校	講師(修了生)の派遣
無回答	教育実習生の受け入れ

■県がすべきことや地域における日本語教育指針への期待について

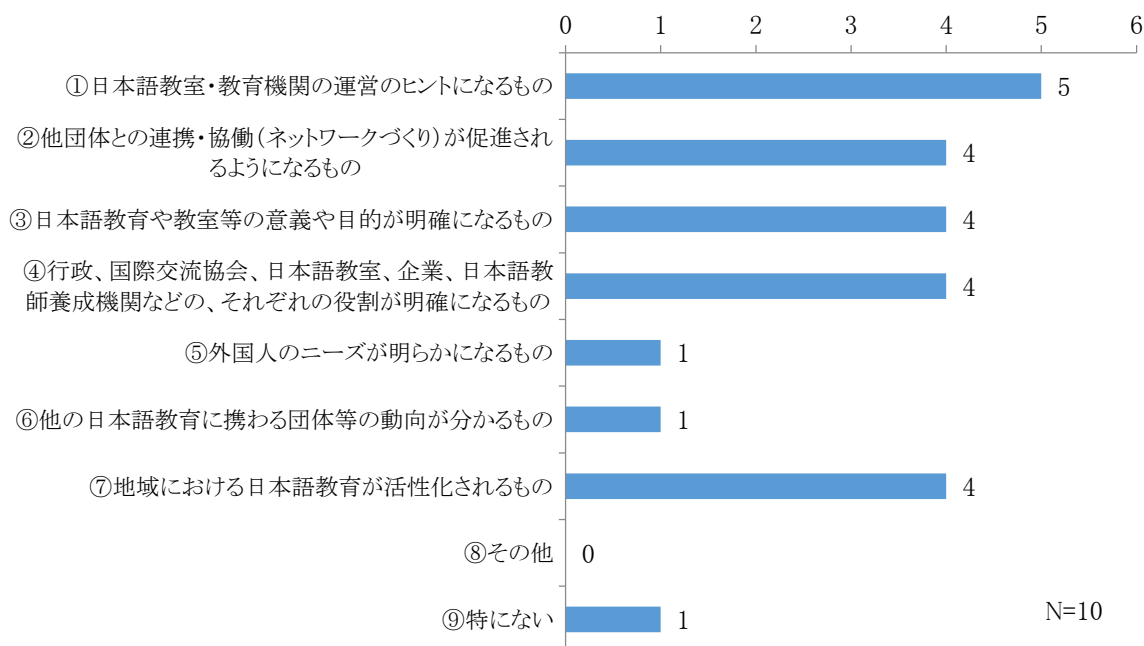
問9 今後、地域の日本語教育に対して、県はどのような施策を実施するべきだと思いますか。

※主なものに3つまで○



問10 地域における日本語教育指針の策定に期待することを教えてください。

※主なものに3つまで○



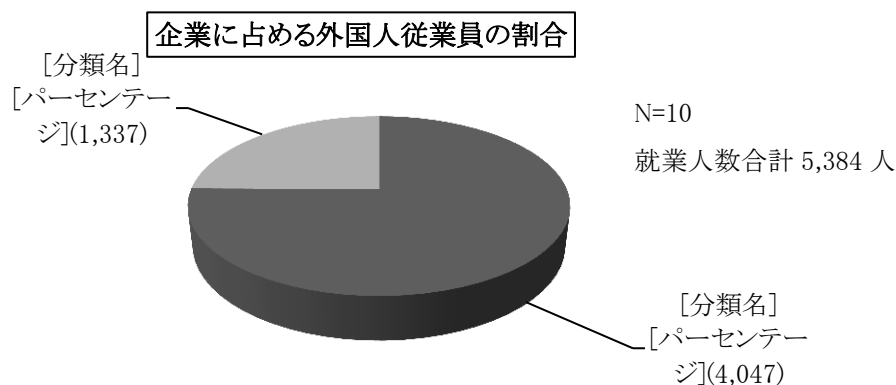
7 企業調査結果

- 調査対象 県内企業のうち、外国人を雇用している企業 20 社
※県多文化共生推進室所有データから抽出
- 調査期間 平成 25 年 9 月 27 日から平成 25 年 10 月 16 日まで
- 回収率 50.0%（ 回答 10 件／送付 20 件 ）

■御社の外国人就業者について

問1 御社で働く外国人就業者数をお聞かせください。

※正社員の他、派遣、請負、技能実習生、研修生なども含めてください。



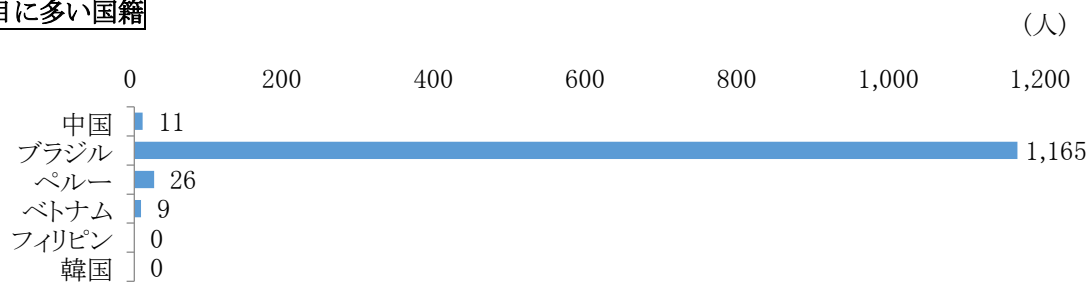
※平成 25 年 9 月 1 日現在

企業	全就業人数	うち外国人	割合
総数	5,384	1,337	24.8%
企業 A	2,020	12	0.6%
企業 B	897	178	19.8%
企業 C	326	253	77.6%
企業 D	27	3	11.1%
企業 E	197	52	26.4%
企業 F	450	400	88.9%
企業 G	82	33	40.2%
企業 H	300	100	33.3%
企業 I	1,016	297	29.2%
企業 J	69	9	13.0%

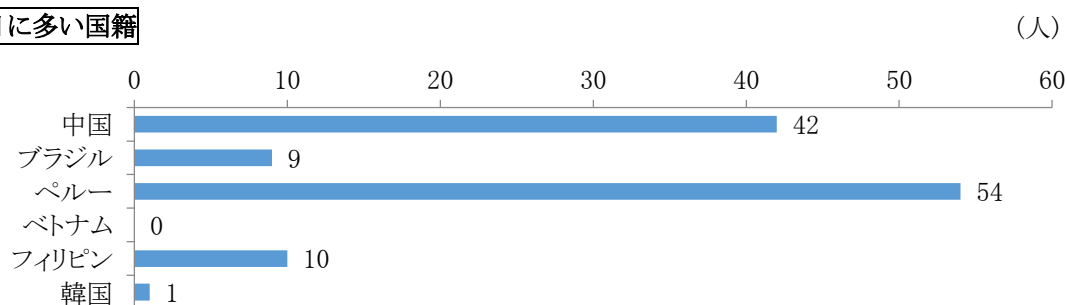
問2 外国人就業者のうち、主な国籍とその人数を上位 3 国籍までお聞かせください。

※平成 25 年 9 月 1 日現在

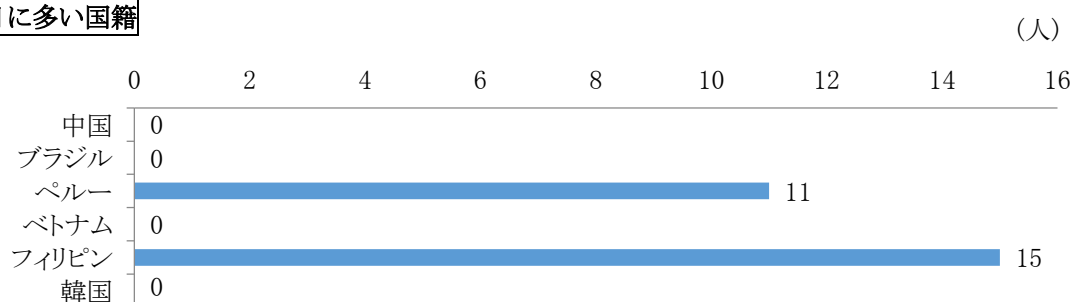
1 番目に多い国籍



2 番目に多い国籍

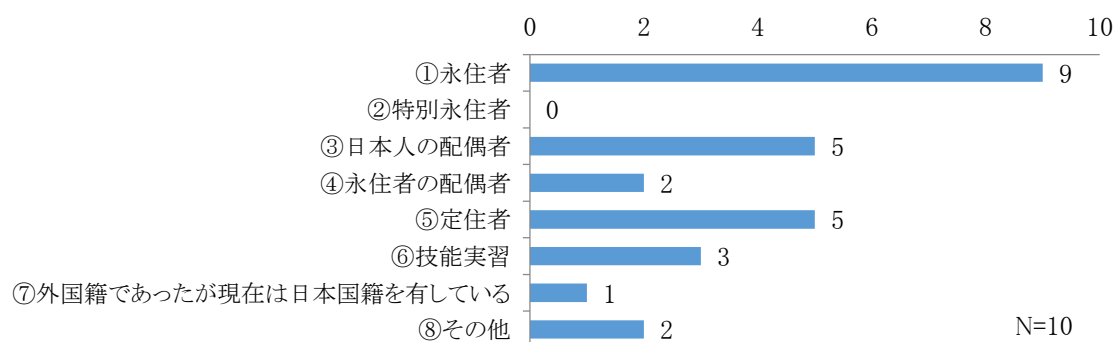


3 番目に多い国籍



問3 外国人就業者の主な在留資格を 3 つまでお聞かせください。

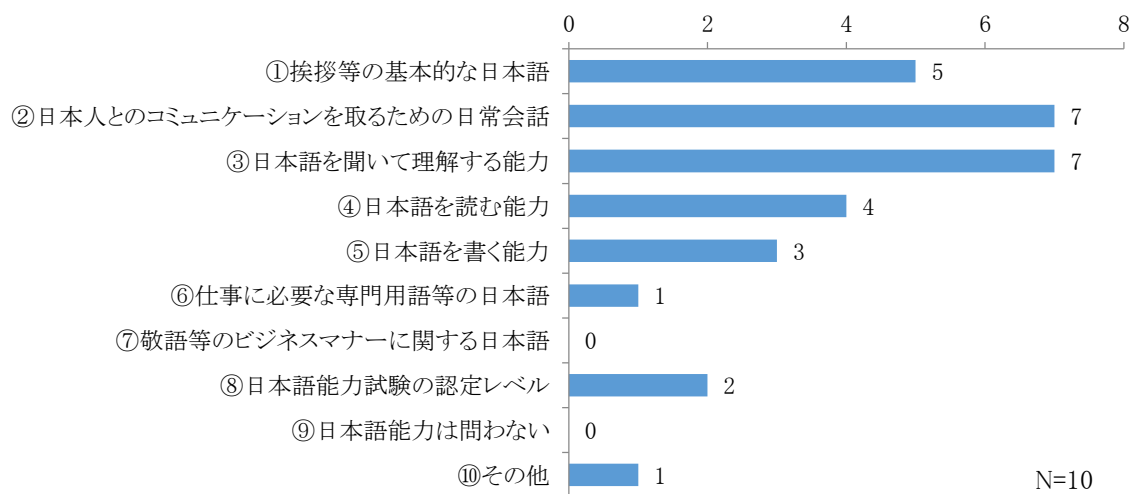
※上位3つに○を付けてください。



■仕事での日本語及び就業者の日本語能力について

問4 採用時に外国人就業者が働く上での日本語能力について、どのようなことを重要視しますか。

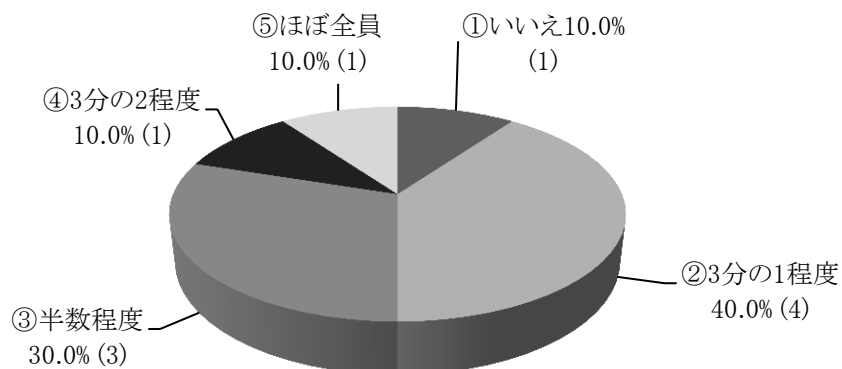
※重要と思われるもの3つまで○



⑩その他

採用後の日本語教育に重点を置いている。	3 件
---------------------	-----

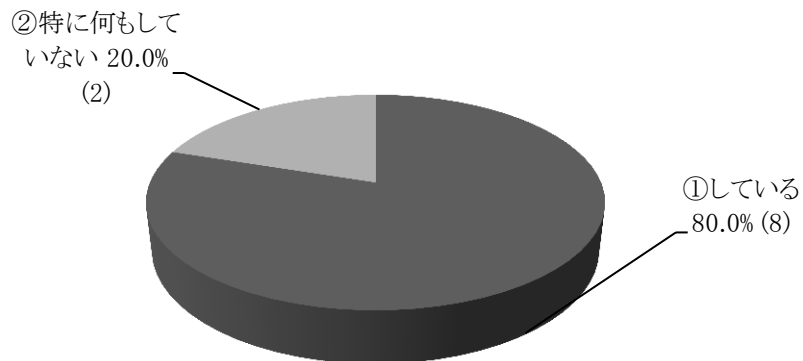
問5 御社の外国人就業者の中に、日本語学習が必要な就業者がいますか。



■社内での日本語教室や日本語の研修について

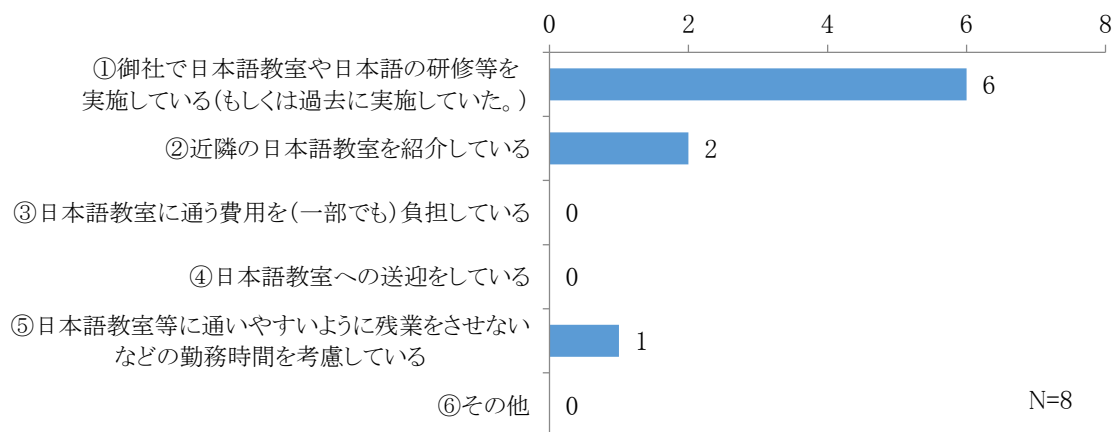
問6 御社では日本語学習が必要な外国人就業者に対して、日本語学習を奨励していますか。

※あてはまるもの全てに○



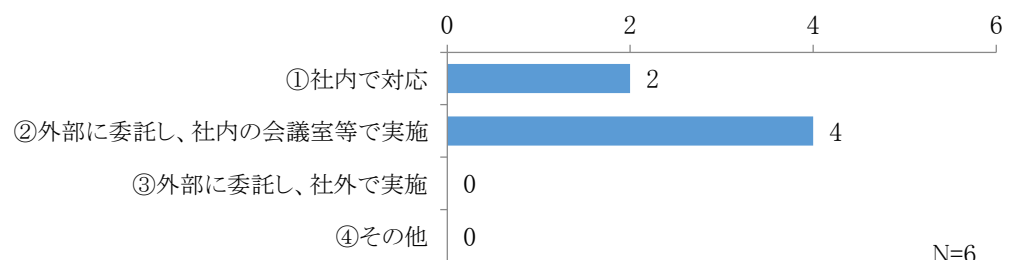
N=10

①している:内容



N=8

問7 御社での日本語教室や日本語の研修(以下、「日本語教室等」といいます。)は、どのように実施していますか(しましたか)。



N=6

②外部に委託し、社内の会議室等で実施:委託団体名

とよた日本語学習支援システム	3 件
個人の講師 2 人	1 件

問8 どのようなことに意義を感じ、御社で「日本語教室等」を実施している(した)のかをお聞かせください。(日本語教育の目的)

※自由記述(複数回答あり)

仕事や生活など日常的に使える日本語能力の向上のため。
日常生活、会社生活がより「安全」で「快適」なものになるよう、コミュニケーション能力を向上するための手助けを行うため。
暮らしで役に立つこと(ゴミ分別など)を学び地域に貢献するため。
職場内のコミュニケーションを円滑にし、生産現場での技能の向上と品質の安定を図るため。
居住地域での日常生活のトラブルを避けるためのコミュニケーション能力の向上を図るため。
仕事以外にも自分自身の成長を感じることが、結局本人にも会社にもプラスになると確信しているため。
早く日本に馴染み、皆と仲良くやってもらうため。

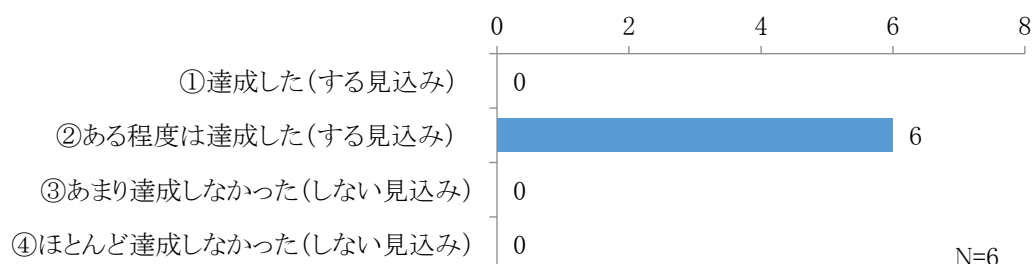
問9 実施回数や曜日、時間についてお聞かせください。

企業名	実施回数	実施曜日・時間
企業A	月8回 合計96回	月・水曜日 17:00～19:00
企業B	月4回 合計12回	木曜日 17:30～19:00
企業E	無回答	水曜日 16:30～18:00
企業G	合計70回	木曜日 12:20～13:20
企業H	月2回 合計24回	無回答
企業I	合計5回	無回答

問10 1回あたりの平均参加人数はどれくらいですか(でしたか)。

企業名	全参加者(登録者)数	平均参加者数	割合
企業A	5	5	100%
企業B	30	10	30%
企業E	6	5.5	90%
企業G	無回答	30	－
企業H	無回答	14	－
企業I	無回答	7.5	－

問11 御社で日本語教室等を実施して、所期の目的(問8)は達成されたと思われますか。
(現在実施中の場合は、見込みでお答えください)



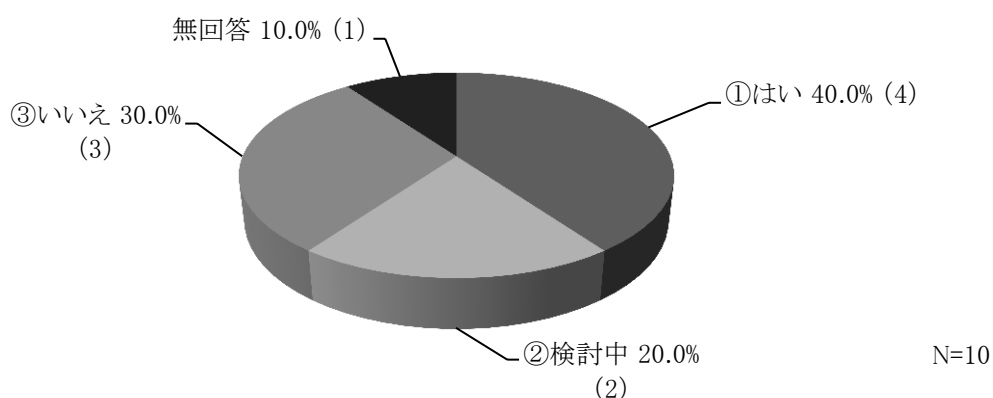
問12 御社で日本語教室等を実施した際に苦勞したことや問題になったこと、課題等があればお聞かせください。

※自由記述(複数回答あり)

仕事(残業時間)と重なるため、毎回調整を要した。
参加者を増やすことに苦勞した。
定時後の実施だったため、残業があると参加できない。
通勤方法が送迎のため、特別に送迎バスが必要など。
業務都合により、社内パートナーを集めることができず、社外ボランティアの方々参加により開催できた。

問13 今後、御社で日本語教室等を実施していく予定ですか。

実施する理由や実施しない理由、過去に実施していた場合はやめた理由などもお聞かせください。



◆①～③のそれぞれの理由 ※自由記述

①はい:理由

技能実習生1年目の日本語教育を従来どおり継続。

途中で入社した日系の方も、ほかの先輩と同じように職場に早く溶け込めるようコミュニケーション能力を高めるため。

②検討中:理由

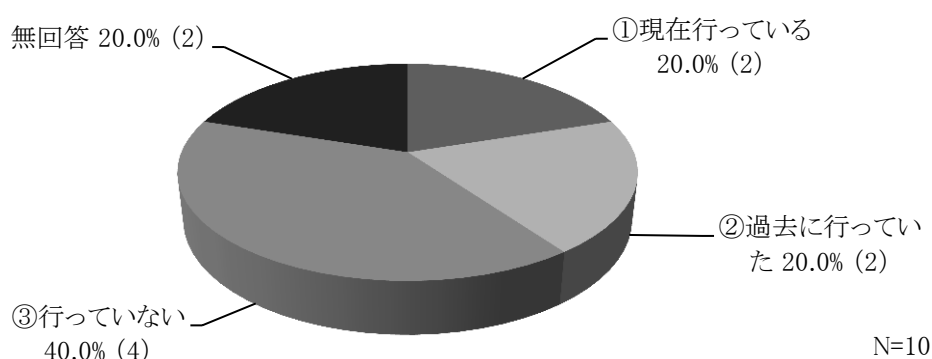
無回答

③いいえ:理由

ブラジルの役職者が日本語とポルトガル語が話せるため、特に不便はない。

会社として日本語教材を持ち合わせていない。ベトナム人で日本語が堪能な人材がいない。交替勤務などにより教室の開催日のやりくり、人数の確保が物理的に困難なため。

問14 他の団体(県、市町村、国際交流協会、日本語教育機関、日本語教室等)との連携や交流をしている取組等があればお聞かせください。



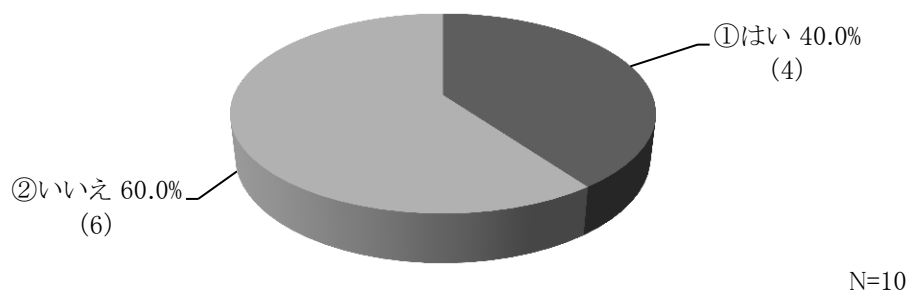
①現在行っている連携先や取組内容

団体名	内容
豊田市国際交流協会	日本語教師の受け入れ、国際交流協会イベントへの参加
りぶら国際交流センター (岡崎市)	りぶら国際交流センター(LICC)での日本語教室(土曜、日曜)に自主的に参加している(任意)。

②過去に行っていた連携先や取組内容

団体名	内容
豊田市国際交流協会	日本語教室の実施

問15 日本語教育において、他の団体(県、市町村、国際交流協会、日本語教育機関、日本語教室等)の情報があれば、積極的に活用し、連携や交流をしたいと思われますか。また、その理由をお聞かせください。



①はい:理由 ※自由記述

社内における日本語教育の質的向上のため。

外国人の日本語能力に差があり、職場の日本人とコミュニケーションをとることが難しい人もいるので、そういった方の日本語能力をあげる手助けをして頂きたい。

従業員のレベルアップのため。

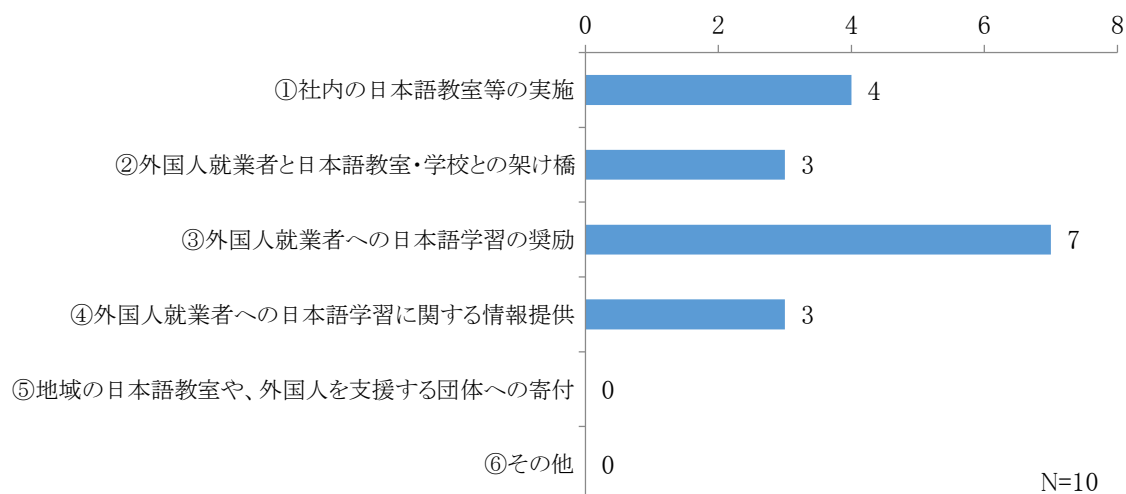
②いいえ:理由

現状の教育で外国人また会社側ともに不足はないため。

より活発な日本語教室があれば活用したいが、場所が遠方だと勧めづらいため。

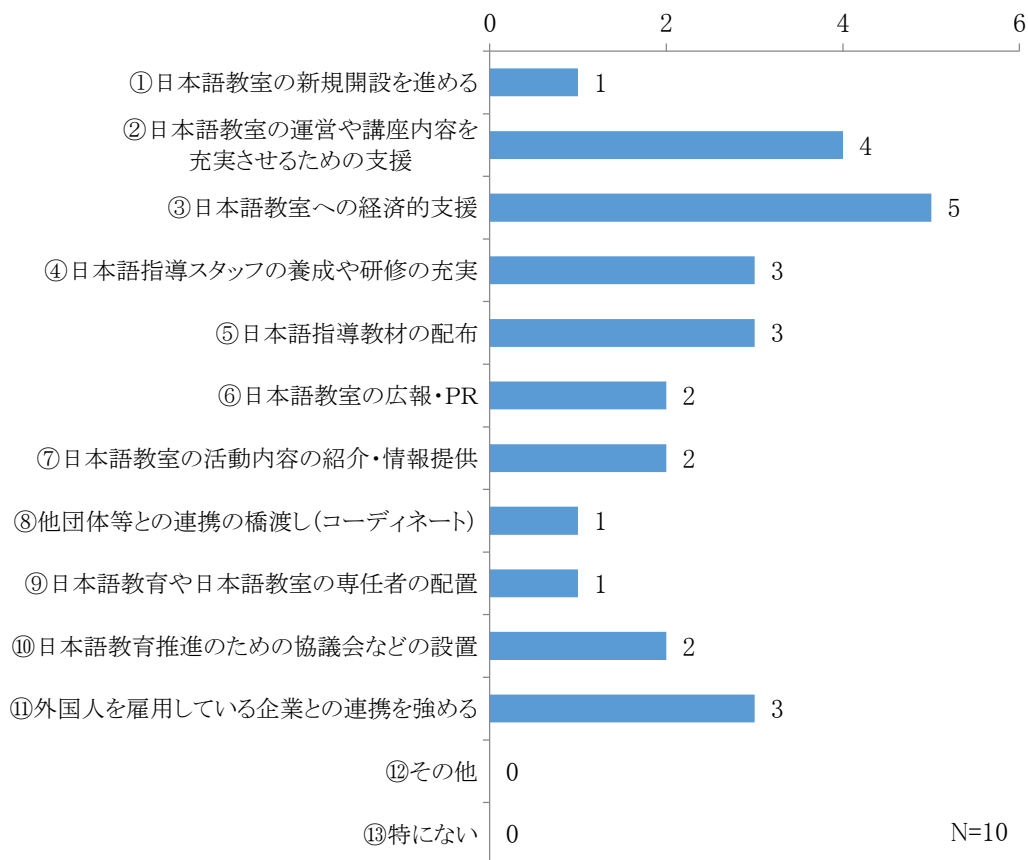
問16 企業は日本語教育に対してどのような役割を果たすべきだと思いますか。

※重要だと思われるもの2つまで○



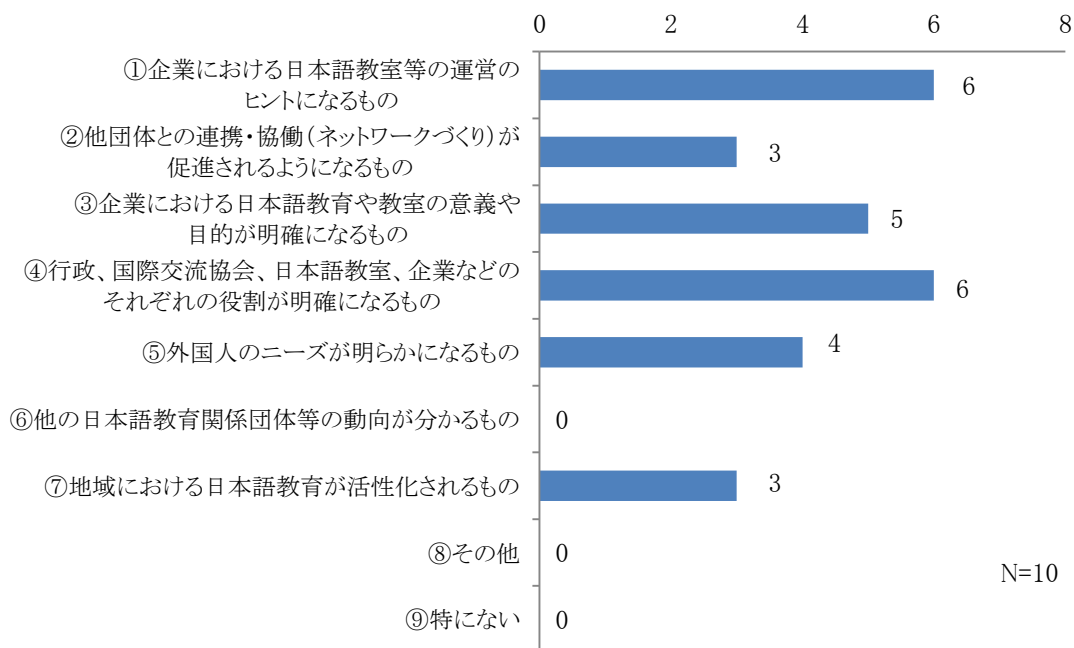
問17 今後、地域の日本語教育について、県はどのような施策を実施するべきでしょうか。

※主なものに3つまで○



問18 地域における日本語教育指針の策定に期待することを教えてください。

※主なものに3つまで○



個別インタビューから 一企業内日本語教室の実施事例を紹介します。

◆大豊工業株式会社

平成 15（2003）年から中国人の技能実習生（当時は研修生）の受け入れを始めた大豊工業(株)では、平成 17（2005）年から入国 1 年目の実習生に対して社内での日本語教育を行っています。

社内の日本語教育担当者が、公益財団法人豊田市国際交流協会（TIA）の外国人労働者対象日本語教室担い手養成講座に参加したことがきっかけで、TIA と連携をとるようになり、現在は TIA から紹介された講師を招き指導をしています。その結果、約 60%の学習者が日本語能力試験 N3 に合格するようになりました。日本語教室で使用するテキスト代と日本語能力試験の 1 回目の受験費用は会社が負担するなど、日本語学習を奨励しています。

その他、実習生にとって 3 年間の日本での生活が貴重な経験となるようイベントなども開催しています。仕事を中心にした日本語教育だけではなく、仕事以外のプラスアルファで信頼関係を築くことができれば、実習生も充実した日々が送れ、会社としても大きなトラブルがおきないとの考えです。今後は、他団体と連携をする機会があれば、日本文化を学んだり地域参加につながるような講座の開設もできるのでは、と考えています。

8 外国人ニーズ調査結果

- 調査対象 県内在住外国人 350 人
※3 か月未満滞在者、学齢期(16 歳未満)の子ども、学生は除く
- 調査期間 平成 25 年 9 月 1 日から平成 25 年 9 月 28 日まで
- 調査方法 ヒアリングによる街頭アンケート調査
- 実施場所 県営住宅やレストラン、スーパーマーケット、教会など在住外国人が多く集まる場所

＜国籍別、実施場所(市)別調査数＞

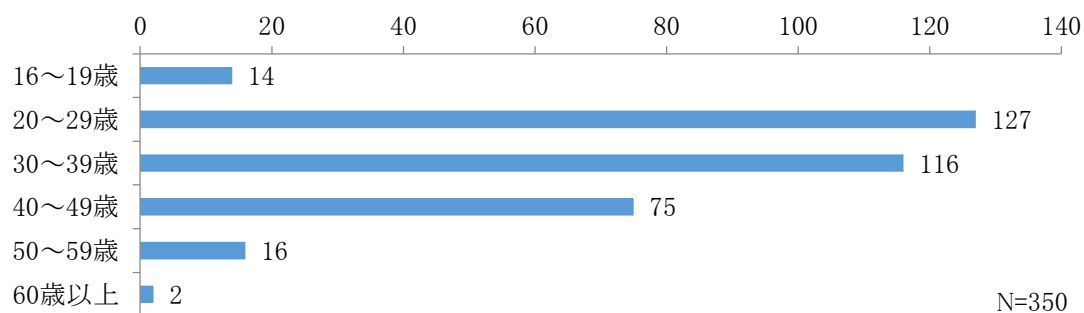
	合計	ブラジル	中国	韓国・朝鮮	フィリピン	ペルー	その他
総数	350	117	108	14	61	17	33
名古屋市	149	14	71	13	29	5	17
豊橋市	47	25	5	1	9	4	3
豊田市	58	21	20		5	4	8
岡崎市	26	11	6		7		2
小牧市	15	11				4	
西尾市	13	10					3
安城市	12	7			5		
豊川市	9	9					

※国籍、実施場所(市)はともに、概ね在住外国人数の比率に応じて実施数を設定

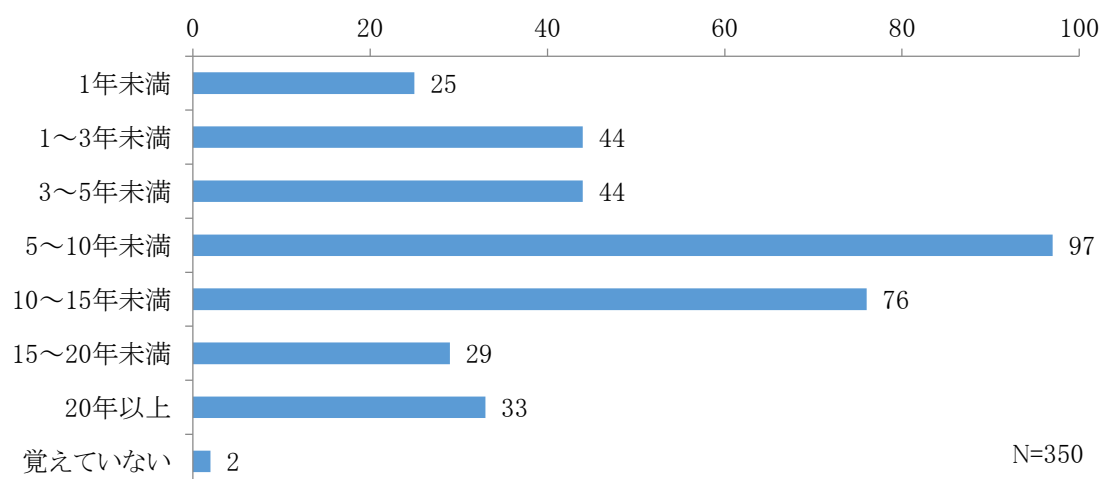
※韓国・朝鮮籍は特別永住者を除く人数で按分

※その他の国籍：ベトナム、インドネシア、ネパール、米国、タイなど

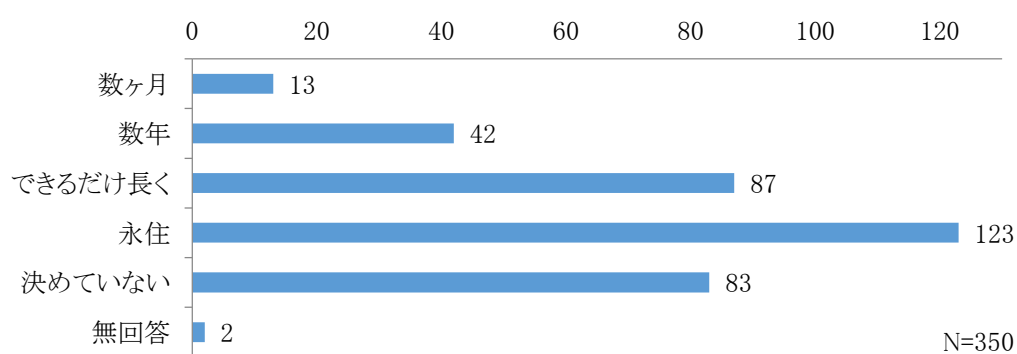
問1 年齢



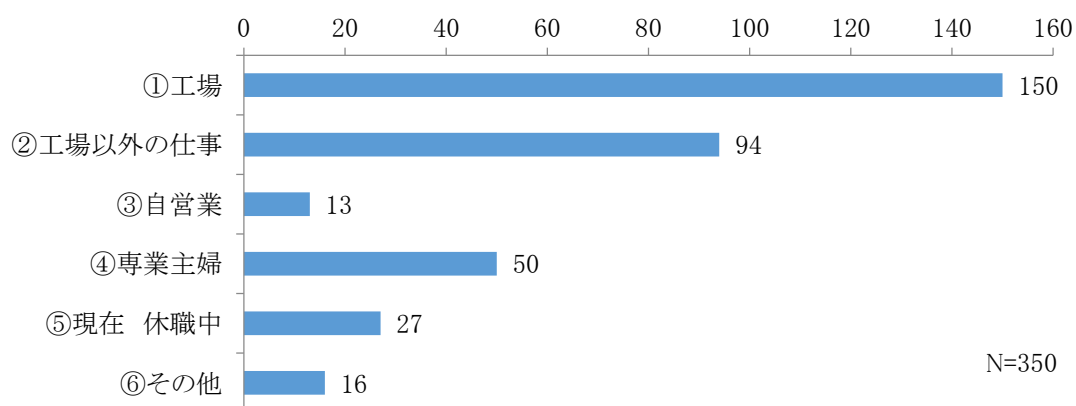
問2 日本に来て通算でどれくらいですか。



問3 今後、どれくらい日本に在る予定ですか。



問4 お仕事は何をしていますか。



①工場での雇用形態:内訳

派遣	正社員
121	29

②工場以外での雇用形態:内訳

派遣	正社員	アルバイト	その他
13	18	54	9

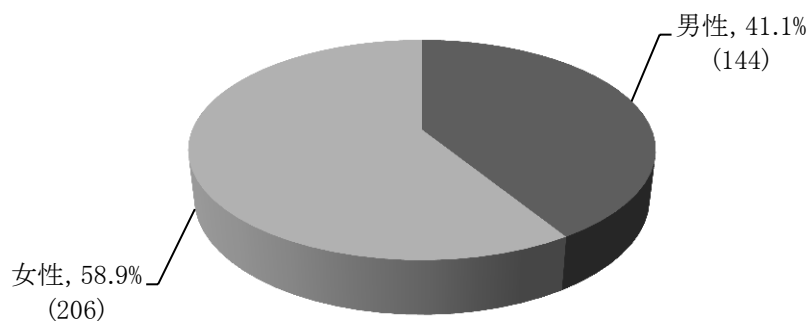
⑥その他

英語講師	6	図書館司書	1
看護師	2	システムエンジニア	1
技術者	2	教授	1
通訳、教師	2	保育士	1

問5 国籍と母語(最もよくできる言葉)

国籍	母語	人数	国籍	母語	人数
ブラジル	ポルトガル語	117	イギリス	英語	1
中国	中国語	108	インド	英語	1
フィリピン	フィリピン語	61	インドネシア	インドネシア語	1
韓国	韓国語	14	オーストラリア	英語	1
ペルー	スペイン語	17	バングラデシュ	ベンガル語	1
アメリカ	英語	6	フランス	フランス語	1
ネパール	ネパール語	6	ベネズエラ	スペイン語	1
ベトナム	ベトナム語	6	ボリビア	スペイン語	1
カナダ	英語	2	リトアニア	リトアニア語	1
タイ	タイ語	2	ルーマニア	ルーマニア語	1
アルゼンチン	スペイン語	1	総数		350

問6 性別



N=350

問7 お住まいはどこですか。

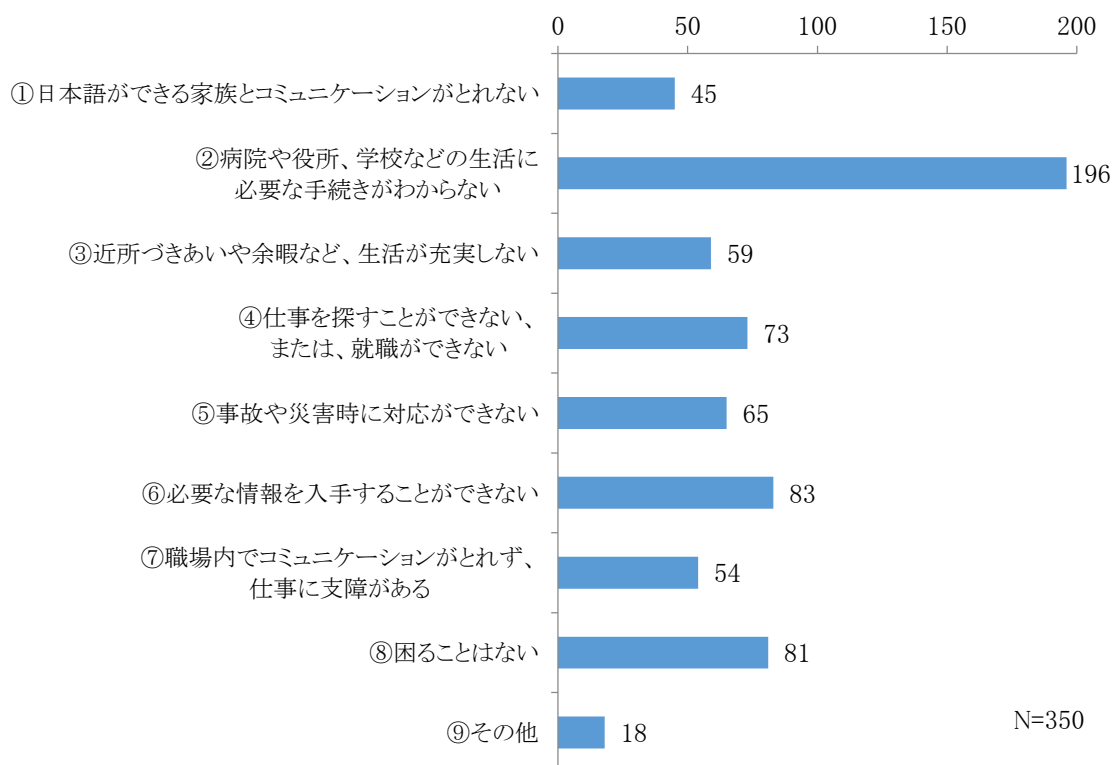
(人)

総 数	350
名古屋市	141
豊田市	51
豊橋市	44
岡崎市	24
西尾市	13
安城市	12
一宮市	10
豊川市	9
知立市	9
春日井市	6
小牧市	6
碧南市	3
刈谷市	3

高浜市	3
瀬戸市	2
江南市	2
長久手市	2
蒲郡市	1
犬山市	1
大府市	1
知多市	1
岩倉市	1
豊明市	1
日進市	1
清須市	1
みよし市	1
三重県桑名市	1

問8 日本語がわからなくて日常生活で不安に思うことはどんなことがありますか。

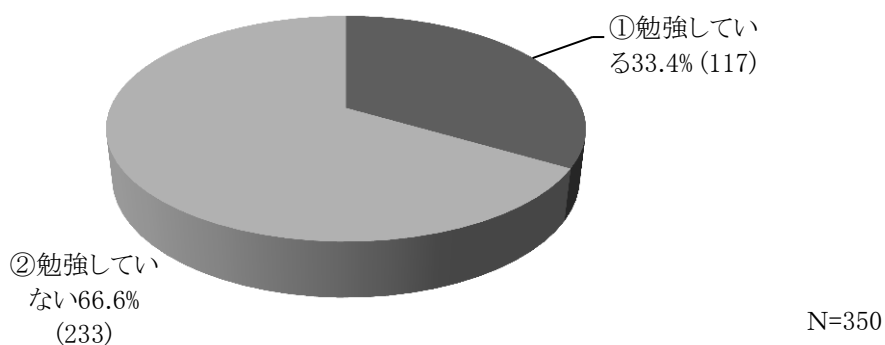
※主なものに3つまで○



⑨その他（同様コメントのまとめ）

役所、病院、学校などからの連絡、手紙、書類が理解できない。情報が得られない。	7 件
日本人と会話ができない。コミュニケーションがとれず、会話するのも不安。	4 件
敬語や本当に正しい日本語が話せず恥ずかしい。	2 件
職場で理不尽な扱いを受けても言いたいことが言えない。	1 件
学校などで問題が起こった時、言葉が通じないが故に、きちんと対応してもらえないように感じる。	1 件
公共機関を利用する時	1 件
看板が読めないこと	1 件
一言も話せないこと	1 件

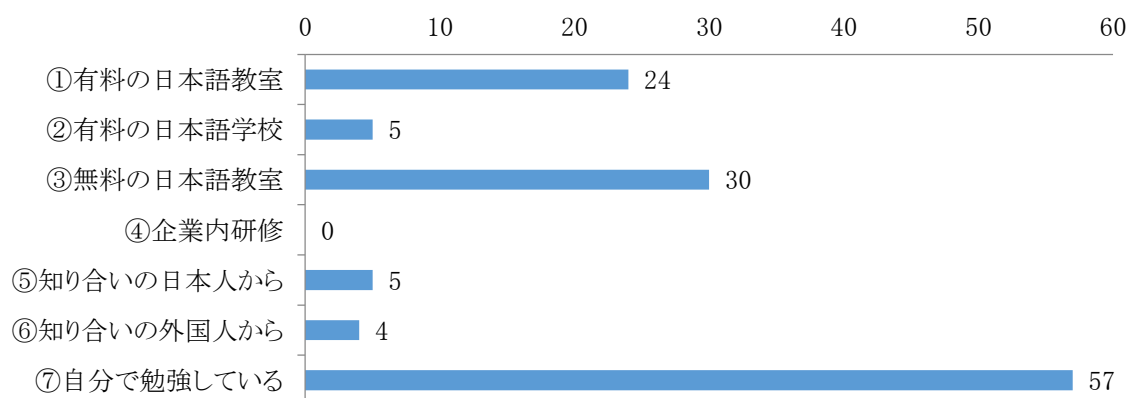
問9 現在、日本語を勉強していますか。



問10 どこで日本語を勉強していますか。

（問10-①勉強していると回答した人への質問）

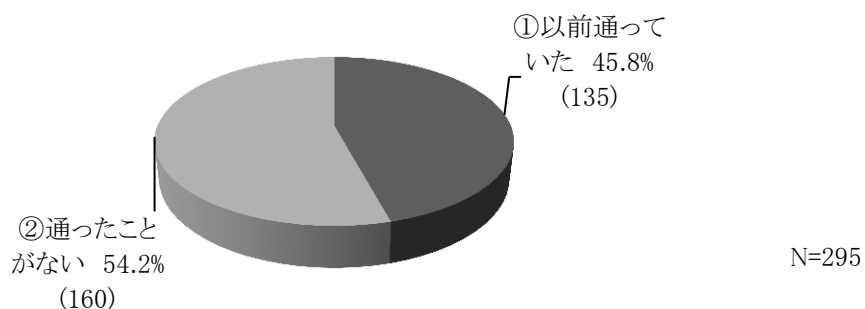
※複数回答



N=117

問11 今まで日本語教室に通ったことがありますか。

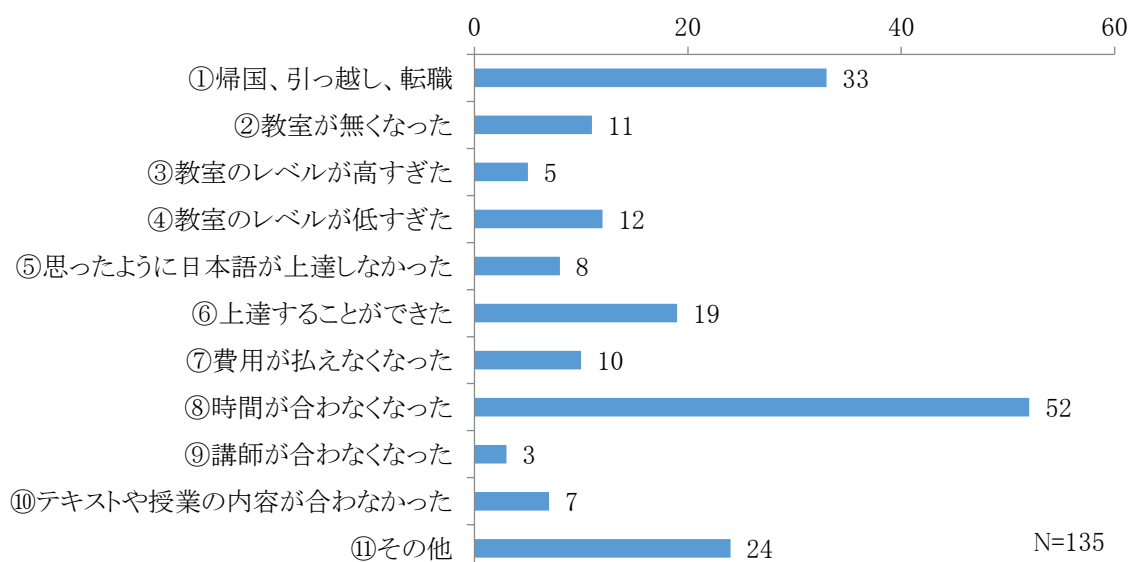
(問9－②、または問10－⑤⑥⑦と回答した人への質問)



問11－1 なぜ、その日本語教室を辞めましたか。

(問11－①以前通っていたと回答した人への質問)

※主なものに3つまで○



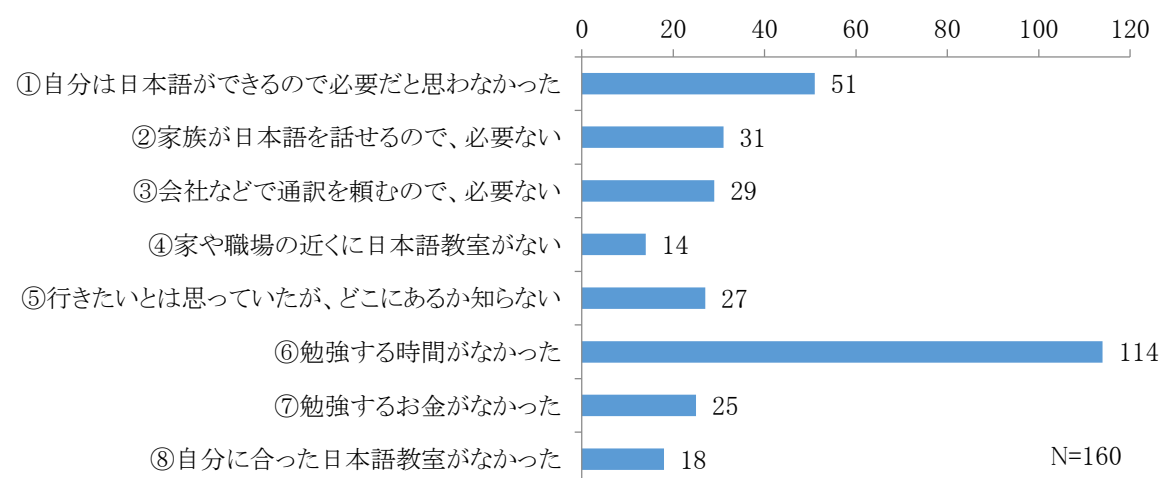
⑪その他 (同様コメントのまとめ)

知り合いがいなかった、いなくなった。	4 件
レッスンが終了した。	4 件
仕事の都合	3 件
進学、卒業、学校などの都合	3 件
健康、家庭の諸事情	3 件
無料から有料になった。	2 件
検定が終わった。	1 件
講師が帰国した。	1 件
家族が通訳してくれる。	1 件
通信教育を始めて、それを続けている。	1 件

問11-2 今まで日本語教室に通わなかった理由は何ですか。

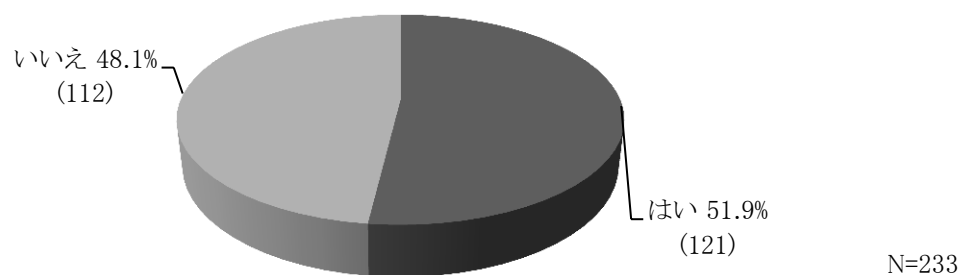
(問11-②通ったことがないと回答した人への質問)

※主なものに3つまで○



問11-3 今後は日本語を勉強したいと思いますか。

(問9-②勉強していないと回答した人への質問)



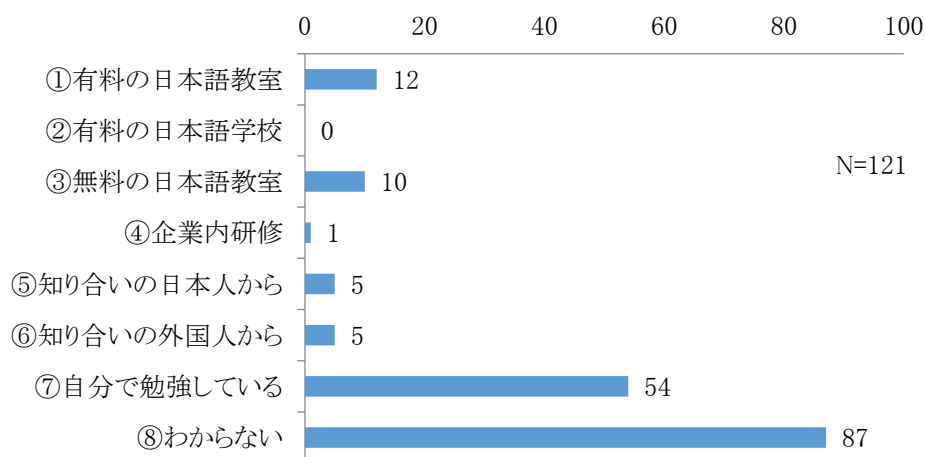
◆「はい」と回答した人:どれくらいの頻度なら勉強できますか。

		時間							
		0.5	1	1.5	2	2.5	3	4	不明
回/1 週間	1		28	3	32	3	4	3	1
	1.5		2						
	2	1	21	1	15	3		1	1
	2.5				1	1			
	3		5		5		5		
	3.5		2						
	4		2		3		2		
	5				3		8		
	不明								18

不明:まだわからない

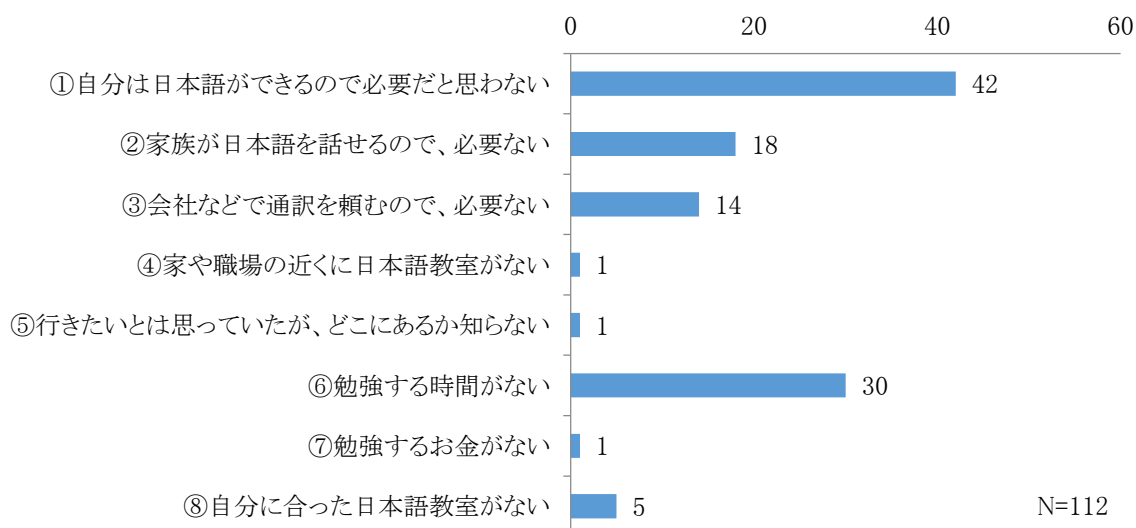
◆「はい」と回答した人:その場合どのような方法で勉強しますか。

※主なものに3つまで○



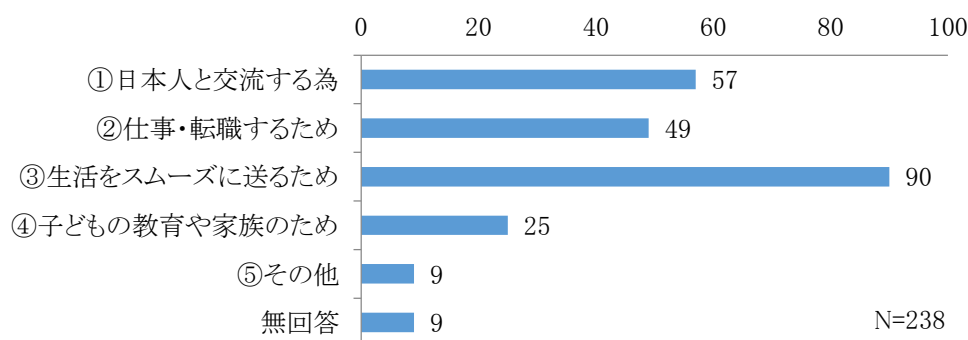
◆「いいえ」と回答した人:なぜですか。

※主なものに3つまで○



問12 何のために日本語を勉強していますか(したいですか)。

(問9－①勉強している、または問11－3で「はい」と回答した人への質問)



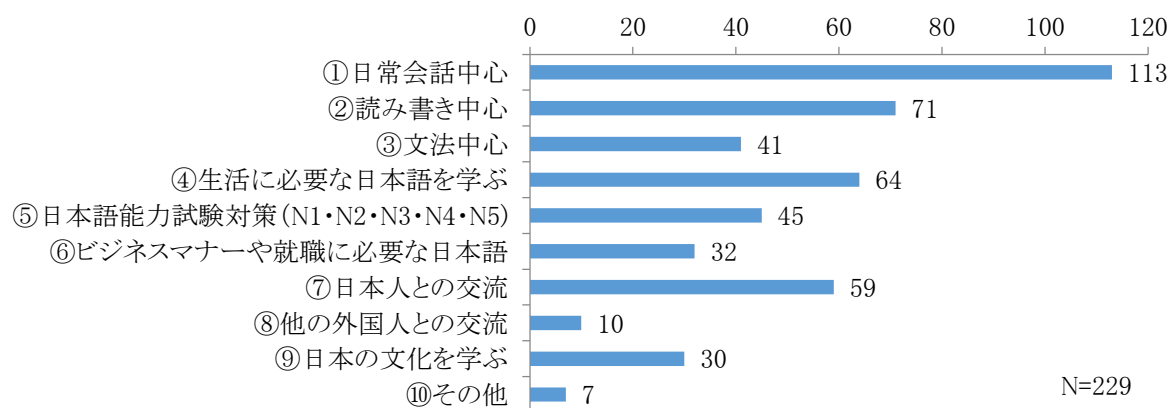
⑤その他

趣味のため(本を読むなど)	2 件
会社設立のため	1 件
様々なことに挑戦したいため	1 件
日本語がもっと上手になるため	1 件
日本の文化をもっと知るため	1 件
文法を覚えるため	1 件
読み書きができるようになるため	1 件

問13 どんなことを目的にした日本語教室に通いたいですか。

(問9－①勉強している(かつ、今後も勉強する)、または問11－3で「はい」と回答した人への質問)

※主なものに3つまで○



◆具体的には、どんな？

①日常会話中心 (同様コメントのまとめ)

買い物、会社、学校、病院など通常の日常生活で使える会話	14 件
仕事で使える日本語	8 件
基礎会話	6 件
受け答えなどのコミュニケーションの会話	3 件
あいさつなどの仕方	2 件
子どもと話せるような会話	2 件
日本人が通常使う会話	1 件
役所の手続きや仕事探して使える会話	1 件
先生との会話	1 件
上達できるまで教える教室	1 件
マンツーマン指導	1 件

②読み書き中心（同様コメントのまとめ）

漢字	19 件
ひらがな、漢字	9 件
ひらがな、カタカナ	4 件
ひらがな、カタカナ、漢字	3 件
カタカナ、漢字	1 件
商品や生活用品の読み方	1 件
郵便物や書類の読み方	1 件
書き取りの時間がたくさんある教室	1 件

③文法中心（同様コメントのまとめ）

手紙や作文など、文章の作り方、書き方	9 件
助詞などの文法	4 件
文法全般	5 件
きれいな日本語を話せるような文法	1 件
子どもの宿題に役立つような作文	1 件

④生活に必要な日本語を学ぶ（同様コメントのまとめ）

病院で使える言葉	4 件
買い物に出かけて困らない程度の会話	2 件
子どもの学校で使える会話	2 件
仕事で使える日本語	2 件
育児に関わる会話	1 件

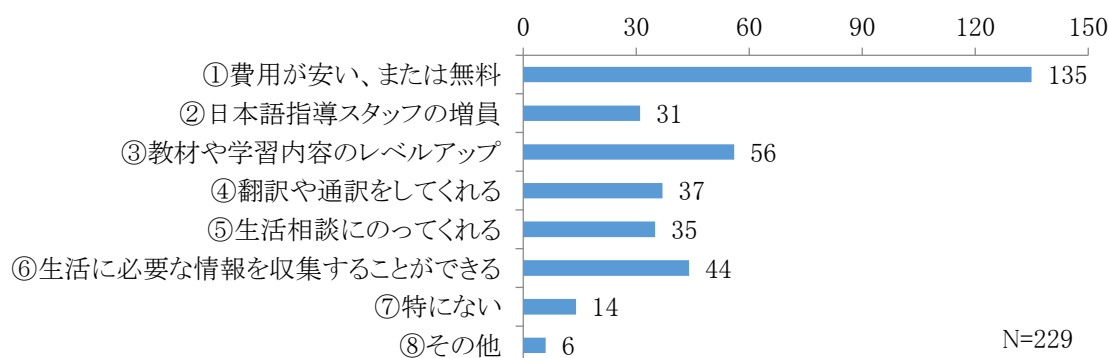
⑩その他（同様コメントのまとめ）

運転免許資格を取るため	2 件
子どもの学習・教育のため	2 件
自分で勉強する方法	1 件

問14 日本語の勉強以外に日本語教室に期待することはありますか。

(問9－①勉強している(かつ、今後も勉強する)、または問11－3で「はい」と回答した人への質問)

※主なものに2つまで○



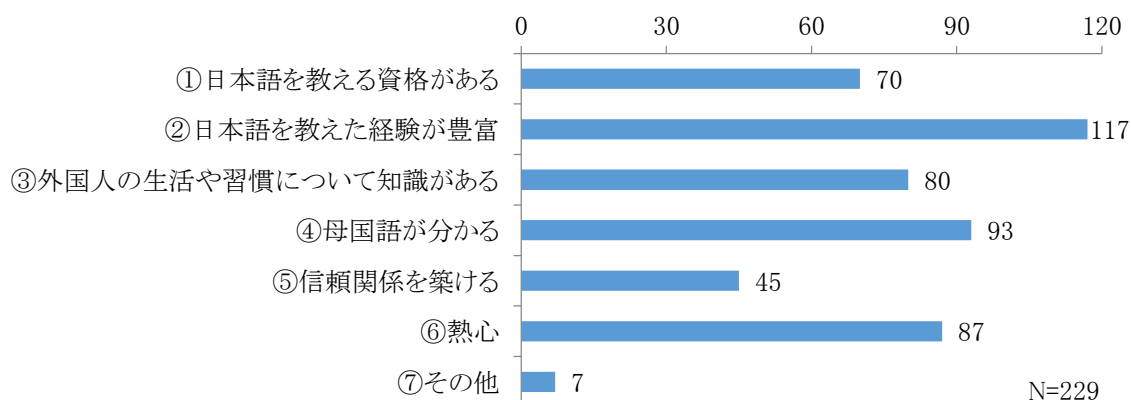
⑧その他

外国人をもっと助けてほしい。仕事関係について教えてほしい	1 件
個人指導をしてほしい。	1 件
自分の質問に答えてほしい。	1 件
全て期待している。	1 件
和食、日本の装飾品などの作り方も学びたい。	1 件

問15 どんな日本語教師に教えてもらいたいですか。

(問9－①勉強している(かつ、今後も勉強する)、または問11－3で「はい」と回答した人への質問)

※主なものに3つまで○

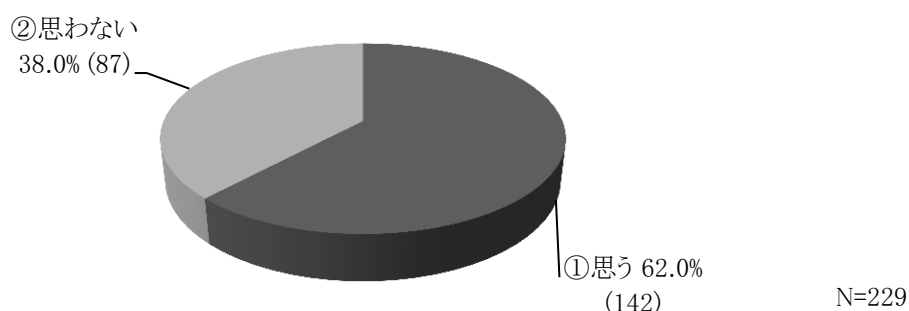


⑦その他

日本人	3 件
自分が尊敬できる人	1 件
日本語能力試験1級を持っている人	1 件
忍耐強く怒らない先生	1 件
本当に正しい日本語の専門知識のある先生	1 件

問16 有料でも日本語教室に通いたいと思いますか。

(問9－①勉強している(かつ、今後も勉強する)、または問11－3で「はい」と回答した人への質問)



問17 日本語を勉強するとしたら、いつがいいですか。

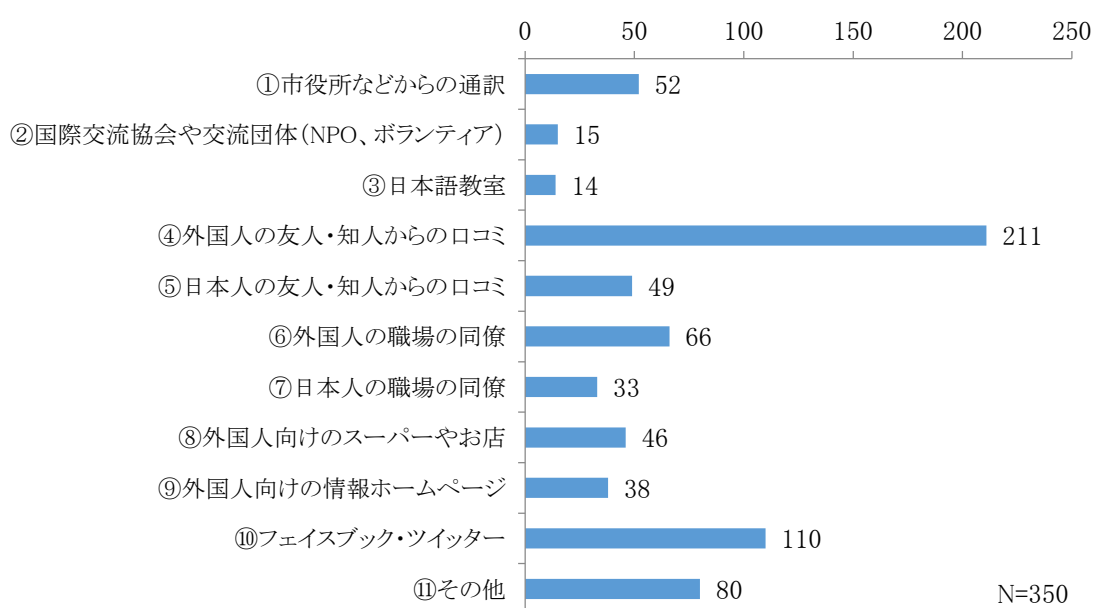
(問9－①勉強している(かつ、今後も勉強する)、または問11－3で「はい」と回答した人への質問)

	合計	午前	午後	夜	その他	わからない
総数	229	59	64	73	5	28
平日	106	30	19	51		6
土曜	68	21	26	13		8
日曜	42	8	19	9		6
その他	6				5	1
わからない	7					7

(その他) 個人の都合の良い日・時間 5件

問18 生活に必要な情報はどこから得ますか。

※主なものに3つまで○

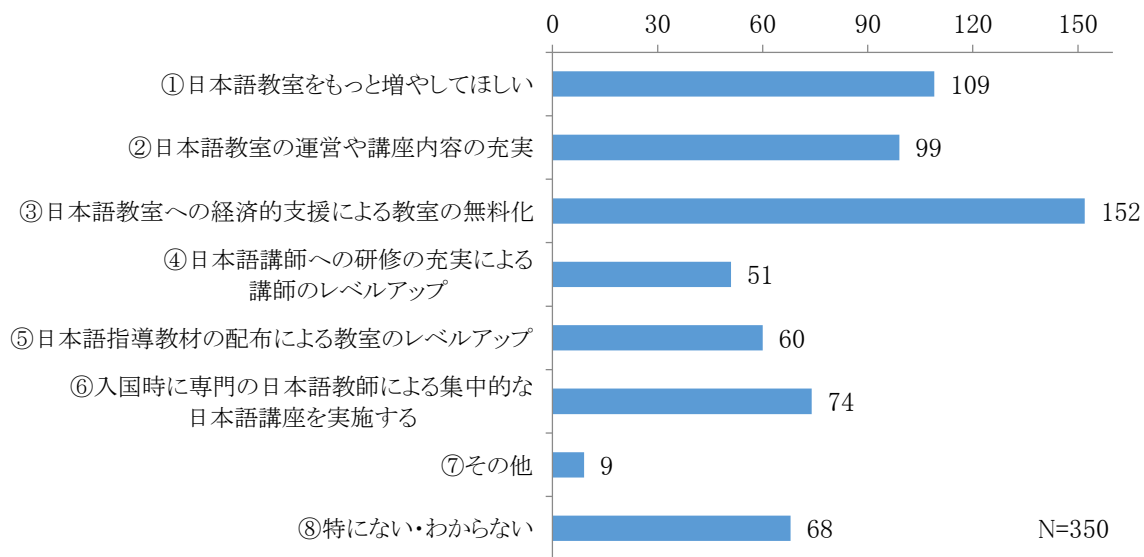


⑪その他

教会	22 件	パンフレット	3 件
インターネット	14 件	ハローワーク	3 件
テレビ	13 件	回覧板	2 件
母国語の新聞、雑誌	11 件	学校の先生	1 件
家族	9 件	様々なところから	1 件

問19 今後、外国人に対する日本語教育について、県はどのような施策を実施すべきでしょうか。

※主なものに3つまで○



⑦その他（同様コメントのまとめ）

教師が自分の母国語を話せるといい(中国語、ポルトガル・スペイン語)	2 件
気軽に通える教室を増やしてほしい	1 件
教師の資質向上	1 件
交流活動	1 件
仕事につながるような日本語教育の実施	1 件
職業向けの日本語教育の実施	1 件
仲間で通える教室の開催	1 件
ホームページ作成の講座の開催	1 件

問20 その他日本語教育について、ご意見・ご要望はありますか。

項目	意 見
授業内容・ 方法・ システム・ 運営等	日本語だけでなく、日本文化も一緒に教えてほしい。
	日本語教育に真剣に取り組んでほしい。
	明るい将来のために、学校でしているような勉強が必要であると思われるようなセミナーをやしてほしい。また、文化や言語を勉強するための全ての年代向けの集中コースがあると良い。
	簡単で日常生活に使える日本語を教えてほしい。
	敬語、難しい表現、文化、歴史などレベルの高い日本語を習得したい。
	歴史を知ることができる教室。工場見学をしたい。
	仕事に生かせる日本語を学びたい。
	日本語の体験学習がしたい。
	日本の法律について教えるべきだと思う。
	大学や専門学校へ進学できるような外国人向けのサポートを増やしてほしい。
	日常会話を中心とした日本語教室がいい。仕事場では日本語の会話ができないのでちょっと不安。
	教室の質をあげてほしい。
	熱心でやさしく教えてくれる、ちゃんとした日本語教室がほしい。
	自分は仕事、生活でもほぼ問題なく日本語で読み書きや話しができるが、もっと勉強してネイティブ並になりたい。
	日本人ともっと会話をしたい。
	国の講座を、会社を通して受けたい。
	会社で強制的に週 1 時間勉強させる。
	韓国では韓国語がわからない外国人に対して、家を訪問して教えてくれるシステムがある。このようなシステムを増やしてほしい。子どもが小さいので教室に通えない。
	正しい文法を学び、習った言葉を簡単に使える教室のシステム。
	教室に通った後、日本語のレベルがわかる修了証の発行。クラス分けを細分化して自分に合ったレベルのクラスになるようにする。
	クラスとレベルの数を増やしてほしい。個人を助けてくれるような場所がほしい。
	生徒にやる気を出させる教え方で先生に教えてほしい。例えば、勉強が楽しいと思わせる方法を取り入れて、日本の文化の知ることができたり、日本人とコミュニケーションを取りたいと思えるようなクラスにしてほしい。
	日本語がわからない外国人に対して、多くのプログラムや支援があったら良い。

項目	意見
授業内容・ 方法・ システム・ 運営等	無料のコースや多くのレベルがあるコースがもっとあった方がいい。そうすればみんな日本語が上手になる。
	目的別の日本語教室を増やしてほしい。学生向け、帰国者向け、就職者向けなどに分けて教える教室を増やしてほしい。
	分類分けのクラスがほしい。仕事向け、家庭向け、学校向けなど。
	入国時に専門の日本語教師による集中的な日本語講座を実施してほしい。
	日本語教室をしっかりと運営すれば、外国人の友達も行くと思う。
	日本語教育に関するチラシを自宅まで郵送してもらいたい。
時間・場所・ 授業料	外国人向けの日本語教室を増やしてほしい。
	教室が無料であれば通える。
	日常生活が多忙で日本語の勉強をする時間がない。
	長く続けられる日本語教室がほしい(急に教室が廃止にならないような)。
	受講者の都合の良い時間の教室があれば良い。
	生活のための会話スペースが必要。
講師	教室が家の近くにあってほしい。
	講師の育成のための環境を作してほしい。
	日本人が行っている日本語指導のことで不安などがある。先生の説明が早口でわかりにくい。
	良い教師に教えてほしい。
その他	前に通っていた教室で、先生がいらいらしたり、きつい態度をとられることがあったので、もう少し外国人の気持ちを理解してほしい。
	友人、知人がいないと行けない。
	日本で日本語教室は行ったことがないから分からない。

日本語教室以外に対する意見
学校のいじめの問題について、もっと政府に注意をしてほしい。この問題に対して子どもたちは忘れられていると思う。
インターンシップを増やすべき。
外国人に日本に関する情報を与え、日本人には外国人の情報を教えるべき。
外国人のための技術コース。外国人の中にも才能にあふれた人がいる。
病院や市役所で通訳をしてくれる方を増やしてほしい。
日本人に、文化の違いをもっと理解してほしい。日本人も共生している外国人のことをもっと知ることができると思う。
自分は小学校高学年で来日したが、大学は事情があつて行かなかったものの、高校の先生からは認められて学力がつけられた。本人たちの頑張りも必要だと思う。
自分は中2で来日し、全く日本語ができない状態でとても困ったが、国際教室の先生が自身の休み、長期休暇を使って泊まり込みで勉強を教えてくれ、高校・大学へと進めた。先生は私の母語を話せなかったが熱心で、ネイティブの市の相談員の先生もいたので恵まれていた。自分もそういう子どもたちの助けになりたい。
15歳で来日し、簡単に高校に編入できると呼び寄せられたが、現実是不可能で、すぐに工場勤務を始めた。ブラジルでは飛び級するほど学力があつたので親が日本の状況を把握しておらず、人生設計が狂ってしまった。
他の国と比べて、教育はすごくいいと思います。